

ダン活 令和6(2024)年度 ダン活 支援

ダン活

公共ホール現代ダンス活性化事業

登録

アーティスト
プロフィール



令和6年度
(2024年度)

ダン活 支援

公共ホール現代ダンス活性化支援事業

INDEX

04 公共ホール現代ダンス活性化事業について
公共ホール現代ダンス活性化支援事業について

06 ダン活の流れ

A | ダン活 登録アーティスト (ダン活支援登録アーティストも兼ねる。50音順)

浅井信好 Nobuyoshi ASAI	08	長与江里奈 Erina NAGAYO	16
井田亜彩実 Asami IDA	10	藤田善宏 Yoshihiro FUJITA	18
大島匡史朗 Kyoshiro OSHIMA	12	康本雅子 Masako YASUMOTO	20
中村 蓉 Yo NAKAMURA	14		

B | ダン活^{支援} 登録アーティスト (ソロ・デュオの順。50音順)

青木尚哉 Naoya AOKI	24	東野祥子 Yoko HIGASHINO	34
伊藤キム Kim ITOH	25	マニシア MANIZIA	35
岩淵多喜子 Takiko IWABUCHI	26	森下真樹 Maki MORISHITA	36
遠田 誠 Makoto ENDA	27	山田うん Un YAMADA	37
北尾 亘 Wataru KITAO	28	山田珠実 Tamami YAMADA	38
北村成美 Shigemi KITAMURA	29	赤丸急上昇 (赤松美智代+丸山陽子) Akamaru kyu-jyo-syo(Michiyo AKAMATSU+Yoko MARUYAMA)	39
楠原竜也 Tatsuya KUSUHARA	30	笠井瑞丈 × 上村なおか Mitsutake KASAI×Naoka UEMURA	40
鈴木ユキオ Yukio SUZUKI	31	勝部ちこ+鹿島聖子 (コンタクト・インプロビゼーション・グループ Cico) Chico KATSUBE+Shoko KASHIMA	41
田畑真希 Maki TABATA	32	坂本公成+森裕子 (Monochrome Circus) Kosei SAKAMOTO+Yuko MORI	42
田村一行 Ikko TAMURA	33	セレノグラフィカ (隅地菜歩+阿比留修一) Selenographica(Maho SUMIJI+Shuichi ABIRU)	43

44 ダン活支援の流れ

ダン活 公共ホール現代ダンス活性化事業 について

「公共ホール現代ダンス活性化事業(ダン活)」は、コンテンポラリーダンスのアーティストを地域に派遣し、専門家であるコーディネーターのサポートのもと、ホールとアーティストが共同で企画した地域交流プログラムや公演を実施する事業です。

各ホールのダンス事業のビジョンに基づき、3つのプログラムを各年度で段階的に選択し、継続的に事業を実施することができます。

プログラム

- Aプログラム(地域交流プログラム).....学校や福祉施設等でのアウトリーチと公募ワークショップを実施するプログラム
- Bプログラム(市民参加作品創作・公演プログラム).....市民参加作品を創作し、有料で公演するプログラム
- Cプログラム(公演プログラム).....登録アーティストのレパートリー作品を有料で公演するプログラム



地域創造

- ・登録アーティストの派遣
- ・コーディネーターの派遣
- ・全体研修会等の開催

- 登録アーティストやコーディネーターの派遣経費、B・Cプログラムでの事業実施に係る対象経費の2/3(上限50万円)を地域創造が負担します。
- 事業の企画から実施までを、コーディネーターの派遣や全体研修会の実施などでサポートします。

コンテンポラリーダンスとは

コンテンポラリーダンスとは「同時代のダンス」を意味します。「バレエ」「ジャズダンス」のように特定のジャンルを表すものではなく、今、生み出されるオリジナルなダンスの総称です。コンテンポラリーダンスを代表するテクニックや動きがあるわけではなく、日常生活にヒントを得た動きから、プロならではの高度な技まで様々なものが含まれます。各々のアーティストが多様な身体技法に自身の現代感覚・問題意識を融合させた独自の表現を追求することから、アーティストの数だけダンスがあるともいえます。また、コンテンポラリーダンスのワークショップは、言葉を使わない身体によるコミュニケーション、新しい身体感覚・動きの発見、心と体の健康維持、他者との水平な関係を構築する場、といった特性から、教育・医療・福祉等の分野でもその応用の可能性が注目され、アーティストの活動の幅が広がっています。

アウトリーチ

アーティストが学校・福祉施設・病院などを訪れ、コンテンポラリーダンスを知らない人や、普段ダンスに触れる機会の少ない層を対象としたプログラムを実施します。アイデア次第で、届けたい人・場所・地域特性などを汲み取った独自の内容を設定できます。



Photo:Shoko Kashima

公募ワークショップ

コンテンポラリーダンスに関心のある層や、関心を持ちそうな層に対し、いつもの生活では出会わない身体の動きや感覚を発見し、自分の表現で創造する楽しさや、個性や他者の存在を大事にした人とのつながりを感じるワークショップを実施します。



公演

コンテンポラリーダンスを地域に紹介し、これまでホールとつながりなかった新しい鑑賞者の掘り起こしを行います。自由な表現が可能なコンテンポラリーダンスの公演では、大ホールのような規模の大きいホールでも舞台上に客席を作ったり、普段とは違った劇場・ホールの使い方をしたりすることもできます。また、地元の人々と一緒に作品を創り上げたり、ロビー等のオープンスペースや野外でパフォーマンスを行ったり、地元の人々を巻き込んだプログラムにも挑戦できます。コーディネーターのサポートを得ながら、アーティストとともに自由で柔軟な発想の公演を作り上げ実施する経験は、自主企画公演にかかわる制作等のノウハウを得る機会となります。



登録アーティスト

全国公募の選考会で選ばれたコンテンポラリーダンスのアーティストです。B・Cプログラムでは、登録アーティストの中から公共ホールの希望するアーティストを派遣します。

コーディネーター

登録アーティストとともに公共ホールに派遣します。コーディネーターは、ダン活の企画から実施までのアドバイスを行い事業の円滑な運営をサポートします。公共ホールの担当者は、随時コーディネーターと相談することができます。

ダン活支援 公共ホール現代ダンス活性化支援事業 について

「公共ホール現代ダンス活性化支援事業(ダン活支援)」は、ダン活を実施した対象となる公共ホールが引き続き同様の事業を継続して実施する場合に、財政的な支援を行う事業です。
令和6(2024年)度は、本冊子記載の全ての登録アーティストが対象になります。

※事業の流れは44ページをご参照ください。

ダン活の流れ

実施前年度 4月下旬～5月 申込受付/7月上旬 実施団体内定

実施団体を募集。申請に基づき7月に実施団体が内定されます。

7月下旬 全体研修会

ダン活についての理解を深めるために、全体研修会に参加します。ダンス事業の企画・制作のノウハウを学び、登録アーティストによるパフォーマンスやワークショップのプレゼンテーションを観て、企画内容を整理し組み立てます。B・Cプログラムを実施する場合は、アーティストを選びます。

10月上旬 実施日程・アーティストの決定

実施団体の希望に基づき（B・Cプログラムのみ）地域創造にて、実施日程、派遣アーティスト、担当コーディネーターを決定します。

実施に向けての準備開始

実施団体の企画をもとに、アーティスト、コーディネーターと企画内容を検討し、現地下見のスケジュール調整等を行います。

4月～ 現地下見（個別研修）

地域創造がアーティスト、コーディネーターを現地に派遣します。ワークショップや公演会場、アウトリーチ先の下見をし、事業関係者とプログラム内容や今後のスケジュール等について打合せを行います。

事業実施2カ月前 事業内容決定

企画内容を練り上げ、事業の詳細を決定します。

事業の実施

コーディネーターのサポートを受けながら、アーティストとともにプログラムを実施します。

事業終了後30日以内 実績報告

ダン活の実績報告書を提出します。

※時期については変更される場合がありますので、必ず実施要綱等をご確認ください。

Artist Files

A

ダン活 登録アーティスト

及び

ダン活^{支援} 登録アーティスト

浅井信好 Nobuyoshi ASAI

「モノとカラダ」が繋がる！そこに現れる摩訶不思議な空間や形、そして体験が待っている。誰しもが持っている童心の空想力を使い切って創造しましょう。



「炎える母」Photo:高永亜紀子



「Peeping Garden/re-creation」Photo:大洞博晴



月灯りの移動劇場「中学生と作るアイオーウおばさまの家」Photo:月灯りの移動劇場

プロフィール

ストリートダンサーとしてSMAP、サカナクション、浜崎あゆみ、ファーギーなどのツアーダンサーや振付を担当。2005年～2011年まで山海塾に所属。2011年に文化庁新進芸術家研修制度で《パットシェバ舞踊団》に派遣。2012年よりパリを拠点に《PIERRE MIROIR》を主宰。2016年に日本へ帰国後、《月灯りの移動劇場》を主宰するとともに、コンテンポラリーダンスのプラットフォーム《ダンスハウス黄金4422》の代表を務める。ダミアン・ジャレ+名和晃平『VESSEL』、ダレン・ジョンストン『Zero Point』、ナセラ・ペラザ『La Travers』、Phantom Limb Company『Falling out』、スー・ヒーリー『ON VIEW PANORAMA』らの世界ツアーに参加。名古屋芸術大学舞台芸術領域専任講師。これまでに30カ国150都市以上で公演を行う。

所属カンパニー 月灯りの移動劇場
 ホームページ <https://tsukiakari-theater.jp>
 連絡先(制作) 杉浦亜希
 E-mail tsukiakaritheater@gmail.com
 アーティスト在驻地 愛知県名古屋市
 アーティスト出身地 愛知県名古屋市



Photo:佐藤良祐

活動歴

〈2012年〉『ABSTINENT』@Theatre Cliba/テル・アビブ ＊10カ国15都市で再演
 〈2012年〉『Coup de folie』@鬼頭運輸倉庫/名古屋 ＊2カ国3都市で再演
 〈2014年〉『Betweenness-Encounter』@パリ日本文化会館/パリ ＊フランス4都市で再演
 〈2014年〉『Nomads』@Jerusalem's International Dance Week/エルサレム ＊3カ国3都市で再演
 〈2015年〉『REL』@六行会ホール/東京 ＊3カ国4都市で再演
 〈2016年〉『はてしない物語』@六行会ホール/東京 ＊国内5都市で再演
 〈2017年〉『Flying birds』@セッションハウス/東京 ＊4カ国9都市で再演
 〈2020年〉『KOKO TO SOKO』@リンナイ旧部品センター/名古屋
 〈2020年〉東アジア文化都市「詩踊る」『炎える母』@北九州芸術劇場中劇場/北九州市
 〈2021年〉『踊る秋田』『Peeping Garden/re-creation』@秋田拠点センターアルヴェ/秋田 ＊2カ国13都市で再演

受賞歴

〈2002年〉WORLD HIP-HOP CHAMPIONSHIP 1st (アメリカ)
 〈2013年〉ARTE ART PRIZE LAGUNA12.13 特別賞 (イタリア)
 〈2013年〉Festival International de dance contemporaine D'ABIDJAN 最優秀作品賞 (コートジボワール)
 〈2014年〉愛知県芸術文化選奨新人賞 (日本)
 〈2014年〉エルサレム国際振付家コンペティションファイナリスト (イスラエル)
 〈2015年〉NEXTREAM21 最優秀賞 (日本)
 〈2017年〉グッドデザイン賞 (日本)
 〈2017年〉Asian Solo&Duo Challenge for MASDANZA NDA賞 (韓国)
 〈2017年〉VIII Premios PADベスト照明デザイン賞ノミネート (スペイン)

ワークショップ歴

〈2017年10月〉「からだで絵本をえがく」小学生4年生対象 会場：豊橋市立下条小学校、豊橋市立羽根井小学校 主催：公益財団法人豊橋文化振興財団
 〈2018年8月〉「舞踏ワークショップ」ダンサー対象 会場：KAIST 主催：ARTIST NEST (韓国)
 〈2019年8月〉「舞踏ワークショップ」大学生対象 会場：東京藝術大学 主催：東京藝術大学
 〈2019年12月〉「舞踏ワークショップ」一般対象 会場：TROI C-L 主催：TROI C-L (ルクセンブルク)
 〈2020年1月～10月〉「KOKO TO SOKO」中高生対象 会場：ダンスハウス黄金4422 主催：月灯りの移動劇場
 〈2021年9月〉「舞踏ワークショップ」一般対象 会場：オンライン 主催：M1 CONTACT (シンガポール)
 〈2021年12月～2022年3月〉「パフォーマンスキッズ・トーキョー」小学5年生対象 会場：千代田区昌平小学校 主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、特定非営利法人 芸術家と子どもたち

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

①学校でのアウトリーチ

『モノとカラダで楽しむダンス』
 小学校・中学校向けに、1000個の木製の積み木を使い、テーマに合わせて並べたり、積み上げることによって一つの空間設定を作り出す。その空間を使って、様々な動作やダンスを見つけ、各グループ小作品の発表を行う。

②福祉施設でのアウトリーチ

『動かされるダンス』
 老人福祉施設や障害者向けに、舞踏の基本エクササイズである「空っぽの器」を体験することで普段、無意識に緊張している身体を向き合うことから始まる。緊張が解れてきたら風や波のイメージによって「動かされる身体」を体験していく身体を解放するエクササイズを実施。

③ダンスや演劇などのサークルや部活

高校・大学向けに、普段の表現活動の中で疑問に思うことや悩み、上達したいことを事前のアンケートによってヒアリングをし、ダンスを通して新たなヒントを得ることができるプログラムをその都度、考えて実施する。テクニックだけを教えるのではなく、ディスカッションやグループワークを通して人や空間とのコミュニケーションからヒントを見つけていくプログラム。

◎実施条件(共通)

- ▶アシスタントの有無：1名必要
- ▶参加適正人数：10～25名程度 ※内容とスペースの大きさによって応相談
- ▶1日の実施可能回数・時間：1日最大3コマ ※1コマ45分～90分 (内容により応相談)
- ▶必要機材：iPhoneやPC等を接続できる音響プレーヤー

公募ワークショップ

①はじめての「舞踏」ワークショップ

舞踏の基本エクササイズである「空っぽの器」を体験することで普段、無意識に緊張している身体を向き合うことから始める。そのほか、意識の糸・歩行・波の発生など参加者のレベルを考慮し、プログラム実施。ワークショップを通して重力を捉えることの楽しさを体験する。

◎実施条件(共通)

- ▶アシスタントの有無：1名必要
- ▶参加適正人数：20名程度
- ▶1日の実施可能回数・時間：1日最大3コマ ※1コマ45分～90分 (内容により応相談)
- ▶必要機材：iPhoneやPC等を接続できる音響プレーヤー
- ▶対象：ダンス未経験者、老若男女参加可能

この事業で可能な市民参加作品のスタイル

『KOKO TO SOKO』

ニューヨーク近代美術館をはじめ、世界各国の美術館やギャラリーで取り扱われているスペインの木製ゲームブランド・PICO PAO (ピコパオ) が手がけた「LAS ESCALERAS / 階段」をコラボレーションによって実寸サイズの舞台美術へと転換。8本の特殊な形状をした梯子を使用し、さまざまな組み合わせによって空間をデザインしたり、具象的なモチーフを造形したりすることで、モノによる抽象性と具象

性の変化を体験。モノとの関わりによって発生する「形態変化」「形状変化」という身体性に注目して振付を展開。

▶上演時間：40～60分

- ▶出演者数：3人 (登録アーティスト+共演者2名)
- ▶市民参加の形態：市民参加公演 (クリエイションワークショップ参加者との協働作品)
- ▶クリエイションワークショップの参加 (出演) 人

数・回数：5～10名程度・6～10回程度

- ▶同行スタッフ：照明1名
- ▶現地スタッフ：舞台監督1名・音響1名・照明1名
- ▶上演環境：(1) 会場の広さ・形状：10m × 10m程度 (2) 床…リノリウム黒色またはグレー
- ▶その他：マイク、梯子8本 (登録アーティストが持参)

この事業で可能な公演作品

①「炎える母」

2020年に東アジア文化都市「詩踊る」@北九州芸術劇場で初演。北九州出身の詩人 宗左近著『炎える母』を題材に作家の死生観を掘り下げることで、螺旋構造に着目した舞台美術と振付によって構成された作品
 ▶上演時間：45分 ▶出演者数：3人 (登録アーティスト+共演者2名) ▶同行スタッフ：照明1名 ▶現地スタッフ：舞台監督1名・音響1名・照明2名 ▶上演環境：(1) 会場の広さ・形状：12m × 12m (2) 床…リノリウム黒色 (3) 必要機材、舞台セット：吊りもの用のスリング ▶その他：5mの鉄製螺旋状美術：重さ50kg程度 (登録アーティストが持参)

②「Flying birds」

世界4カ国9都市で上演してきた本作は【空気の風景】という独自の表現形態によって、「視覚的に認識

することのできない流動する空気の流れを空間に表出する」ことをコンセプトに新たな風景を舞台上に作り出す作品

- ▶上演時間：40分 ▶出演者数：3人 (登録アーティスト+共演者2名) ▶同行スタッフ：照明1名 ▶現地スタッフ：舞台監督1名・音響1名・照明1名 ▶上演環境：(1) 会場の広さ・形状：8m × 8m (2) 床…リノリウム黒色 (3) 必要機材、舞台セット：なし

③「Peeping Garden / re-creation」

2カ国13都市で上演された本作は、世界30カ国以上の新聞やTV、雑誌等でコロナ禍における新たな鑑賞形式として注目された。独自に開発されて移動型ソーシャルディスタンス円形劇場を使い、壁によって仕切られた半個室空間の穴から内部のパフォーマンスを鑑賞する形式を用いて、観客はカメラのファインダーを覗くように能動的に鑑賞し、作

品に没入できるように設計されている。白砂の敷き詰められた空間の中で3名のダンサーが織りなす無重力空間のような踊りから、次第に石庭の庭が形成されていく作品

- ▶上演時間：50分 ▶出演者数：3人 (登録アーティスト+共演者2名) ▶同行スタッフ：照明1名 ▶現地スタッフ：舞台監督1名・音響1名・照明1名 ▶上演環境：(1) 会場の広さ・形状：13m × 15m (2) 床…リノリウム黒色 (3) 必要機材、舞台セット：なし

▶その他：(1) 円形劇場、客席、音響機材、照明器材、リノリウムなど上演に必要な備品は全て登録アーティストが持参。(2) 約900kgの珪砂を円形劇場内部に敷き詰める。(登録アーティストが持参) (3) 運搬に係るトラックレンタル費は劇場側が負担。

この事業で挑戦してみたいこと

●アウトリーチやワークショップを通じて、オリジナルで製作された木製の美術やおもちゃを使い、「モノとカラダ」の関係性を思考し、新たな形や空間を作り出すことの面白さを一緒に探求するだけでなく、モノとの関わりをヒントに新しい動きを探し出していきたいです。

●市民参加作品では、地域の風景や民話などをモチーフに8本の梯子を組み合わせたシンプルな演出で、その地域ごとに新しい作品と一緒に作りたいたいです。

●公演では、抽象性に特化した作品だがどこかで見た、感じたり、想像した現象が舞台上に現れます。

私自身も幾度となく、言葉で言い表すことのできない現象や風景を目の当たりにしてきた経験が振付作品に生かされているので、作品の鑑賞を通して、観客の人達にも私たちの周りで発生する美しい景色や現象を再認識する機会を提供したいです。

井田 亜彩実 Asami IDA

うれしくてスキップしたり、綺麗なモノを見て触れてみたくて手を差し伸べたり。身体表現のカケラ達は日常のあちこちに散りばめられています。そのカケラを紡いで、まだ知らない自分に出会う旅を一緒にしましょう！



Photo:大洞博晴



Photo:菅原康太



「ARTopia」

プロフィール

ダンスカンパニー「Arche」(アルケー) 主宰。筑波大、筑波大学院舞踊コースにて舞踊学を学ぶ。文化庁新進芸術家海外留学制度によりイスラエルへ留学。2014年～2018年、「MARIKONG」(イスラエル) 所属。現在は長野、東京に拠点を置き、「人との繋がり」をテーマに、全国各地でW.S講師やレジデンスを行い、作品創作・発表を行う。また、信州大学非常勤講師や劇団への振付、日本発のプロダンスリーグ第一生命D.LEAGUE22-23SEASONに「LIFULL ALT-RHYTHM」として参戦、絵を描くなど多角的に活動。横浜ダンスコレクション・コンペティション I 奨励賞(2021)、ペラルーシ国際コンペティション第1位(2012) など受賞。

所属カンパニー Arche
ホームページ <https://genjoujihataika.wixsite.com/asamiida>
連絡先(担当) Arche・井田亜彩実
E-mail asamiida0629@gmail.com
アーティスト在り地 長野県長野市
アーティスト出身地 長野県長野市



Photo:hitoha.nasu

活動歴 I

〈2013年〉ダンスがみたい! 受賞者公演「arche」(振付・演出・出演) @d-倉庫
〈2014年～2018年〉「MARI KONG」所属 (イスラエル)
〈2014年～2018年〉「BACKSTAGE」(共同振付・出演) @barby
〈2015年～2018年〉「Micasa Sucasa」(プロデュース・出演) (イスラエル国内5都市)
〈2015年〉「Moth-娘」(振付・演出・出演) @Suzanne Delall Dance Center (イスラエル)
〈2017年〉Jerusalem International Dance Week「Moth-娘」(振付・演出・出演) @Machol Shalem Dance House
〈2018年〉QUINAWNA DE DANCA DE ALMADA「microscopic」(振付・演出・出演) @Teatro Municipal Joaquim Benite (ポルトガル)
〈2019年〉長久手市文化の家主催事業「ARTopia」(企画・演出・出演) @長久手市文化の家風のホール
〈2020年～2022年〉Arche主催公演 @長野市芸術館リサイタルホール、アクトスペース
〈2022年11月〉Arche主催公演「パンタレイ」@BUoY

受賞歴 I

〈2011年〉NEXTREAM21優秀賞(第1位)、Dance Creation Award 創作の部第2位受賞
〈2012年〉International Competition of Modern Choreography in Vitebsk 2012. 第1位受賞
〈2013年〉芸創CONNECT vol.6審査員特別賞受賞、ダンスがみたい! 新人シリーズ11オーディエンス賞受賞
〈2017年〉Jerusalem international dance week competition 第5位受賞
〈2021年〉横浜ダンスコレクション2021Comprtition I 奨励賞受賞

ワークショップ歴 I

〈2019年〉「茨城県小学校ダンスワークショップ」(対象:小学生) 主催: Dance Association Seeds
〈2020年〉「Ergao Dance Production Group Studio Dance Campプログラム」(対象:ダンサー、指導者) 主催: Ergao Dance Production Group Studio (対象:中国)
〈2020年〉「踊ることは生きること! 活力を生み出すワークショップ!」J-DANCE online Workshop (対象:一般・ベトナム) 主催: 国際交流基金ベトナム日本文化交流センター
〈2020年〉「イスラエル発! 身体開発ダンスワークショップ」(対象:一般) 主催: とよはし芸術劇場PLAT
〈2021年〉「神奈川県高校体育連盟ダンスワークショップ」(対象:高校生) 主催: 神奈川県高校体育連盟
〈2021年〜〉「劇空間夢幻工房MAプログラム」(対象:小学生〜一般) 主催: 劇空間夢幻工房
〈2022年〉「特別支援学級ダンスワークショップ」(対象:小学生) 主催: 芸術家と子どもたち
〈2023年〉ソラホール・プレオープン企画「どこでもダンス」(対象:一般) 主催: 信州なかの文化芸術実行委員会、公益社団法人全国公立文化施設協会、中野市

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

『なりきりダンス王国』

リズムや擬音語、オノマトペ、模倣から様々な動きをみつけ、「動物園から動物たちが逃げ出したら?」などキャッチーな「ストーリー」をみんなで考え作品をつくり、体いっぱい動き回り、想像力を養い、楽しい表現を伝えます。(幼稚園児〜小学生対象)

『他者との違いに触れるコミュニケーションダンス』

「体ほくし」から始まり、互いの動きの模倣や、相手がいるからできる動きをペアワーク中心にゲーム要素を取り入れ恥ずかしさを取り払い、互いの違いを感じながら一緒に動く楽しさを提案します。見せ合いを積極的に行うことで相手の良いところ、それぞれの個性に触れる機会を提案します。(中・高校生対象)

『即実践! ダンスの可能性に触れる』

現代的なリズムのダンス・伝統的なダンス・表現ダ

ンスの3本柱に触れ、ダンスの魅力と共に現場で実践できる内容を提案していきます。体を使って他者と動くことで、コミュニケーション能力や自己実現の芽を育て、思考力・想像力を育む事を狙いとします。(小・中・高校教員対象)

公募ワークショップ

●創造の種をみつけよう!

「もし言葉を使わずに違う国の人と挨拶するとしたら?」「オノマトペだけでお友達を遊びに誘うとしたら?」「ジャングル探検隊になったら?」など様々なテーマを投げかけ、身体表現を使って動きます。想像力を使って心と体を解放し、どんな事でもダンスになる! 事を感じてもらい、チャレンジする心を育てます。(小学生対象)

●想像が育むダンス!

「リズムダンスと表現ダンス」の2本軸で行います。

リズムをとったり、相手のつくるリズムに合わせて動いてみるなどシンプルな導入で心と体をほぐします。身近なテーマを用いて作品創作します。お互いの作品のテーマの当て合いを行い、他のグループを鑑賞する目も養います。(中高生対象)

●細胞レベルでつながるダンス!

自分の身体をパーツで捉えず細胞レベルで認識することにより表現の可能性に気づくと共に、即興を軸に相手の動きに対して反射的かつ連動的に反応したり、相手の動きの質感を共有することにより、自分や他者を愛しいと思える時間にしたいです。(一般対象)

▶アシスタント: 応相談(できれば1名)

▶参加適正人数: 20~30名程度(要望に合わせます)

▶1日の実施可能回数・時間: 2コマ ※1コマ90分~120分

▶必要機材: iPhone、Mac用の音響プレーヤー

この事業で可能な市民参加作品のスタイル

●『To Have Or To Be-OO(その土地に合わせて)-』

「知らない自分、表現の可能性に気づく」をコンセプトに、その土地と、その土地が持つ特色や、公募で集まった方々の個性や会話、その人が持つエネルギーを基に創作します。「つながり」をテーマにこの場に出会った奇跡を紡ぎ、一人一人が主役のストーリーを創り出します。

●『ARTopia!』

「誰にでも開かれたアートを」をコンセプトに市民と共に、ジャンルが異なるアーティストも公募で募ります。これは、観客層も広がり新たな出会いが生ま

れることを期待しました。可能であれば劇場全体を使用して、観客が回遊できるように行いたい。劇場内をパフォーマーに導かれて旅をし、最終的には踊る・観るという線引きをなくすことを試みるアートのお祭りです。

▶上演時間: 60分

▶出演者数: 3名(登録アーティスト+共演者2名)

▶市民参加公演の形態: 市民参加公演(クリエイションワークショップ参加者との協働作品)

●市民とアーティスト参加公演(アーティストはジャンル問わず、美術家などもOK・クリエイション

ワークショップ参加者との協働作品)

▶クリエイションワークショップの参加(出演)人数・回数: 10~15名程度・5~10回程度

▶同行スタッフ: 演出助手1名

▶現地スタッフ: 照明仕込み1名、音響1名、できれば舞台監督1名

▶上演環境:

(1) 会場の広さ・形状: 野外を含めホール環境に対応。

(2) リノリウム: ホール環境に対応

(3) 必要機材、舞台セット: 創作過程で相談

この事業で可能な公演作品

●『Species-種-』

私たち人間は遠い昔、自然の一部から離れ、歩き始めた。確固たる地位を確立した裏で、私たちは孤独を背負い生きる本能を負うこととなる。さらにテクノロジー、メディアが発展していき個々のつながりが希薄になる世の中。私たちが孤独から解放される術は、未知なる未来に思いを馳せ、人間の「種」としての一つの可能性を提案したいと思う。この作品は4人のダンサーのつながりに焦点を当て、一体感が現象として生み出される様にチャレンジした作品。

▶上演時間: 20分~40分(伸縮可能) ▶出演者数: 3名(登録アーティスト1名+共演者2名) ▶同行スタッフ: 照明1名 ▶現地スタッフ: 照明仕込み1名、音響1名 ▶上演環境: (1) 会場の広さ・形状: 6m×6m以上(舞台以外のスペースでも上演可能)

(2) 床・リノリウムある場合黒希望 (3) 必要機材、舞台セット: S.Sライト6台(可能であれば)

●『Re:Birth (共同制作者: 黒須育海)』

細胞の分解や生成、変容荒唐などをテーマに人間の枠を超えた身体表現を追求した作品。

▶上演時間: 30分 ▶出演者数: 2名(登録アーティスト1名+共演者1名) ▶同行スタッフ: 照明1名 ▶現地スタッフ: 照明仕込み1名、音響1名 ▶上演環境: (1) 会場の広さ・形状: 8m×8m程度(対応可) (2) リノリウム: 黒(他色でも対応可。) (3) 必要機材、舞台セット: S.S高さ上下あるもの ▶その他: 作品●と同時上演可

▶上演時間: 20分 ▶出演者数: 1人 可能であればピアノ1人 ▶同行スタッフ: 照明1名 ▶現地スタッフ: 音響1名 ▶会場の広さ: リノリウム: 共にこだわりなく、ピアノが入る場合は、ピアノがおける環境。 ▶必要機材: ピアノ ▶その他: ①、②どちらとも同時上演可

●『Granatus』

2020年、感染症が拡大していき、人とのコミュニケー

ションが取りづらくなっていく世の中で、何が自分のできるだろうと自問自答しながら六畳一間で創ったソロ作品。「Granatus」は宝石のガーネットの由来と言われ、ラテン語で「種子」を意味し、困難に直面しても、前向きに乗り越えていけるよう導いてくれるといわれています。届いて欲しい想いがある、一緒にまた笑って会える日が来るように、そんな願いを込めて創りました。
音楽: 笠松泰洋

▶上演時間: 20分 ▶出演者数: 1人 可能であればピアノ1人 ▶同行スタッフ: 照明1名 ▶現地スタッフ: 音響1名 ▶会場の広さ: リノリウム: 共にこだわりなく、ピアノが入る場合は、ピアノがおける環境。 ▶必要機材: ピアノ ▶その他: ①、②どちらとも同時上演可

この事業で挑戦してみたいこと

●「人との繋がり」についてリサーチするワークショップや、作品内容の可能性を思考したいです。長期的に継続して行う事を目指し、様々な地域の人々と出会い、その地域における違いや共通点などをフィードバックし、モデル案を構築したいです。

●老若男女、ハンディキャップに関わらず、一緒にひとつの作品を創りたいです。それぞれ持つエネルギーが創造の可能性を感じます!

●地域で活動するアーティストとのコラボレー

ションを行いたい。派遣アーティストや市民アーティスト、劇場、全員が連携し、横の繋がりを作る事でアートの入り口が広がり、当事者が増え、さらなる地域に寄り添ったアートの可能性が提案していけるのではと考えます。

大島 匡史朗 Kyoshiro OSHIMA

個々に眠る可能性を信じ、その人にしか出せないものを引き出すアプローチ。言葉やイメージ・思考を使い、身体感覚に目を向け、時にはとことん話し合う。一緒に目指したいのは、「まだ誰も想像したことがないもの」。



Photo:liu_ma



Photo:Yuval Moyai



Photo:Yuval Moyai

プロフィール

SnC代表、振付家、ダンサー。スイス、パーゼルバレエ学校卒業後、同国、Ballet Junior de Genèveに所属。アレクサンダー・エクマン、ホフェッシュ・シェクター等、世界的に有名な振付家の作品を踊り経験を積む。帰国後、企画団体SnCを設立。主催公演、他分野とのコラボレーション、ワークショップの企画等、様々な活動を行う。個人でも振付家をメインに活躍しており、2019年には福岡県・サザンクス筑後・九州芸文館等主催の「筑後ダンスプログラム」に作品提供、好評を得た。学校等へのアウトリーチを行う団体Dancing Peopleとしても活動中。

所属カンパニー SnC
ホームページ <https://snc-contemporary-dance-project.tumblr.com>
連絡先(担当) 大島匡史朗
E-mail snc.contemporarydanceproject@gmail.com
アーティスト在驻地 福岡県福岡市
アーティスト出身地 大分県日田市



Photo:Yuval Moyai

活動歴

(2011年) Ballet Junior de Genèveにて、「Inside yourself」振付
(2016年) (公財) 日本バレエ協会主催「全国合同バレエの夕べ」にて、「Eat me, Eat Me」振付
(2019年) 福岡県・サザンクス筑後・九州芸文館等主催「筑後ダンスプログラム2019」にて、「うつろう」、「骨まで食べれる(市民公募型)」振付
(2020年) (公財) 筑後市文化振興公社主催「夏のちよこつとフェスティバル」にて、「月が出た」(市民参加型) 振付
(2021年) (公財) 福岡市文化芸術振興財団・福岡市主催「ダンスセレクションinアートカフェ」にて、「静寂は怒る」振付。クリエイティブ・ラボ「anno lab」とコラボレーションし、デジタルアート作品「窓がひらいている」制作。

受賞歴

(2005年) Youth America Grand Prixにてワシントンキーロフバレエアカデミーよりスカラシップ受賞
(2006年) バレコン福岡男子ジュニアの部 4位受賞
(2007年) NBAバレエコンクール コンテンポラリー部門 3-2位受賞
(2011年) NBAバレエコンクールコンテンポラリー部門 振付作品が3-1位受賞
(2016年) Youth America Grand Prix シニア部門 コンテンポラリー 振付作品がTOP12入り

ワークショップ歴

■筑後ダンスプログラム2019 (2019年) 小学生以上の市民が対象。全6回のワークショップで、市民公募型作品「骨まで食べれる」を振付。主催：九州芸文館芸術文化交流拠点性発揮実行委員会
■西日本短期大学メディア・プロモーション学科 (2020年) ダンス経験のある短期大学2年生が対象。5月にオンライン、12月に対面にて実施。
■福岡市立八田小学校 (2020年~2022年) 各年の小学4年生が対象。毎年担任の先生へのヒアリングを行った上で内容決定。
※2021年からは文化芸術による子供育成総合事業—芸術家の派遣事業として実施
■Ballet and Beyond (2022年) 小学生以上の子供及び親子が対象。身体遊びを通して想像力や発想力を刺激。

可能なワークショップ等のスタイル

事前ヒアリングを実施し、ご希望やご要望、条件、現在抱えている課題などをお聞かせいただいた上で、ワークショップのゴールを定め、そこに到達するためのアプローチを検討してプログラムを構成するスタイルを取っています。また、地元と一緒にアウトリーチ活動を行っているアーティストにもアシスタントとして参加してもらおうと、私1人の考えだけに偏ることなく多角的なプログラムを構成できることも特徴です。

◎実施条件

- ▶アシスタントの有無：1名
- ▶出演者数：ダンサー3名(登録アーティスト+共演者2名)
- ▶参加適正人数：15名~30名程度
- ▶1日の実施可能回数・時間：3コマ ※1コマ45分
- ▶必要機材：可能なら、PC等を接続できるスピーカー、マイク2つ、ホワイトボード等

以下、過去に実施したプログラムの具体例をご紹介します。

この事業で可能な市民参加作品のスタイル

ご希望や条件、参加者の特性などを考慮した上で作品を制作します。以下は一例です。

①『ミルク』

- 「積み重なるもの」をテーマに、出演者との対話形式で進められていく作品。
- ▶上演時間：10分~50分
- ▶出演者数：ダンサー 3名(登録アーティスト+共演者2名)
- ▶市民参加の形態：市民参加公演のみ又は市民参加公演+レパトリー作品
- ▶クリエイションワークショップの参加(出演)人

アウトリーチ

①自己への気付きの時間にしたい

参加者をグループ分けして食材を割り当て、全員で踊る「おでんダンス」を作る。個人・グループ・全員という3つの要素を行き来し、自分自身の考えを表現したり、他人とコミュニケーションを取ったりすることで、自分がどう考えているか、どう感じているかに目を向ける。

②創作を行って発表をしたい

想像力を働かせながら身体を動かした後、少人数のグループを作り、それぞれに絵や書などが写っている写真を渡す。グループ毎に話し合いながらダンスを作り、最後に発表する。お題の写真には、言葉では簡単に説明できず、かつ想像力を刺激できるものを厳選し、型にはまらない踊りへと自然に導く。

③日常の自己表現の手段から身体全体の表現へ

1日目、聴覚特別支援学校の生徒さんから手話を習い、その手話から振付を作り覚えてもらう。2日目、テーマ

に対して各自手話で回答し、その手話を元に自分でダンスを作る。

公募ワークショップ

①身体の可能性に目を向けたい

身体を意識的に動かすことで、全身の感覚を刺激。身体に繊細な感覚があることに気付き、イメージと動きを連動させていくことで身体性を再発見し、人間本来の在り方を呼び起こす。

②身体遊びを通して想像力を高めたい

誰もが知っているゲーム「しりとり」を、言葉だけでなく動きでも行う。プレイヤーが頭の中で言葉を決め、そこから想像できるイメージで動きを作ることの繰り返しをしていき、全員に回ったら1つのダンスが出来上がる。

- 数・回数：1~10名・5回程度
- ▶同行スタッフ：演出助手1名
- ▶現地スタッフ：舞台監督1名、音響1名、照明1名、照明仕込み1名
- ▶上演環境：(1)会場の広さ・形状：特に希望なし (2)リノリウム：可能であれば(なくても可) (3)必要機材、舞台セット：マイク2個

②『月が出た』

その土地の盆踊りをアレンジ。DJがミックスする音楽、それに合わせて変化する照明。踊って楽しい、見て楽しい、新しい形の盆踊り。

- ▶上演時間：50分
- ▶出演者数：ダンサー 3名(登録アーティスト+共演者2名)
- ▶同行スタッフ：DJ1名
- ▶市民参加の形態：市民参加公演
- ▶参加人数：20名以上
- ▶現地スタッフ：舞台監督1名、音響1名、照明1名、照明仕込み1名、大道具数名
- ▶上演環境：(1)会場の広さ・形状：特に希望なし ※野可 (2)リノリウム：可能であれば(なくても可) (3)必要機材、舞台セット：檯、DJブース、可能であればミラーボール

この事業で可能な公演作品

①『With it』

- 身体の可能性から様々な動きが生まれ、途切れることなく続く音楽と共に展開していく。ダンサーのトレーニングされた身体や動きをシンプルに楽しめる作品。
- ▶上演時間：20分
- ▶出演者数：ダンサー 3名(登録アーティスト+共演者2名)
- ▶同行スタッフ：制作1名
- ▶現地スタッフ：舞台監督1名、音響1名、照明1名
- ▶上演環境：

- (1)会場の広さ・形状：特に希望なし
- (2)リノリウム：可能であれば(なくても可)
- (3)必要機材、舞台セット：備え付けの機材等に対応。現場を拝見した上で最終決定させていただけたらと思います。

②『ソロ作品(タイトル未定)』

- 1人の人間の身体とその動きに凝縮された無数の情報。言語とダンスの狭間を行き来することで、あるかのように錯覚している境目の無さに焦点を当てていく。

- ▶上演時間：50分
- ▶出演者数：1名
- ▶同行スタッフ：演出助手1名
- ▶現地スタッフ：舞台監督1名、音響1名、照明1名
- ▶上演環境：(1)会場の広さ・形状：特に希望なし (2)リノリウム：可能であれば(なくても可) (3)必要機材、舞台セット：備え付けの機材等に対応。現場を拝見した上で最終決定させていただけたらと思います。

この事業で挑戦してみたいこと

私は、新しいものを見たい、とよく考えています。しかし、「新しさ」を日常の中で見つけることは少し難しい。なぜなら、新しいと感じるためには「知らない」ということが重要だからです。日常には知っているものばかりです。

この事業には「知らない」がたくさん潜んでいます。土地・時間・空間・人。「知らない」者同士が対話し、踊る。そんなこと、予想できない、なにが起こるか分からない、何が産まれるかわからない。紛れもなく「新しさ」への道であり、挑戦です。ワクワクします。

そうして辿り着いた「新しさ」の中には必ず、私達の「可能性」が見つかります。私は皆様とともに、私達の様々な可能性を探するという挑戦をしたいと考えています。

中村 蓉 Yō NAKAMURA

踊るスイッチ ON!! あなたの人生が、激情が、ダンスになります。
音楽やちょっとしたアイデアが手助けしてくれるはず。心と体の毛穴を開いて、
思わず出ちゃった自分自身をお土産にしてください。



Photo:斎藤伸一郎



「浦安音楽ホール市民参加作品創作」Photo:江野耕治



Photo:山崎忠

プロフィール

早稲田大学在学中にコンテンポラリーダンスを始める。2010年より自身の作品を創り始め、ルーマニア・シビウ国際演劇祭、東アジア文化都市式典、国際芸術祭あいち2022などで作品を上演し、国内外で活動している。長編ソロ『顔』は公演評が産経新聞〈鑑賞眼〉(文:岡見さえ氏)に掲載された。サンリオピューロランドのショー『Nakayoku Connect』やドイツ・マインフランケン劇場製作『ANATEVKA (屋根の上のヴァイオリン弾き)』などの振付も担当。東京二期会ニューウェーブ・オペラ劇場『セルセ』では演出・振付を担当した。郷ひろみ「笑顔にカンバイ!」MV (振付:近藤良平氏) などにも出演。

ホームページ
連絡先(担当) http://yo-nnn.wixsite.com/yo-nakamura
中村蓉
※ダン活、ダン活支援に関するお問い合わせは、上記HP内CONTACTよりお願いします。

アーティスト在驻地 東京都
アーティスト出身地 新潟県長岡市



Photo:金子栄明

活動歴

〈2014年〉イギリス・ウェールズNational Theatre Walesレジデンス企画にて現地の映像作家Jorge Lizaldeとのプロジェクト「Cymru and I」を開始。2015年に新潟県長岡市でも実施。
〈2015年〉横浜市主催DanceDanceDance@Yokohama公式PV振付・出演。
〈2017年〉青森県八戸市南郷文化ホール南郷アートプロジェクト「DANCE×JAZZ」にて地元のビッグバンドと共に『オールナイト南郷!』を上演。
〈2018年〉浦安音楽ホールにて市民参加作品「プランニュー浦安!〜心と体の夢の国〜」を上演。浦安にまつわる楽曲も作曲家飯田翔一氏と創作。
〈2019年〉岩手県宮古市にて、街の風景を踊りで巡る映像作品〈ダンス借景〜小説「蜘蛛崎心中」を読みながら〜〉と、縄文文化を身体で学ぶ『縄文かもしれない体操』シリーズを製作。
〈2020年〉都内民家よりオンライン公演「ジゼル特別30分版」を配信。

〈2021〜23年〉東京都北千住の築90年の民家で一ヶ月ロングラン公演「家と暮らせば」を演出振付。毎年春3年間上演。
〈2022年〉国際芸術祭「あいち2022」にて『ジゼル』上演。

受賞歴

〈2012年〉『マーガレットの休日』ダンスコンテストNEXTREAM21審査員特別賞
〈2012年〉『別れの詩』第1回セッションベスト賞
〈2013年〉『別れの詩』横浜ダンスコレクションEX審査員賞シビウ国際演劇祭賞
〈2014年〉『シエルフィッシュ』トーキョー×ソウルデュオダンスフェスティバル人気賞
〈2016年〉第5回エルスール財団コンテンポラリーダンス部門新人賞

ワークショップ歴

〈2014年〉ルーマニア・シビウ20-30代男女対象に実施。主催:シビウ国際演劇祭
〈2015年〉横浜美術館20-60代男女対象に実施。主催:横浜トリエンナーレ
〈2018年〉ドイツフランクフルト市立シューレームリット高校1-3年生約20名に実施。主催:横浜アーツフェスティバル実行委員会、後援:フランクフルト市
〈2022年〉神奈川県青少年ダンス講習会にて中学校ダンス部70名対象に実施。主催:神奈川県
〈2022年〉北九州芸術劇場にて財団職員対象に実施。主催:北九州芸術文化振興財団
〈2023年〉都内小学3年〜中学3年生13名と10日間で『愛なんだ2023』を創作し、なかのZERO小ホールにて発表。主催:芸術家と子どもたち

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

①学校でのアウトリーチ

ロダン「考える人」やゴッホ「ひまわり」またはバナナやリンゴなど、有名な美術作品から身近な物まで、じっくり観察して全身で「なり切る」!「変身する」!体や気持ちは変幻自在であることを伝えます。アウトリーチの最後には、これまで行ったエクササイズを取り入れた振付を、現在流行っている歌や生徒さん達が知っている曲に合わせて踊り尽くします。これらの体験を通して、ダンスが身近にあること、ダンスは世界の切り取り方の一つなんだということを伝えます。

②教員へのアウトリーチ

教員を対象に、学校でのアウトリーチ内容を、その目的や段階を言葉にして確認しながら進めます。ダンスを用いた授業を実施するにあたり、自信を持って取り組んでいただくために、先生一人一人に合った必殺技を持ち帰っていただきます。例えば「この曲で踊らせたらかってと日本一!」「家電の機能を身

体で表現するのが上手すぎる!」など。先生自身とダンスが一番強く結び付く感触を発見し、その実感を生徒さん達にもお伝えいただきたいです。

③文化施設でのアウトリーチ

施設の特徴や周辺エリアを綿密にリサーチしてテーマソングから創り(リサーチをもとに歌詞を創作)生み出したオリジナルダンスを、職員の皆さまと踊ります。施設内で踊り、ミュージックビデオの製作もチャレンジします。実施例:岩手県宮古市【崎山貝塚縄文の森ミュージアムで踊る!】縄文かもしれない体操〜不思議な職員篇〜

あらゆる対象のアウトリーチに、その場所の個性を活かして対応したいと考えています。

公募ワークショップ

①「歌謡曲スイッチ」

ちあきなおみ「喝采」や八代亜紀「雨の慕情」など歌謡曲の歌詞に登場する人物になり切って踊ります。私

が創った振付と、参加者の方々に歌詞をヒントに創っていただくパートを組み合わせると1曲踊り切ります。歌詞が振付を思い出すヒントになるのでダンス経験がない方でも取り組みやすいワークショップです。

②「人差し指の思い出」

二人組で行います。人差し指を合わせた(E.T.のように)状態をキープしているような動きにチャレンジします。人差し指の次は、背中、頭、お尻、膝など体のいろんな部位を合わせて動いてみます。思い通りに動かないじれったさも含めて、よい思い出です。

③「ご当地スターにちなんだダンス」

その土地出身の歌手の楽曲や特徴をワークショップに取り入れます。島根県での実施例:渡哲也が出演する宝酒造CM「松竹梅」のリズムに合わせて踊る。Official髭男dism「Pretender」「Subtitle」で踊る。

これらのワークショップ内容を、対象者のダンス経験や年齢、目的に合わせて組み合わせで進めます。

この事業で可能な市民参加作品のスタイル

オリジナル作品

参加者の方々に「この街で一番大切な場所」と「そこでの思い出」を伺います。その答えや、上演する土地の文化(歴史・建物・出身の作家が書いた作品)を混在させてノンフィクション・フィクションを織り交ぜた作品を創ります。

▶上演時間:20〜60分

▶出演者数:2名(登録アーティスト+アシスタント)

▶市民参加の形態:作品に出演・エピソードの提供・作中の映像に出演

▶クリエイションワークショップの参加(出演)人数・回数:3〜20名程度6〜10回程度

▶同行スタッフ:映像、演出助手、照明いずれか

▶現地スタッフ:舞台監督1名、音響1名、照明1名

▶上演環境:

(1)会場の広さ・形状:8m×8m程度。野外を含め、ホールの環境に対応いたします。

(2)床/リノリウムの有無・色はホールの環境に対応いたします。

(3)必要機材、舞台セット:プロジェクターなど映像機材があれば助かりますが、ホールの環境に対応いたします。

▶その他:事前に参加者の方々にアンケートを実施するなど、ワークショップ開始前から情報収集が出来たら助かります

この事業で可能な公演作品

①「花の名前」

向田邦子の著作短編『花の名前』の朗読に合わせ、身体と言葉の関係を遊び尽くす作品。

▶上演時間:60分

▶出演者数:ダンサー2名、歌手1名、演奏1名

▶同行スタッフ:演出助手、照明いずれか

▶現地スタッフ:舞台監督1名、音響1名、照明1名

▶上演環境:

(1)会場の広さ・形状:8m×8m程度(2)必要機材:ピアノ1台(無い場合も対応を考えられます。)

②「カーテン」

同じ風に吹かれて、私とあなたの服が髪が体が揺れる。今、共に生きている証明。カーテンの隙間から、隣人の正体を垣間見るようなグループ作品。(市民参加も可能な作品)

▶上演時間:30分

▶出演者数:3名(登録アーティスト+アシスタント)

※市民参加作品バージョンは約12名出演に対応可

▶同行スタッフ:演出助手、音響、照明いずれか

▶現地スタッフ:舞台監督1名、音響1名、照明1名

▶上演環境:

(1)会場の広さ・形状:8m×8m程度(2)床:リノリウム(または裸足・靴下で踊ることができる床)

③「ジゼル」

教えてほしい、この身を越える愛の選択を。バレエの演目『ジゼル』を題材に創作。ヴァージニア・ウルフの言葉を用いながらジゼルの心情を読み解く。

▶上演時間:60分

▶出演者数:1名

▶同行スタッフ:演出助手、照明、映像いずれか

▶現地スタッフ:舞台監督1名、音響1名、照明1名

▶上演環境:

(1)会場の広さ・形状:8m×10m程度(2)床:リノリウム(3)必要機材:プロジェクター(4)舞台セット:机一台、椅子一脚、ベンチ一脚、木杵一脚

この事業で挑戦してみたいこと

ダンスについて考えていること感じていることを、パフォーマンスや自分の言葉を通じて、日本各地で暮らす方々にお渡しする。この機会が私にとって、とても有り難く、大切な時間です。ダンスの力をジーンと感じて、また創作の日々に帰っていただけます。市民参加作品の創作では、街の景色・文化・思い出・人を、ダンスという形で記録したいと考えていま

す。パッと現れた私たちのような通りすがりの存在が「これは素敵!面白い!」と飛び付いた街の魅力を、そこで暮らす皆さんにダンスを通じて「自分の街の誇り」だと感じてもらえたなら、さらに輝いて日々を送ってもらえたなら願っても無いことです。アウトリーチやワークショップでは、参加者の方々の意外な一面、もしかしたら正体かもしれない姿に遭遇したいです。心が脱皮する瞬間

を共に味わいたいです。作品の上演では、ダンサーの追究された表現力・切実な身体を通して、現在進行形で発展しているダンス作品を目の当たりにしていただきたい、そしてコンテンポラリーダンスという分野の面白さもお伝え出来たらと考えています。「自分には出来ない関係のない芸術」ではなく「この土地や自分自身の中にダンスの種があるかもしれない」と感じていただけたら幸いです。

長与江里奈 Erina NAGAYO

人間はだいたいみんな、皮むいたら変。

社会性・肩書・役割・キャラ…と言った皮をむいたら現れる、ぷりんとした生なあなたに興味があります。

素材なあなた、皮むき器な私と一緒に変で愛しい料理を作りましょう。



平成30年度公共ホール現代ダンス活性化事業(神戸市) Photo:Nitta sayaka



令和2年度公共ホール現代ダンス活性化事業(神戸市) Photo:Nitta sayaka



Photo:Tomoyuki Kobayashi

プロフィール

舞台芸術集団「山猫団」主宰・演出家。

「伊藤キム+輝く未来」「まことクラヴ」にて国内・国外の様々な劇場のみならず、ライブハウス、商店街、美術館、廃墟などありとあらゆる場所でパフォーマンスをしてきた経験を生かし、ソロパフォーマーとしても活動中。ダンスを通して誰もがお互いの個性と自由を認められるコミュニティを作ることを目標に、日本各地で公演活動とワークショップを行う。愛鳥のセキセイインコと遊ぶのが日々の癒し。

所属カンパニー 山猫団
ホームページ www.ynd.tokyo
連絡先(担当) 長与江里奈
住所 〒180-0014
東京都武蔵野市関前3-31-4
電話 090-3538-6145
E-mail mail@erinagai.com
アーティスト在り地 東京都武蔵野市
アーティスト出身地 東京都武蔵野市



Photo:Tomoyuki Kobayashi

活動歴

〈1999年～2003年〉伊藤キム+輝く未来ダンサー
〈2001年～〉まことクラヴとして活動
〈2011年〉ソロ活動開始
〈2012年〉『吟子と踊ろう』・大分・別府「混浴温泉世界」
〈2013年〉「山猫団」結成。
『山猫団あらわる』・東京・立川
〈2014年〉山猫団『ののいちのぼうけん』・石川・野々市
山猫団『ファンタスティック金沢編』・石川・金沢
山猫団『ノスタルジック岡山編』・岡山・岡山
〈2015年〉『吟子と踊ろう』・大分・別府「混浴温泉世界」
山猫団『岡の上のサーカス』・神奈川・川崎
(一般市民参加作品)
〈2016年～2018年〉「岡の上のサーカス」神奈川県
市民参加型公演を3年連続上演

ワークショップ歴

〈2015年〉「山猫音楽会 スパイシ国のクリスマス」
金沢市浅野町児童館
〈2016年〉「みんなの芸術文化体験事業」
大分県内児童養護施設・小学校2校
〈2017年〉「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する
芸術表現体験事業」都内特別支援学級
「白熱ダンス教室！」静岡県三島市 親子向け
〈2018年〉「東京芸術祭2018野外劇 三文オペラ 関連WS」
「世田谷パブリックシアター 演劇部 中学生の部」
〈2019年〉「子どものための文化体験事業」東京都豊島区
「子ども芸術体験ワークショップ」東京都豊島区
「アンデルセン公演 子ども美術館」スタッフ研修
〈2020年〉「Scale Laboratory」静岡県高校演劇部2校・保育園
「オリンピック・パラリンピック教育推進事業」

「子供のための文化芸術体験機会の創出事業」
〈2021年〉「2020国際子ども舞台芸術・未来フェスティバル」

〈2015年～〉「パフォーマンス・キッズ・トーキョー」東京
〈2016年～〉「文化芸術による子供の育成事業」
東京/神奈川/大分/沖縄
「山猫式文化教室」(一般向け定期WS) 神奈川
〈2017年～〉「豊島区次世代文化の担い手育成事業」豊島区
〈2019年～〉「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」横浜市

保育園・小学校・中学校・高校・特別支援学級でのワークショップ
歴多数。

可能なワークショップ等のスタイル

開催場所や参加者の年齢・経験に関わらず、ワークショップの目的は同じです。

- ①ダンスと自分自身に対する思い込みを優しく壊す
- ②体を通して他の人とコミュニケーションをとる
- ③そこで出てきた素直な動きや反応、感情を肯定する

アウトリーチ

①学校でのアウトリーチ

小学校・中学校・高校(特別支援学級を含む)で実施。自己紹介ダンスを見せて、これがダンス!と驚き楽しんでもらうところから始まります。動きや声を真似する簡単なワークから始まり、最終的には誰の真似でもない自分のダンスを発見してもらいます。時間があればグループに分かれて短い創作をし、最後に発表します。

②ダンスや演劇などの部活やサークル

表現に関わる中高生・大学生対象。部活やサークル活動の中で実施。学校で行う内容に加えて、言葉を使わないコミュニケーションワークを重視。他の人と一緒に動こうとすることで生まれる体と心の動きに注目します。主語が「私」ではない表現を知ること、新しい視点を獲得してもらうことを目指します。

③会社・役所など社会人向け

歩く・止まるなど、普段運動をしない人でも無理なくできる動きから始め、手のひらを合わせる、体重をかけるなどのペアワークをします。あまり話したことのない人とも直接触れ合いながらコミュニケーションを取ることで心理的な壁を取り除き、お互いの新たな一面を発見することで、より円滑な関係を見出すことを目指します。

公募ワークショップ

公募ワークショップの内容や対象者は、各ホールの担当者さんと話し合って決めていきます。その施設をよく利用する層に向けての、逆にあまり足を運ばない人にアピールするのかが、そのホールの特性や課題に合わせて提案します。ダンス経験も年齢も不問ですが、初対面の人たちが集まるワークショップを円滑に進めるためには、保護者と離れてその場にいられること(年齢の目安として小学校3年生以上)が望ましいです。また、下見時にホール職員・アウトリーチ先の担当者・近隣文化施設の職員などを対象としたインリーチの実施をお勧めしています。実際にダンスワークショップを体験してその効果を実感すると、事業の意義がより深く理解でき、アウトリーチ先や公募ワークショップの応募者への説明も具体的になります。

この事業で可能な市民参加作品のスタイル

『〇月〇日』

ある一日の過ごし方には無限の選択肢がある中で、それまで出会うことなかった人たちがたった一日の本番に向けてともに作品を作る経験は、参加者、関係者のその後の人生に大きな影響を与えます。私たちはその日、共に舞台上立つことを選ぶという意味で、本番の日付をそのままタイトルにします。

既存のシーンに加え、集まった参加者を見て可能な限り多様なシーンを組み合わせる上演します。

- ▶市民参加の形態：市民参加作品(クリエイションワークショップ参加者との協働作品)ホール職員も出演するのが望ましい
- ▶上演環境：

- (1) 会場の広さ：プロセニウムの舞台が望ましい。

- 間口6間×奥行4間以上
- (2) 床：可能ならリノリウム
- (3) 必要機材：ピアノ(グランドピアノが望ましいがアップライトでも可能)、箱馬(参加者の人数×2個)、その他は創作の過程で決定

この事業で可能な公演作品

①『それでも踊る』

全く何も無い舞台上に私服を着たダンサーが登場してコンテンポラリーダンスの特徴を説明するところから始まり、徐々に照明、音響、美術、音楽がその場で足されていって舞台が完成する。コロナ禍の緊急事態宣言下で急遽作られた神戸アートビレッジセンターとの協働作品を会場に合わせてリメイク。舞台やコンテンポラリーダンスに馴染みのない観客に向けた上演に適した作品。

- ▶上演時間：約70分
- ▶出演者数：3名(ダンサー2名、音楽家1名)
- ▶同行スタッフ：美術家
- ▶現地スタッフ：舞台監督：1名、照明：1名、音響：1名、

演出部(ボランティア可)：3～6名

▶上演環境：

- (1) 会場：間口5間×奥行5間以上、バトンがあるかイントレか組めて通常の舞台作品が上演可能な場所。
- (2) 床：可能ならリノリウム
- (3) 必要機材：ピアノ(グランドピアノの蓋を外して使用)、ピンマイク、垂木5～7本、脚立、ヘルメット(劇場で用意)ノ吊り物4種、積み木(持ち込み・配送)

②『タイトル未定』(新作)

その地域、会場、時期に合わせて創作。お題に沿った一人芝居+ダンス+音楽のオムニバスから始まり、ピアニソンのソロ、ダンサーのソロと続

き、最後は前半の要素が全てミックスされたシーンで終わる。

リラックスした語り口から始まり、どんなお題からでも何かしらの表現を生み出すことでダンスや音楽の包容力を提示する。言葉、音楽、身体、美術など観客の興味に応じたとっかかりを多く用意し、表現活動や創作に対する意欲を刺激する。

この事業で挑戦してみたいこと

自分を表現する方法は色々ありますが、年齢・経験・言葉の理解度・障害の有無などがバラバラの人たちが集まる場において、それぞれが自分を表現しつつコミュニケーションを取るのにダンスはとても適しています。

新しい表現や未知の自分に出会う喜び、普段は蓋

をされていた言葉や気持ちやダンスを通して昇華されていく様子はとても美しく、そこにいる人たちが共有した時間は忘れたいものになります。そういう時間を一人でも多くの人に味わってもらうとともに、ホールの職員さんにも当事者として体感して頂きたいと思っています。広報や演出の

相談から公演への出演までありとあらゆる形で職員さんを遠慮なく巻き込み、ただ山猫団の作品を上演するのではなく、あくまでホールの目標達成のために山猫団が力を貸すという前提のもと皆で知恵を絞ることで、ダン活終了後の自主的な活動の糧となるものをあ渡したいと思っています。

藤田善宏 Yoshihiro FUJITA

ユーモアが効いたアイデアをほんの少し加えるだけで、日常の動作や道具がダンスに変身！あなただけの物語を身体で探しましょう。世代を超えたコミュニケーションツールとして無限の可能性を秘めた表現と体験をご一緒に！



「ゆきおんなの男」Photo: 阿部章仁



神楽坂化け猫フェス「あにゃ踊り」



「クリスマスとスマス」Photo: 阿部章仁

プロフィール

振付家・演出家・ダンサー・デザイナー。ダンスカンパニーCAT-A-TAC(キャットアタック)主宰。コンドルズメンバー。第72回文化庁芸術祭舞踊部門新人賞受賞。福井しあわせ元気国体開会式典演技振付総合監修。群馬大学非常勤講師。身体表現と道具を駆使した台詞のない物語、柔軟な発想を生かした異ジャンルとのコラボが得意。三世代間で楽しめるダンス劇作品や石見神楽など伝統芸能とのコラボや児童演劇・幼児教育教材の監修。小栗旬や加藤シゲアキ、ジャニーズJr.主演舞台やTEAM NACSへの振付やステージング、NODA・MAP、山田洋次監督演出ミュージカルへの出演、NHK教育番組の振付・出演他、MV、CM、舞台作品、振付出演多数。障がい者対象のWSなど多様性を重視した活動にも力をいれる。愛猫家、プロレス・仏像愛好家、メガネ・アンティーク収集家。

所属カンパニー CAT-A-TAC / コンドルズ
 ホームページ <http://www.cat-a-tac.jp/>
 連絡先(担当) CAT-A-TAC 山岡まゆみ
 住 所 〒176-0001 東京都練馬区練馬1-20-8
 日建練馬ビル2F CAT-A-TAC
 E-mail yamaoka@cat-a-tac.jp
 アーティスト在籍地 東京都
 アーティスト出身地 福井県



Photo: 阿部章仁

活動歴

〈1996年〉コンドルズ創設メンバーとして活動開始。以降コンドルズ全作品出演。世界20カ国以上で公演を行う。
 〈2014年〉自身主宰のダンスカンパニー「CAT-A-TAC」旗揚げ
 ※以下、明記がないものは、全て作・演出・振付・出演
 ●NHK「サラリーマンNEO」内サラリーマン体操、出演
 ●「障害者ダンス公演」@埼玉芸術劇場、振付演出助手
 ●藤田善宏ソロ公演「野良ネコと呼ばれた男」@青山円形劇場
 ●福井国体公式ダンス「はびねずダンス」振付、2018年福井国体開会式典演技振付総合監修
 ●累累「おとしモノ」【2014年/2015年公共ホール招聘/2017年インド招聘/2018年フェス参加】
 ●グループ座主催「中の人」振付・出演(主演:加藤シゲアキ 演出:河原雅彦)
 ●ホリプロ主催「カッコーの巣の上で」ステージング(主演:小栗旬)
 ●市民参加型WSパフォーマンス「仏像×ダンス」@島根県立石見美術館・福井市立郷土歴史博物館
 ●市民参加型子供公演「パフォーマンス・プロジェクト」@越谷サンシティホール ※以降毎年継続

●神楽坂化け猫フェス企画、阿波踊り×猫×ダンス「あにゃ踊り」 ※以降毎年継続【2018年 徳島招聘】
 ●ニヴァンテ「ライトな兄弟」@関内ホール【2017年/2019年福井招聘/2020年若手招聘】
 ●CAT-A-TAC「Mariage」【2017年/2018年公共ホール招聘】
 ●伝統芸能との協働製作、石見神楽×ダンス「IWATO」『KUROZUKA』「SHOKI」(「SHOKI」は、令和2年度戦略的芸術文化創造推進事業「文化芸術収益強化事業」/バリアフリー型動画配信事業に採択)
 ●Eテレ「すたあと」振付
 ●無観客オンライン生配信公演 藤田善宏ソロ公演「ハコニワ-MY KINGDOM」
 ●エイベックス・エンタテインメント主催「Retrial:実験室」振付(主演:ジャニーズJr.)
 ●TEAM NACS 第17回公演「マスターピース〜傑作を君に〜」ステージング
 ●関西テレビ主催「室温〜夜の音楽〜」ステージング 他多数

受賞歴

CAT-A-TAC所属ユニット・ニヴァンテ「ライトな兄弟」作・演出・振付・出演にて、第72回文化庁芸術祭舞踊部門新人賞受賞

ワークショップ歴

・「障害者アートフェスティバル」主催: 埼玉県
 ・コロナ禍に対応した非接触でのコミュニケーションダンスワークショップやオンラインダンスワークショップ 他
 ●下記、毎年継続開催ワークショップ&アウトリーチ
 ・ジャンルレス異業種コラボWS「コラボな〜ら」主催: CAT-A-TAC
 ・「道具とからだを使って楽しく遊ぼう」(ダンス初心者&親子向け)主催: CAT-A-TAC
 ・「MEET THE DANCE」(体験&創作プログラム)主催: 彩の国さいたま芸術劇場
 ・「発想力を伸ばすためのダンスクラス」主催: チャコット
 ・「教職員育成のためのワークショップ研究」主催: 青山学院大学
 ・「ダンス経験者のための演劇的表現の作り方」

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

①学校でのアウトリーチ

幼稚園児〜大学生までそれぞれの年齢に合わせた学生向きプログラム。リズムダンスが苦手な子や踊る事そのものに照れや苦手意識がある子達に身体遊びを通して気がついて踊っているという自然な流れでダンスを取り入れる内容。学校によって雰囲気が違うので、事前打ち合わせで先生の要望も取り入れてそれぞれの学校に合わせたプログラムを組むことが可能です。

②福祉施設でのアウトリーチ

みんなが参加しやすいように、無理せず身体を動かす事を楽しんでもらいます。座ったままの動きや人と人との触れ合いやコミュニケーション、ゲームなども交えて、交流の場にしていだけるよう工夫します。

③障がいのある方向けのアウトリーチ

障がいの種類や度合いに合わせてプログラムを変

えています。楽しむことはもちろん、興味を持ってもらう事、付き添いの方にも楽しんでもらう事を意識した内容にします。集中力が持続しにくい方もいらっしゃるの、飽きさせないコンテンツを次々と展開します。今までの実施実績は身体・知的・聴覚など。

公募ワークショップ

①「からだ道具で踊って遊ぼう！」

初心者におすすめ。子どもから大人まで年齢問わず。親子、障がいのある方、お年寄りなど対象に応じてプログラムの組み替え対応が可能。経験者には上級者編を。道具に特化した新しい身体表現の模索と発想力を伸ばすヒントを一緒に探していきます。

②「異ジャンルと身体表現の関係性を探るワークショップ」

ダンス・演劇経験者向き。身体表現は無限の創造性があることから、異ジャ

ンルとの相性が抜群です。このWSでは異ジャンルをベースに、身体を使って物語性や心象表現を具現化していきます。単なるなんとなくの抽象表現ではなく、参加者の個性をショート作品に落とし込めるよう導きます。こういう表現もあるのだと表現者の為の視野を広げるプログラムです。

◎実施条件(共通)

- ▶アシスタント: 実施内容・対象人数により応相談。有りの場合、1名希望。
- ▶参加適正人数: ①10~50名 / ②20名まで
- ▶1日の実施可能回数・時間: 1日最大2コマ ※1コマ45~90分(内容により応相談)
- ▶必要機材: iPadもしくはCDを接続できる音響プレーヤー、ピンカハンドマイク。

この事業で可能な市民参加作品のスタイル

①アート×ダンス「あーっ!とミュージアム」

つくる!おどる!楽しい!動いて飛び出す移動美術館をテーマに、参加者が世界に一つしかないスペシャルな展示品になって、踊ったりしゃべったり、みんなで愉快的時間を楽しむプログラム。オリジナルの仮面を作ったりダンスをしたり発表会もしちゃったり。誰でも参加できる公募型ワークショップ公演です。

②子どもと一緒に舞台作品を創作する「想像力を育むプロジェクト」

プロのダンサーと子どもたちが一緒にディスカッションをしてそこで出た抽象的なアイデアを舞台作品として具現化していきます。自分で考える力をつけ、発言しやすい雰囲気作りをする事により、子ども達の想像力と積極性を育てます。現代社会でも求められる、自主性と協調性を伸ばす為の時間を「表現」を通じて学んでいきます。

- ▶上演時間: ①②ともに40~60分
- ▶出演者数: 3名(登録アーティスト+アシスタント)
- ▶市民参加の形態: 市民参加公演 ▶クリエイションワークショップの参加(出演)人数・回数: ①5~30名程度・5~8回程度 ▶同行スタッフ: アシスタント ▶現地スタッフ: ①舞台監督1名、音響1名、照明1名 ▶上演環境: (1)会場の広さ・形状: 6m×5m以上 (2)床: リノリウムはあれば、なくても大丈夫です。(3)必要機材、舞台セット: 創作過程で応相談。基本劇場環境に対応します。

この事業で可能な公演作品

日常の道具を様々なモノに見立てて表現する身体表現を駆使した台詞のない無声ダンス劇。物語をベースとし楽しいアイデアがたくさん盛り込まれているので舞台やダンス作品を普段観る機会が少ない方にもおすすめ。子どもから大人まで世代を問わず三世代で楽しめる内容です。

①CAT-A-TAC新作『リストランテ』

いつもは暇なレストラン。でもある日まさかの大量予約が!あたふたするスタッフ達のある1日を描いた物語 ▶上演時間: 30分~45分(時間は応相談) ▶出演者数: 3名(登録アーティスト+共演者2名)

②藤田ソロ短編作品

仕掛け絵本のようなちょっと不思議な無声ダンス劇

短編作。もしくは、道具を使ったダンスパフォーマンスに特化した作品など。

※参照映像 無観客オンライン短編作品集「ハコニワ-MY KINGDOM」(現在2作品をYouTubeチャンネル「CAT-A-TAC TV」で無料公開中)
 ▶上演時間: 15分~50分(作品数は応相談) ▶出演者数: 2名(登録アーティスト+共演者1名)

③ニヴァンテ『クリスマスとスマス』

サンタの弟子のクリスマスとスマスが、ある病弱な子どもの夢を叶えるために魔法の靴を探しに行くファンタジー。無声ダンス劇。ニヴァンテとはコンテンポラリーダンサー藤田善宏とタップダンサー村田正樹の異業種ユニット。CAT-A-TAC所属。
 ▶上演時間: 約60分 ▶出演者数: 2名(登録ア

ティスト+共演者1名)※照明機材: ブラックライト必要。

<全作品共通>

- ▶同行スタッフ: プランナー、スタッフいずれか ▶現地スタッフ: 舞台監督、音響プランナー・オペレーター、照明プランナー・オペレーター ▶上演環境: (1)会場の広さ・形状: 舞台上8m×5m以上。(2)リノリウム: あれば黒(他の色応相談) ▶必要機材、舞台セット: 一般的な舞台機材と形状(会議室は不可)、あとは演目により応相談。

この事業で挑戦してみたいこと

日本にはまだ映画を見るような感覚で気軽に舞台やコンテンポラリーダンスを観賞するという文化が育っていません。理由の一つとして「どう観ていいかわからない」という意見があります。そこで僕は、ダンスだけでなくアイデア・物語性を多様に使

用して観客の想像力を刺激する、分かりやすくも媚びない遊び心のある公演やWSに取り組んでいます。この事業では、全国の公共ホールという市民に最も開かれた場所からホール職員の方々と共に発信する活動により、多くの人々が気軽に劇場に足を運んで

もらえる「キッカケ作り」になるよう土地独自の特性を生かしながら取り組めたら嬉しいです。そして「体験・観劇」した参加者の経験は、三世代で共有できるコミュニケーションツールとして使用されることを願っています。

康本雅子 Masako YASUMOTO

踊って気持ちよくなることは、誰にでも出来る事だけど誰もが忘れてる事だけど、折角、体を持って生まれてきたんだから思いっきり使い切りたい！と願いつつダンス。



Photo:Hidetomo Maezawa



Photo:沼田学



プロフィール

大人になってから独学でダンスを始め、自身のダンス作品を国内外で発表している。その他に松尾スズキ、白井晃、長塚圭史の演出作品での振付や、様々なミュージシャンのMVやコンサートの振付、広告や映像の振付など、多岐に渡るジャンルで活動。近年は「音で観るダンス」という、視覚に障害のある人となない人が共にダンスを鑑賞するプロジェクトにも参加。また教育機関でのWSはライフワークと化し、ダンスと性教育を混ぜたWSも全国各地で展開中。これまでにNHK番組「トップランナー」や「ようこそ先輩」に出演したりと、コンテンポラリーダンスの普及に努めている。2児の母としては、てんてこ舞い。

ホームページ <http://yasumotomasako.net/>
連絡先(担当) ペーハー 奥野将徳
住 所 〒603-8132
京都府京都市北区小山下内河原町79-3
E-mail info@yasumotomasako.net
アーティスト在籍地 東京都武蔵野市



活動歴

(2004年)「メロドラマ」を韓国ソウルにて公演(「日韓ダンスコンタクト」)
(2007年)「ナ花ハ調」をタイ・マレーシアにて公演(「踊りに行くぜ」)
(2008年)「JCDN企画「踊りに行くぜ」@ジャカルタ 現地のダンサーに振付けた作品を公演
(2008年)「チルダミチルダ」をアサヒ・アートスクエアにて公演
(2009年)「油断」東宇×Tucker×康本雅子@横浜美術館 振付・出演
(2010年)「フックもんだすって」@NYジャパソサエティ
(2012年)「絶交わる子、ボンッ」@シアタートラム
(2014年)「絶交わる子、ボンッ」2人バージョン@北九州芸術劇場
(2016年) TPAMにて視覚障害者のパフォーマンスを監修@神奈川県川崎芸術劇場
(2017年)「子ら子ら」@UrBANGUILD(京都)、ヨコハマ創造都市センター、愛知県芸術劇場
(2017年) 大人計画「葉音」振付・出演@東京芸術劇場
(2017年) 六本木アートナイトにてASA-CHANG&巡礼と共にライブパフォーマンス

(2018年) 北九州工業地帯三宜楼公演「うろきんさ」振付・出演@三宜楼(北九州)
(2018年) PKTにて小学生との作品制作「タイコロンダ」@世田谷区民会館
(2018年) 鳥の演劇祭にて高校生との作品制作「黄ミドリと裏ミドリの乱」@鳥の劇場
(2019~20年)「全自動頭脳ずいずい園」を3都市ツアー公演

その他、「吾妻橋ダンスクロッシング」全公演および「踊りに行くぜ!」に出演

受賞歴

(2004年)「脱心講座」昆虫編が横浜ダンスコレクション旧パニコレ国際振付賞にてナショナル協議員賞を受賞
(2004年)「メメごと」が東京コンペ主催ダンスバザール大賞にて優秀賞を受賞
(2006年)「メクラムラクメ」がトヨタコレオグラフィアワード最終審査会にてオーディエンス賞を受賞

ワークショップ歴

(2004年) 市民舞踊学校 対象：一般 主催：水戸芸術館
(2005年) 横浜市内小学校3校 対象：小学生 主催：横浜市文化財団
(2006年) 東京造形大学デザイン学科3年生 非常勤講師
(2007年) ワタリウム美術館1日学校 対象：幼児を持つ親子
(2008年) 静岡音楽館AOIにて 対象：小学生
(2012年) 北九州芸術劇場「学園祭やぶり」対象：一般
(2014年) 北九州芸術劇場にて 対象：親子&夫婦
(2015年)「アーティストとつくる」対象：小学生 主催：福岡市文化芸術振興財団
(2016年) 京都市の小学校にてWS+学習発表会 主催：JCDN
(2017年) 東京都の小学校特別支援クラスにて 主催：芸術家と子どもたち
(2017年) 京都市民向け 対象：女性限定 主催：明倫こども広場
(2017、18年)「プレイシアター in Summer」対象：小学生 主催：ロームシアター京都
(2018年) 京都市平安擁護院にて 対象：小中学生 主催：JCDN
(2018年) 鳥取県八頭高校にて 主催：鳥の劇場

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

①学校でのアウトリーチ

遊ぶように動くことから始めて、普段使わない身体感覚を目覚めさせます。ルールの中でいかに自分で考えて動くかという事を重視しながら、ペアワークでは言葉ではなく体で相手と会話することを、ダンスを通して体感してもらいます。
小・中・高校で実施(特別支援クラス含む)
▶参加人数：10~40名

②教員へのアウトリーチ

事前に先生側の質問や要望を聞いてから、ダンスの授業で実際に使える様々なワークを行います。それぞれのワークの目的や意図も伝えながら、対象に合わせてどのような応用が出来るかも一緒に考えていきます。
▶参加人数：10名位

③福祉施設でのアウトリーチ

そのままの体でもって心地よく体を動かす楽しさを体験してもらいます。
▶参加人数：10名位

④企業でのアウトリーチ

まずは凝り固まった体をほぐす事から始めて、徐々に色々なルールの中で自分の発想でもって動いていきます。相手との距離感を図りながら動くペアワークや、大人数の中での全体空間を把握するワークなどを行います。結果プレゼン力やコミュニケーションスキルに役立つかも？です。
▶参加人数：10~30名

公募ワークショップ

幼児を持つ親子、子ども、大人一般、ダンサーや役者、女性一般、夫婦、視覚障害者、それぞれの対象に絞ったWSをします。対象を限定する事で、参加者に合った内容の濃いWSが行えます。どのWSも根底には、踊ることの楽しさ自由さを体感してもらえよう内容を目指しています。
◎実施条件(共通)
▶アシスタント：1名
▶1日の実施回数：2コマ
▶必要機材：CDプレーヤー(あればスピーカーも)

また、昨今から「マジな性教育マジカ」という、小学生の親子向けのWSも展開中。
ここではいわゆる性教育の知識を教えるのではなく、自分の体についてやジェンダーについて、人とのコミュニケーションについて、家族について等、性を包括的に捉えたWSの内容です。

この事業で可能な市民参加作品のスタイル

オリジナル作品

公募が集まった方達一人一人の身体性や創造性をもとに作ります。その地域ならではの特色を生かしたいので、例えばその地域で活動しているミュージシャンに演奏してもらったり、劇場ではなく屋外で公演してみたり、という可能性も視野に入れています。

▶上演時間：30~40分
▶出演者数：3名(登録アーティスト+アシスタント+音楽家)
▶市民参加公演の形態：クリエーションワークショップ参加者との協働作品
▶クリエーションワークショップの参加(出演)人数・回数：10名程度・6~10回程度
▶同行スタッフ：演出助手1名

▶現地スタッフ：舞台監督1名、音響1名、照明1名
▶上演環境：
(1) 会場の広さ・形状：ホールに合わせます
(2) リノリウム：ある方が助かります、色は何でも
(3) 必要機材、舞台セット：未定

この事業で可能な公演作品

①子ら子ら

母と子という普遍的なテーマのもと、自身の子育てを赤裸々に告白する作品。ダンサーとシンガーの女性2名が激飛ばし合います。

▶上演時間：45分
▶出演者数：2名
▶同行スタッフ：音響1名、照明1名、制作1名のうちいずれか
▶現地スタッフ：舞台監督1名、音響仕込1名、照明仕込2名

▶上演環境
(1) 会場の広さ・形状：10m×7m程度
(2) リノリウム：なしでも可
(3) 必要機材、舞台セット：ワイヤレスマイク1本、長机、椅子2脚、ピアノまたはオルガン(簡易なものでも構いません)

この事業で挑戦してみたいこと

●ここでしか出会えない人、場所、時間、食べ物、しきたり、みたいなものが全てがダンスに還元されると思うので、その地域だからこそ生まれる表現方法を探りたいし作りたい。

●ダンス(もっと広く言うと表現そのもの)の多様性を伝えたい。TVやYouTubeで目にするダンスだけがダンスじゃないし、もっと自由にカオスで意地悪なダンスもあっていい。ダンスの多様性を知ることが、人や社会の多様性を知ることにつながると思います。

●各地域でダンスのWSが行えるファシリテーターを増やしたい。私のWSを受けた人がその人の見地から更に発展させていけば、WSはより深く育ち広まってくれるんじゃないかと期待します。

Artist Files

B | **ダン活**支援 登録アーティスト

青木尚哉

Naoya AOKI

振付家、ダンサー。東京都あきる野市生まれ。16歳よりダンスを始める。加えて学んだボディワークから身体の構造を基にした自身のメソッド「ポイントワーク」を開発する。近年、社会における「ダンスの活用」に視野を広げ、小学校への派遣授業や、地域公共ホールとのワークショップ公演なども手がける。2004年から2008年、新潟市レジデンシャルダンスカンパニーNoismに所属。2012年より創作活動を開始し、『4...soku』を発表。新国立劇場や日本バレエ協会にも作品を提供する。2016年、スタジオアーキタンツアーティスト・サポート・プログラムへの選出。共同体験による身体の変化を狙った「青木尚哉グループワークプロジェクト」を発足、2020年に「zer〇」に名称を変更する。

ホームページ https://zero-dance.com/naoya_aoki
電話 090-9294-9881
E-mail aokiny@icloud.com
在住地 東京都武蔵野市
出身地 東京都あきる野市

活動歴・受賞歴

○活動歴
〈2004～08年〉新潟市レジデンシャルダンスカンパニーNoismに所属
〈2013～15年〉Japon dance projectを結成
〈2017年～〉zer〇(旧青木尚哉グループワークプロジェクト)を発足

ワークショップ歴

〈2008～14年〉「コンタクト・バランス」「ポイント・ワーク」ダンスWS 対象：ダンサー 全国各地
〈2010年10月〉瀬戸内国際芸術祭連携事業「l'oeuf～おいしいものはベツバラ～」公演 対象：高校生以上約

15名 主催：財団法人高松市文化芸術財団、サンポートホール高松
〈2012～13年〉ASIAS 豊島区立要小学校 文京区立明化小学校 対象：4年生 すずかけ学級(特別支援学級) 主催：NPO法人芸術家と子どもたち
〈2012～13年〉宮城県小学校アウトリーチ 主催：えぞこホール
〈2013年5月〉市民公開講座～青木尚哉WS～身体の可能性をみつけよう～ 対象：ダンス未経験者 主催：金沢市民芸術村アクションプラン実行委員会
〈2013年9月〉PKT三鷹公会堂「わが家のオキテ」 対象：公募で集まった小学3～6年生25名 主催：東京都、東京文化発信プロジェクト室、NPO法人芸術家と子どもたち、

公益財団法人三鷹市芸術文化振興財団
〈2017年〉世田谷区民会館 パフォーマンスキッズ・トーキョー「木目調/デジタル」 対象：公募で集まった子どもたち小学3年生～中学2年生48名 主催：アーツカウンシル東京、NPO法人芸術家と子どもたち、株式会社世田谷サービス公社
〈2018年〉さいたまスーパーアリーナの青少年育成事業身体表現ワークショップ「GLOWING UP」対象：公募で集まった子どもたち4才～高校生15名 主催：株式会社さいたまアリーナ、劇団ハーベスト
〈2019年〉EBILAB/エビラボvol.5夏の特別企画「つくろう、おどろろ、あそぼう、テンとセンのカタチの大冒険」対象：5歳以上10～15名 主催：青木尚哉グループワークプロジェクト

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

○アウトリーチ!!小学校特別授業(中学校も可能)
いずれも中学校で出会う必修科目の授業を前に、ダンスの粋を広げるためのワークを行います。イメージは「答え」ではなく「応え」のある授業

○先生たちと。「ダンスってなんだ?」
ダンスを用いた授業の進め方や、効果、期待値について考えます。カラダを動かす実践の時間と、意見を交換し合うセッションを同時に行います。地域内の各分野での横の繋がりが、情報交換の場としても活用していただけたらと思います。

この事業で可能な公演スタイル

青木尚哉、及びzer〇は、小品レパトリーを数多く所有し、状況に応じた形で発表の仕方が可能です。また、舞台上での作品発表に限らず、公共スペースでの長時間インスタレーション作品「集約させないパフォーマンス」も実施が可能です。開催地の観光名所や有名スポット、関連企業などと連携しご当

地とダンスを絡めたダンスビデオの撮影/編集を行うことができます。出来上がったショートクリップについては、相手方のPR素材として使用することができます。

○実施条件(共通)

▶アシスタントの有無：1名(30名をこえる場合は1名追加) ▶参加適正人数：各WSにより、応相談(目安として20名程度) ▶1日の実施可能回数・時間：2～3コマ ※1コマ90～120分(応相談) ▶必要機材：パソコンのつなげる音響、ピンマイク

レパトリー作品

- ①『集約させないパフォーマンス』
- ②『LANDSCAPE』
- ③『偏向する傾斜』
- ④市民参加作品
- ⑤ご当地ダンス映像作品への出演



Photo: Akira Kihara

伊藤キム

Kim ITOH

ダンサー・演出家・振付家・伊藤キム & GERO主宰。87年舞踏家・古川あんに師事。95年「伊藤キム+輝く未来」結成。96年フランス・パニョレ国際振付賞、02年第一回朝日舞台芸術賞・寺山修司賞、08年横浜文化賞奨励賞。05年にバックバックを背負って半年間の世界一周の旅に出る。おやじが踊って給仕する「おやじカフェ」のプロデュースを国内外で行う一方、小中高校生に振付をして作品上演するプロジェクトにも多数参加している。青山学院大学ワークショップデザイナー育成プログラム修了。15年新カンパニー GEROを結成。時にはダンス寄り、時には演劇寄り、また時には音楽や美術寄り、作品ごとに方向性がどんどん変わるのがGEROの特徴で、劇場に限らずギャラリーや屋外などにも展開し、瀬戸内国際芸術祭、いちばらアートミックスなど各種芸術祭にも参加している。

所属カンパニー GERO
ホームページ <http://www.gero.kim>
住所 〒225-0003 神奈川県横浜市青葉区新石川4-29-4 E-501
電話・FAX 045-911-7504
E-mail gero.kim.2015@gmail.com
在住地 神奈川県横浜市
出身地 愛知県知立市

活動歴・受賞歴

○活動歴
1995年以降現在まで国内外で多数の実績あり。

ワークショップ歴

1995年以降現在まで国内外で多数の実績あり。

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

○「学校ダンスジャック～伊藤キムがやってきた!」
昼食・給食の時間に伊藤キムが突然現れて校内でゲリラで踊りまくる。廊下を走る、教室に乱入する、運動場を走り回るなど。他のアーティストにはない強烈なインパクトで子どもたちに「非日常体験」をもたらす。午後のWSの前に行くとWSの進行がよりスムーズ。これまで小中高校で10回以上実施。

○「学校ワークショップ～遊びを通じて、考えながら動く」
日常的な動きを題材に頭と身体の両方を使うことで子供たちに新たな気づきを促す。

※上記ダンスジャック及びワークショップは、福祉施設などでも実施可能。

▶参加適正人数：①全校生徒、②5～80名
▶アシスタントの有無：1名必要

この事業で可能な公演スタイル

レパトリー作品

『病める舞姫』(ソロ作品)
題材は舞踏の始祖・土方巽の著作『病める舞姫』。地を這いながら空中を漂うような一筋縄ではいかない言葉たちに出会い、格闘し、フラれて、すがりついて、引きずり回される。シャーマン&語り部となって、日常と非日常のはざまとめどなく続く言葉と身体の違いを先導する。初演2018年日暮里d-倉庫。2020年2月横浜・かな

▶1日の実施可能回数・時間：①1回、②2コマ ※1コマ45分
▶必要機材等：①音楽など必要なし、②iPodを接続できる音響プレーヤー、ピンマイク
▶場所：①は会議室から体育館まで対応可能
▶その他：ワークショップのみの実施も可能

公募ワークショップ

○一般ワークショップ
年齢・性別・経験不問。

○女性限定ワークショップ

過去の例：衣装を持ち寄って変身体験。過去の参加者のアンケートより「男性がいないから雰囲気がいい」

○男性限定ワークショップ

過去の例：後半は街頭に出て踊りながら街を練り歩く。参加者アンケートより「女性がいないから思い切りバ

カになれる」
○演奏家対象ワークショップ
クラシック音楽の奏者が対象。呼吸や重心を意識することで演奏をより豊かにする。後半でダンサーとのコラボメニューもあり。参加者アンケートより「普段気づけない身体の「芯」を感じる事ができた」

○親子でワークショップ

音楽に合わせて思い切り動いてはしゃいだり、普段家庭ではできない身体の触れ合い遊びやコミュニケーションを実践。

▶参加適正人数：5～20名程度
▶アシスタントの有無：1名
▶1日の実施可能回数・時間：3コマ ※1コマ90分
▶必要機材等：iPodを接続できる音響プレーヤー

も踏まえ、ホール担当者の意見を伺いつつ「どんな人たちをどんな場所まで連れていくのか?」といったことを考慮して作品イメージやタイトルなど考えていく。その地域の音楽家や美術家など、地元アーティストとのコラボも視野に入りたい。

▶出演者数：伊藤キム、GEROメンバーアシスタント兼任1～2名
▶同行スタッフ：舞台監督1名

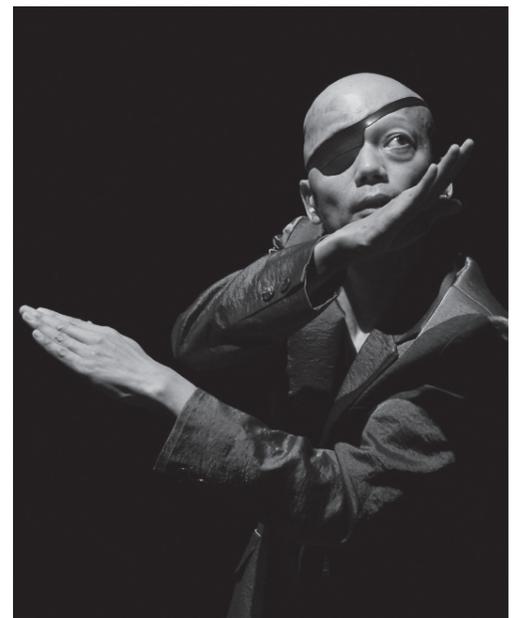


Photo:鈴木優哉

岩淵多喜子 Takiko IWABUCHI

海外での活動後、1999年<Dance Theatre LUDENS>を設立。代表作にパークタワーネクストダンスフェスティバル委嘱作品“Be”、“Es”、“Distance”、新国立劇場委嘱作品“Against Newton”等。“Be”にて横浜ソロ×デュオコンペティション横浜市文化振興財団賞及び在日フランス大使館賞受賞、“Distance”にて日本舞踊批評家協会新人賞受賞。「コンテンポラリーダンスの創作手法や方法論に習熟した日本では数少ない振付家の一人」として国内外で高い評価を受けている。

所属カンパニー Dance Theatre LUDENS
 ホームページ <http://dtludens.jp/>
 連絡先(担当) 岩淵多喜子
 住 所 埼玉県川口市
 電 話 080-3028-5320
 F A X 048-281-5320
 E - m a i l dtludens@gmail.com
 在 住 地 東京都調布市
 出 身 地 埼玉県川口市



Photo:塚田洋一

活動歴・受賞歴

○活動歴
 <1999年> Dance Theatre LUDENS設立
 <2000～02年> パークタワーネクストダンスフェスティバル参加。
 『Be』、『Es』、『Distance』連続発表
 <2001年> 横浜ダンスコレクションSolo×Duoコンペティション参加。
 『Be』-duo version-
 <2003年> 『Against Newton』(新国立劇場小劇場)
 <2004年> 『Against Newton II』(新国立劇場小劇場)
 <2006年> 『Moments』(秋吉台国際芸術村、横浜赤レンガ倉庫)
 <2007年> 『Moments07』(横浜赤レンガ倉庫、札幌コンカリーニョ)
 <2009年> 『Creation2009』ダンスが見たい!! Vol.11 (D一倉庫/東京) /カンボジア(プノンペン) レジデンス 現地ダンサーと作品創作

<2010年> 『からだのキモチ』東京文化発信プロジェクト パフォーマンスアーティストキー(東京芸術劇場)
 <2011年> LUDENS新作公演『Anonym-失いうもの-』(吉祥寺シアター) / 『1 hour before Sunset』横浜トリエンナーレ関連企画 / ダンス活性化事業(サラダホール 大阪府阪南市) 『1 hour before Sunset』+WS作品
 <2012年> 『Body Songs』(吉祥寺シアター)
 <2018年> 『Trifles』(吉祥寺シアター)

受賞歴

<2001年> 横浜ダンスコレクション2001 Solo×Duoコンペティション 横浜市文化振興財団賞、在日フランス大使館賞受賞 作品: 『Be』-duo version-
 <2005年> 日本舞踊批評家協会新人賞受賞 作品: 『Distance』

ワークショップ歴

これまでに東京国際ダンスワークショップReActionを10年に渡り主催する他、地域創造ダンス活性化事業(伊賀市、豊橋市、阪南市、東松山市)、JCDN「踊りに行くぜ」関連ワークショップ(岡山市、広島市、珠洲市)、埼玉芸術劇場「MEET THE DANCE」、水戸芸術館、秋吉台国際芸術村、北九州芸術劇場、大阪ダンスボックス、京都芸術センター「コーチングプロジェクト」、アメリカ Swarthmore Collage、フランスグルノーブル市大学マスタークラス、カンボジアプノンペン作品創作ワークショップ等、国内外で初心者から専門家まで対象者に合わせた様々なワークショップやアウトリーチ活動を実施し、コンテンポラリーダンスの魅力と身体と表現の可能性を発信している。
 東京国際ダンスワークショップReActionディレクター、日本女子体育大学体育科学科ダンス学科講師。

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ
 アウトリーチワークショップについては、各種学校(幼稚園、保育園～大学まで)、障がい者施設、高齢者施設等、現場の要望に合わせて柔軟に組み立てることが可能です。
①遊びの要素を取り入れたワークショップ
 親しみのある遊びのルールをもとに、動きや空間の可能性を見つけ、ダンスの動きに発展させていく内容です。
②身体と感覚を繋げるワークショップ
 ストレッチや簡単な動きから、呼吸、皮膚、視覚、聴覚など普段眠っている感覚を呼び起こす内容です。
③コンタクト、パートナーワークのワークショップ
 人との触れ合いを通してからだでのコミュニケーションの楽しさ、可能性を探る内容です。

公募ワークショップ
創作ワークショップ
①～③の内容を発展させ、最終的に受講者が自分やパートナーとアイデアを共有しオリジナルな動きを作り出していく内容です。最終的に各自創作したものをお互いに見せ合い、動く喜び、互いの個性を見る、見せる楽しみを味わいます。
 (1日3時間程度×5日以上で受講生が創ったマテリアルを組み合わせ、一つの小作品としてショーイングまで繋げることが可能です。)
 ※上記の内容はダンスの経験、性別、年齢も小学生低学年から大人まで可能。クラスの細かい内容は基本的に上記を組み合わせた上で、受講者のレベルと要望に合わせ適宜調整、柔軟に対応します。
 ※上記の内容の他、学校の授業とリンクした内容

—美術、音楽、体育、国語等とリンクさせたワークショップ、親子ワークショップ、夫婦ワークショップ、身障者向けワークショップ等も可能です。
◎実施条件(共通)
 ▶参加人数: 20名程度 ▶アシスタント: 基本的に1名必要。(予算に応じて対応) ▶1日の実施可能回数・時間: 2～3コマ ※1コマ90～120分 ▶必要機材等: CDプレーヤー ▶場所: 会議室から体育館まで対応可能(広さ60㎡程度以上) ▶対象: 小学生から年配まで年齢経験不問

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品
①「Moment」
 時間と記憶をもとに綴られる岩淵のソロ作品
 ▶上演時間: 約20分 ▶出演者数: 1名(登録アーティスト) ▶同行スタッフ: 照明1名 ▶現地スタッフ: 舞台監督1名、音響1名、仕込要員2名程度 ▶上演環境: (1)会場の広さ・形状: 10m×10m程度(それ以下でも対応可能)(2)床: リノリウム(黒) ▶その他: 通常のプロセニウム形式の他、舞台上舞台での上演が可能。
市民参加作品
 公募ワークショップを発展させた形で市民参加型の

②「1 hour before Sunset」
 ▶上演時間: 60分 ▶出演者数: 5名 ▶同行スタッフ: 照明1名 ▶現地スタッフ: 舞台監督1名、音響1名、仕込要員2名程度 ▶上演環境: (1)会場の広さ・形状: 10m×10m程度(それ以下でも対応可能)(2)床: リノリウム(黒) ▶その他: 通常のプロセニウム形式の他、舞台上舞台での上演が可能。
市民参加作品
 公募ワークショップを発展させた形で市民参加型の

作品の創作が可能です。(内容は公募ワークショップの欄をご参照ください)
 ▶上演時間: 30分～1時間 ▶出演者数: 10～20名程度 ▶現地劇場のスタッフで柔軟に対応可
◎基本的なプログラム
 ▶①+市民参加作品+アフタートーク(全体60～80分程度)
 ▶②+アフタートーク(80分程度)
 ▶市民参加作品+アフタートーク(全体60分程度)

遠田 誠 Makoto ENDA

ダンサー/振付家。漆器づくりの家系に生まれ、プロダクトデザインを学ぶ一方、商店街ファンとして街のディティールに注目。デザインする上での俯瞰した視点とダンスの外様としての特異なアプローチから作品づくりを行う。日常のはざ間にダンスその他を混在させる『朧ことクラヴ』、閉鎖空間での表現の可能性を追求する『&ルフィン(エンドルフィン)』を主宰。作曲家・演出家・振付家・アーツマネージャーによるユニット『門限ズ』メンバー。2018年より、ダンスを介して様々な街の魅力を浮き彫りにしていく『“街”ダンス(ガイダンス)』シリーズを展開。



ホームページ <https://www.endamakoto.com>
 連絡先(担当) 遠田誠
 電 話 090-6514-5655
 E - m a i l m45.end@gmail.com
 在 住 地 東京都調布市
 出 身 地 東京都品川区

活動歴・受賞歴

○活動歴
 <1995年～> 『伊藤キム+輝く未来』に旗揚げより参加
 <2001年～> 『朧ことクラヴ』活動開始
 <2008年～> 東京造形大学非常勤講師
 <2010年> あいちトリエンナーレに参加
 <2011年> ヨコハマトリエンナーレのキャラバン隊長に就任
 <2014年> いわきAliosダンスリレーファイナル「いわきを踊れ!」
 振付・出演
 <2016年> 画家・流麻二果とのコラボレーション「六本木借景絵」
 振付・出演
 <2017年> 太田市美術館・図書館 開館記念「オオタドン」演出・振付・出演
 <2017年～> 『&ルフィン』開始
 <2018年～> 『“街”ダンス(ガイダンス)』シリーズ開始
 <2019年> 鳥取市民参加作品ゲキジョウ実験!「銀河鉄道の夜

→」振付・出演
 <2020年> 品川アーティスト展「トリーキョー “街”ダンス～品川フォーカス編～」演出
 障害を持つ俳優・里村歩とのエンライン・デュオ(「演劇と社会包摂」制作実践講座)
 <2022年> 「北品川ゴーアラウンド!」参加
 『舞台芸術セミナー』@北九州芸術劇場出演
 &ルフィン新作『月蝕』@BankART Station

受賞歴

<2005年> 東京コンペ#2にてダンスパザール大賞受賞
 <2006年> トヨタコログラフィアワードにてオーディエンス賞受賞
 <2007年> 第1回日本ダンスフォーラム賞受賞

ワークショップ歴

<2002年> 水戸市舞踊学校特別WS
 <2005年> 広島市での一般参加者を対象としたWS
 <2006年> こまばアゴラ劇場での一般参加者を対象としたWS
 <2007年> 釜山大学での子どもダンサーを対象としたWS
 <2008年> 京都市で高瀬川の清掃を兼ねた身体WS
 <2008～12年> 東京造形大学メディア・デザイン科の学生を対象とした映像WS
 <2011年> 富山県高岡市の一般参加者を対象としたWS
 <2012年> 大島の小学校で、学芸会の演劇作品中のダンスシーン及びステージングを指導
 <2012～14年> 横浜市の小学生を対象としたWS
 <2014年> 信州大学人文学部芸術コミュニケーション講座ゼミ生を対象としたWS
 <2019～20年> 横浜市の小学校特別支援クラスを対象としたWS
 <2022年> 愛知県豊川市でのイベント参加者のためのダンスWS

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ・公募ワークショップ共通
①小学校でのワークショップ(特別支援クラス含む)
 身近なもの(例: 給食の献立、苦手な食べ物、好きな科目、休憩時間のおそび等)のイメージから、即興で短い振付を考えて、みんなで一緒に踊ってみよう!校歌の振付を考えて、みんなで歌いながら踊ってみよう!クラスメイトのカラダを操り人形のように動かしてみよう!動かされてみよう!
②学生・社会人へ向けたワークショップ
 薄氷を踏む、体重を増やす・減らす、カラダを伸ばす・縮める、気迫をぶっ放す、しおしおにしおれる等、様々なイメージを駆使して、普段とは異なるカラダの使い方を探っていきます。

また、幾つかのキーワードに対する参加者それぞれのイメージを元に短い振付を作り、創作の過程を体験していただけます。
◎実施条件(共通)
 ▶参加人数: 10～30名程度 ▶アシスタント: 1名 ▶1日の実施可能回数・時間: 2コマ※1コマ120分程度 ▶必要機材: CDプレーヤー ▶場所: 会議室から体育館まで対応可能 ▶対象: 小学生、大学生、社会人、軽度障がい者、ダンス経験不問
オンラインワークショップ
 端末の区切られた画面、狭い室内空間ならではの可能性を考え、柔軟な発想で創作する面白さを共有していきます。対面式のワークショップとは全く

異なるアプローチで、在宅時間のストレスを楽しく発散させましょう。「ダンスは敷居が高い」「気恥ずかしい」とお考えの方にも気軽にご参加いただけます。
◎実施条件(共通)
 ▶参加人数: 10～30名程度 ▶1日の実施可能回数・時間: 2コマ※1コマ120分程度 ▶必要機材: PC、スマートフォン、タブレットPC等からご参加いただけます。 ▶対象: 学生、社会人、ご高齢の方、ダンス経験不問

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品
『断片集』
 ▶上演時間: 30～60分
 ▶出演者数: 4名(登録アーティスト+共演者3名)
 ▶スタッフ: 未定
 ▶上演環境: 形状、広さなど対応可能。
 ▶作品について: 物語を語る男と周囲の環境音を取り込む音響、少人数で紡ぐダンスとが交錯し、混沌の果てへ向かうクロスジャンル作品。

『月蝕』
 ▶上演時間: 60分
 ▶出演者数: 4名(登録アーティスト+共演者3名)
 ▶スタッフ: 未定
 ▶上演環境: 広さなど対応可能。椅子数脚使用。
 ▶作品について: ムーンショット計画等、我々の生活に影響を及ぼす様々な題材を絡め合わせたダンス作品。

市民参加作品
『福岡市美術館 Remix』
 ▶上演時間: 50分
 ▶出演者数: 3名(登録アーティスト+共演者2名)
 ▶スタッフ: 未定
 ▶上演環境: 形状、広さなど対応可能。ピアノ使用(グランドピアノが望ましい)、椅子2脚(折りたたみ不可)。
 ▶作品について: 作曲家・野村誠の約2分×21のピアノ曲に振り付けたダンス・デュオ。ダンサー・高須賀千江子との作品。

北尾 亘 Wataru KITAO

1987年兵庫県生まれ。幼少より舞台芸術に携わる。2009年ダンスカンパニー[Baobab]を旗揚げ。“土着的でリズムカルに躍動する群舞”と“演劇的視点で描く圧倒的世界観”を特徴に、単独公演ほか国内外のフェスティバルに参加。振付家として、柿喰う客、ロク、木ノ下歌舞伎など舞台作品のほか、TVドラマ、CM、映画へ多数振付。ダンサー・俳優として、近藤良平、熊谷拓明、多田淳之介、杉原邦生、山本卓卓などの作品に出演。WS講師やアウトリーチ活動を日本全国で展開。平成27年～28年度・平成30年～令和3年度までダン活登録・支援アーティストとして、全国で15事業実施に携わる。尚美学園大学、桜美林大学、多摩美術大学非常勤講師。

所属カンパニー Baobab
ホームページ <http://dd-baobab-bb.boo.jp>
アーティスト在驻地 神奈川県川崎市
アーティスト出身地 神奈川県川崎市



Photo:ふじまつたえこ

活動歴・受賞歴

○活動歴
〈2013年10月〉KYOTO EXPERIMENT2013公式プログラム参加 Baobab二都市往復ツアー「家庭的1.2.3」
〈2015年1～3月〉木ノ下歌舞伎再演ツアー『黒塚』（出演・振付/演出：杉原邦生）全国5都市上演
〈2016年3月～〉Baobabディレクション
〈2016年8月〉せたがやこどもプロジェクト2016（ステージ編）『兵士の物語』@シアターラム（主演/振付：近藤良平）
〈2016年9～10月〉Baobab第10回公演ツアー『靴磨の塔』@吉祥寺シアター、他3都市上演
〈2018年6月〉SAN FRANCISCO International Arts Festival 招聘 Baobab『笑う顔縁-Laughing Frame-』@Firehouse（アメリカサンフランシスコ）
〈2021年1～9月〉Baobab『アンバランス』@シアターラム他、5都市上演
〈2021年10月〉東京芸術祭2021主催プログラムBaobab『ジャ

ングル・コンクリート・ジャングル』@あうるすぽっと
〈2022年11月〉東京芸術祭2022 芸術オータムセレクション『となり街の知らない踊り子』（出演・振付/演出：山本卓卓）@東京芸術劇場シアターイースト

○受賞歴
〈2010〉コンドルズ振付コンペティション(CCC)準グランプリ
〈2012〉トヨタコレオグラフィアワード2012オーディエンス賞
〈2014〉第3回エルスール財団新人賞コンテンポラリーダンス部門
〈2018〉横浜ダンスコレクション2018コンペティション1ベストダンサー賞
〈2020年〉ベッシー賞(ニューヨーク・ダンス&パフォーマンス賞)『OUTSTANDING PERFORMER部門』ノミネート

ワークショップ歴

〈2013年8月〉「夏休み限定!吉祥寺シアターダンス部2013」(対象：中学生、高校生 場所：吉祥寺シアター稽古場) 主催：武蔵

野文化事業団
〈2017年1～2月〉パフォーマンスキッズ・トーキョー 伊豆七島プログラム「八丈町立大賀郷小学校」主催：アートカウンシル東京（公益財団法人東京歴史文化財団）、特定非営利活動法人芸術家と子どもたち
〈2018年8月～2019年11月〉神奈川県青少年センター演劇活用青少年支援事業「神奈川県子ども自立支援センターきらり」(対象：障害児、心理治療児童) 主催：神奈川県青少年センター
〈2018年11月～2020年2月〉「キタQアーティストふれあいプログラム」対象：北力州市立小学校4校) 主催：北九州芸術文化振興財団
〈2020年8月～〉新国立劇場「中学生のためのどっぶり演劇 Daysオンライン」(対象：中学生) 主催：新国立劇場
〈2022年11月～〉岡山芸術創造劇場 ハレノワ プレ事業 ハレルワークショップ「100人ダンス」 主催：(公財)岡山文化芸術創造、共催：岡山市

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ
●学校でのアウトリーチ
『日常動作やモノマネから始まるダンス』
日常の中でのストーリーや、実際に見たり触れたりしている物を題材に、ダンスに繋がる楽しさを伝えます。(小・中・高校で実施)
●地域サークルでのアウトリーチ
『ゆったりストレッチ講座』
ヨガやフラなどご老人のサークル活動の中で、新たな体ほぐしの方法を提案しながら、ダンスの新たな魅力を提案します。(高齢者に実施)
●教育大学でのアウトリーチ
『アウトリーチを通したダンスの触れ合い方』

地域住民や生徒とどう関わりを持つかを、日頃の活動やワークショップのデモンストレーションを通してプレゼン形式で手渡します。(大学生に実施)
●実施条件 (共通)
▶アシスタント (応相談)：有りの場合、1名希望 ▶参加適正人数：20～30名程度(アシスタント有りの場合、60名まで対応) ▶1日の実施可能時間回数：90～180分(要相談)・最大3コマ(1コマ/120分の場合)
▶必要機材：電源2口(ポータブルスピーカー・PC用) その他注意事項：裸足での実施を希望する場合あり

●公募ワークショップ
●初心者向けワークショップ

この事業で可能な公演スタイル

●レパトリー作品
●「笑う顔縁」
[ダンスを絵画・ダンスジャンルを顔縁]に置き換え、枠組みを打破しようとするエネルギーな作品。
▶上演時間：30～50分 ▶出演者数：3名(登録アーティスト+共演者) ▶同行スタッフ：照明1名(応相談)
▶現地スタッフ：音響、舞台監督各1名 ▶上演環境：(1)会場の広さ・形状：8mX8m程度(2)リノリウム：黒(他の色でも可)(3)必要機材、舞台セット：マイク・劇場舞台 備品
●「UMU・うむ」
[生む・有無・膿む]3つのテーマを内包し、多様

な身体性と映像演出で描くソロ作品。
▶上演時間：30～60分(伸縮可) ▶出演者：登録アーティスト1名 ▶同行スタッフ：映像オペレーター1名 ▶現地スタッフ：照明、音響、舞台監督各1名 ▶上演環境：(1)会場の広さ・形状：6m×6m 程度以上(2)リノリウム：黒(3)必要機材、舞台セット：ホリゾント幕(スクリーン幕)使用 ▶その他：「笑う顔縁」と同時上演可
●市民参加作品
●「まほう」(宮古市民文化会館Bプログラム2022年初演)
レパトリー作品に参加者が一体となって出演。本

ダンス未経験者、老若男女問わず幅広い方々に向けて丁寧にダンスの魅力に触れていただけます。
●ダンス経験者向けワークショップ
様々なジャンルのダンスに携わる方々と、互いの違いや共通点を確認しながら、ダンスで交流を図ります。
●実施条件 (共通)
▶アシスタント (応相談)：有りの場合、1名希望 ▶参加適正人数：20～30名程度 ▶1日の実施可能時間・回数：90～210分(要相談)・最大3コマ(1コマ/120分の場合) ▶必要機材：電源2口(ポータブルスピーカー・PC用) ▶その他注意事項：裸足での実施を希望する場合あり

来10名で構成する作品の様々なシーンを参加者の特性に合わせて担ってもらう。
▶上演時間：60～75分 ▶出演者数：3名(登録アーティスト+共演者2名) ▶市民参加公演の形態：市民参加公演(クリエーションワークショップ参加者との協働作品) ▶クリエーションワークショップの参加(出演)人数回数：10名程度・3～5回程度 ▶同行スタッフ：映像オペレーター 1名 ▶現地スタッフ：照明仕込み、音響、舞台監督各1名 ▶上演環境：(1)会場の広さ・形状：8m×8m程度(2)リノリウム：黒(他の色でも可)(3)必要機材、舞台セット：マイク

北村 成美 Shigemi KITAMURA

通称、なにわのコレオグラファーしげやん。「生きる喜びと痛みを謳歌するたくましいダンス」をモットーに国内外でソロダンス作品を上演するほか、日本各地で市民参加による大型コミュニティダンス作品を発表。小・中・高校・特別支援学校・福祉施設はもちろん、ショッピングモール、ご家庭の居間、廃屋、電車、海、山、いつでもどこでもどなたでも踊ることをライフワークとし、滋賀では障がいのある人となない人が共に舞台をつくる「湖南ダンスカンパニー」にてディレクターを歴任。劇団やダンスカンパニーへの振付、音楽家や美術家との共同製作、CM振付や映像作品など数多く取り組む。

ホームページ <http://www.shigeyan.com/>
連絡先(担当) 北村成美
電話 080-9476-7397
E-mail shige@shigeyan.com
在住地 滋賀県草津市
出身地 大阪府大阪市



Photo:Nobuo Onishi

活動歴・受賞歴

〈2000年～現在〉ソロ活動開始。ひとりレビュー作品「i.d.」を発表し、年間30ステージ上演を達成。1週間1人で踊り続ける「ダンスマラソン」やご家庭の居間で踊る「ダンスアットホーム」などの自主企画を開始。国内外のフェスティバルやツアーに参加。夏むわ子(滋賀)、海ぶどうナツ子(沖縄)などのご当地水着アイドルシリーズ、歌謡曲インプロ集団「しげメイツ」がバックダンサーをつとめるカラオケダンス大会を開催。
〈2004年～現在〉滋賀県湖南県域にて知的障がいのある人となない人が共に舞台をつくる「湖南ダンスカンパニー」ディレクターを歴任。
〈2006年～現在〉岐阜県多治見市文化会館、鹿児島県徳之島町文化会館にてダンス活性化事業を実施。広島県はつかい文化ホールさくらびあ、山口県クリエティブ・スペース赤れんが、兵庫県西宮市甲東ホール、大阪府箕面市立メイプルホール、大阪府八尾市文化会館「リズムホール」にてダンス活動支援事業を実施。
〈2009年～現在〉「別府現代芸術フェスティバル混浴温泉世界」に3回連続参加。以降毎年、大分県にて滞在製作を重ね、別府八湯温泉祭りに「わか隊長」、「地獄の妖精ゴールデンしげアフロ」

として活動。
〈2009年～現在〉子どものための作品「くるみ割り(風)人形と二十日(ぐらい)ねずみの大運動会キヤー!!」を、びわ湖ホール(2009年)、岡山県現代舞踊連盟(2012年)、パフォーマンスキッズトーキョー(2013年)、高崎市NPO法人「レエノア(2014年)にて上演。
〈2013年〉滋賀県草津市にて50日間の街頭ワークショップを経て市民178人が出演した「おどりあるきあそぶ・草津ダンス街道」主催。八戸・南郷アートプロジェクト「Dance×Jazz vol.2」「映画つくるろろ!ハトダンス大作戦」振付、出演。北九州芸術劇場ダンスダイヴウィーク「夕暮れダンス」シリーズ「赤シャツダンサーズ」の活動開始。
〈2016年〉Mugi Dance Project (アジア4カ国のアーティストによる共同製作)、びわ湖ホール「BON★ダンス大会」、「三陸国際芸術祭」にて振付・出演。「踊りに行くぞ!! vol.7」仙台公演にて「黒鷲-kokkei-」発表。
〈2017年〉湖南ダンスカンパニー初の海外公演「ジャパン×ナントプロジェクト2017」参加。

〈2019年〉湖南ダンスカンパニー「ジャボニズム2018」参加。(パリ日本文化会館にて公演)
〈2020年〉自粛生活100日間連続ダンス動画配信「しげやんと踊ろう!!」実施。湖南ダンスカンパニー「音と身体で綴る叙情詩～湖(うみ)びわ湖ホールにて公演。
岡山芸術創造劇場プレ事業「わか町ミュージカル」振付担当。
〈2021〉おおいだ障がい者芸術文化支援センター創作ワークショップin OPAM「宇宙まで届け!生きるチカラ、私のダンス」振付、出演。
〈2022〉くにたちオペラ「あの町は今日もお祭り」(原作:多和田葉子)、六甲ミーツアート2022「ROKKOSAN BON-ODORI」、岡山芸術創造劇場開館1年前カウントダウン「劇場へ行くぞ!」振付、出演。

○受賞歴
平成15年度大阪舞台芸術新人賞
平成22年度滋賀県文化奨励賞

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ
しげやんの飛び込みダンスパーティー!!
ご当地のサークルや様々な活動グループを訪問させて頂き、そのメンバーさんおひとりおひとりとお話しながらデュオを踊り、最後は全員でひとつになって踊ります。伝統芸能の集まり、子育てサークル、ご高齢の方や障がいのある方たちのデイサービス施設、日本語教室、少年野球チーム、お昼休みの工場や会社など、様々なグループに飛び込み、あらゆる方たちとおどる場を広げていきたいと考えています。

●公募ワークショップ
だれでもコレオグラファー(振付家)!!ダンスをつくりおどるワークショップ
言葉での説明ではなく、声やアイコンタクト、身振り手振りなどで進行していきます。まず北村が踊り、参加者さんには反応もしくは同調してもらいます。その動きを北村が真似し、さらにそれを参加者さんに真似してもらいます。そんなキャッチボールを繰り返すうちに、関係性をつくり、ダンスをつくります。こうして出来たダンスを、どこでどんな風に踊るかを話し合い、アレンジし、最後に発表をします。

●実施条件 (共通)
▶参加人数：5～100名までOK!(最適人数は20名です。) ▶アシスタント：1名希望します。▶必要機材：CD、iPodが再生できる機材。小中学校の場合はワイヤレスマイクが必要です。▶対象：年齢・性別・障がいの有無を問わず、どなたでも。▶場所：ご家庭の居間からグラウンドまで、どこでも。▶その他条件：感染予防対策をダンス開始のお清めの儀式としてショーアップする振付や、オンラインならではの演出での作品づくりなど、現場のみなさまとご相談しながら、難問をも新しい表現に変えていけるクリエーションをしたいと思ひます。

この事業で可能な公演スタイル

●レパトリー作品
●ソロ作品 2本立てに劇場外(ロビーや屋外)での小品を組み合わせたツアー形式の公演
(例：おむかえダンスー作品1ー休憩ダンスー作品2ーお見送りダンス)
本舞台でのソロ作品は、20～30分のもの「i.d.」、「ラベンダー」、「うたげうた」などのレパトリーから選んで頂きます。ホールの条件やご要望によっては、レパトリーをその現場に合わせた演出に変えて上演いたします。
▶上演時間：例のプランで約90分
●市民参加作品
●地元のみなさんと一緒につくるご当地自慢ダンス公演

参加者の方は、「こども」「おとな」「大先輩」「親子」など、経験や障がいの有無を問わず、あらゆる方を対象にすることが可能です。
▶上演時間：90～120分
●実施条件 (共通)
▶必要なスタッフ：舞台監督、照明、音響スタッフ(現地スタッフで可能)、劇場外パフォーマンスにかかるツアーコンダクター役(現地ボランティアスタッフで可能)
▶上演時間：例のプランで約90分
●市民参加作品
●地元のみなさんと一緒につくるご当地自慢ダンス公演

の同行も可能です。
▶ソロの場合の共演者の有無：「i.d.」を上演する場合は、共演者(影絵ダンサー)1名の同行を希望します。
▶上演環境：本舞台での上演の場合は、通常の照明・音響設備とリノリウムが必要です。劇場外パフォーマンスでは、敷地内でご相談に応じます。ご要望により、屋外やロビーでの本公演も可能です。
※ワークショップや公演のタイトルは、あくまでも一例です。事業ごとに、主催者さんや地元のみなさまのニーズをお伺いして、ご相談の上、決めさせてもらっていますので、何でもご相談下さい。

楠原 竜也 Tatsuya KUSUHARA

玉川大学文学部芸術学科卒業。在学中にロンドン・ラバンセンターに留学。東京学芸大学大学院教育学研究科総合教育開発専攻修士課程修了。『多くの方にHAPPYを届ける』をテーマに作品を創作。国内だけでなく、ニューヨークを始め海外でも公演を行なう。テレサ・ルドヴィコ(イタリア)演出『にんぎょひめ』『旅とあいつとお姫さま』等に出演し、俳優としても活動する。また、幼稚園・保育園・小中高等学校、児童養護施設等へのアウトリーチや、親子、幼児から一般の方への公募ワークショップも積極的に取り組み、表現活動と教育活動を同時に実現することを目標している。玉川大学芸術学部演劇・舞踊学科准教授。

連絡先(担当) 楠原竜也
E-mail ape_eip_ape@hotmail.com

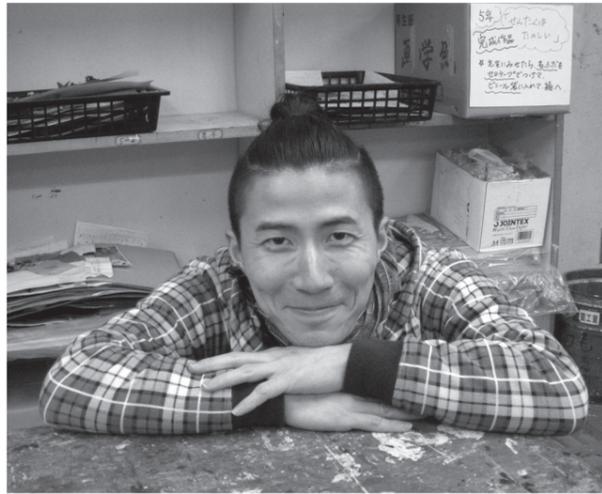


Photo:NPO法人芸術家と子どもたち

活動歴・受賞歴

○活動歴
(2002年)APE結成
(2006年) APE『One day, I woke up...』『Check in/out?』(サンチアゴ(チリ)・ニューヨーク・釜山)世田谷美術館開館記念事業APE『APERifool?エイプリルフールな美術館』ソロ『ME, MYSELF AND I』(ソウル東京リムリックアイルランド)多治見・広島)
(2007年)東京シティ・バレエ団 振付作品『かじったかじつかじる』APE『様』-C-
(2008年)APE『み』
(2010年)財団法人地域創造 公共ホール現代ダンス活性化事業調布市せんがわ劇場/日田市パトリア日田
(2012年)財団法人地域創造 公共ホール現代ダンス活性化支援事業えずこホール/日田市ダンスプログラムVol.3『千年あかりWandering』/オペラシアターこんにゃく座 オペラ『森は生きている』振付
(2013年)文学座アトリエの会『未来を忘れる』ステージング
(2014年)劇団昴 ザ・サード・ステージ『BLUE』振付/劇団

かかし座『Hand Shadows ANIMARE+Plus』ステージング
(2015年)劇団かかし座『Wonder Shadow』振付
(2015~16年) ACC 公益財団法人荒川区芸術文化振興財団『おしいれのぼうけん』『ジャングル大帝』振付監修
(2016年~)テレサ・ルドヴィコ演出『ピノキオ』振付アドバイザー

ワークショップ歴

(2006年) XII Festival Internacional Teatro a Mil (サンチアゴ) Busan International Beach Dance Festival (釜山)/世田谷美術館 中学・高校生
(2006年~)世田谷パブリックシアター 小学生・一般
(2007年)国立新美術館 小学生 / 2009年横浜開港150周年記念事業 青少年
(2007年~)NPO法人芸術家と子どもたち 小学校・特別支援学級・幼稚園・保育園
(2008年~)横浜市芸術文化教育プログラム推進事業 小学校
(2008年~)法政大学キャリアデザイン学部非常勤講師

(2009年~)東京文化発信プロジェクト パフォーマンスキッズ・トーキョー
(2010年~)NPO法人子ども劇場東京都協議会 思春期世代コミュニケーションワークショップ
(2011年~)文化庁 次代を担う子どもの文化芸術体験事業/文部科学省児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する芸術表現体験事業
(2012~13年) テレビ朝日福祉文化事業団主催 児童養護施設中高生対象WSおよび舞台発表
(2012~16年) 女子美術大学芸術学部非常勤講師
(2013年~) 玉川大学芸術学部非常勤講師
(2014年~) 国立音楽大学音楽学部非常勤講師
(2017年~) 東京家政大学短期大学部非常勤講師
(2017~18年) 文化庁 戦略的芸術文化創造推進事業 『体験ワンダーランド』
(2019年) 公益財団法人東京都歴史文化財団連携事業 学校と文化施設をつなぐ『ティーチャーズプログラム2019』

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ
身体をめいっばい使って動いたり他者と触れ合ったりすることで、知らないうちに打ち解けていながら、自分自身の表現や相手とのコミュニケーションを発見・体験してもらいます。

①『からだで表現あそび』(保育園・幼稚園)

▶対象年齢: 3歳くらいから
▶参加適正人数: 30名程度まで

②『ダンス・コミュニケーション』

☆小・中・高等学校・特別支援学校
▶参加適正人数: 1クラス(30名程度)が理想ですが、

2、3クラス合同も対応いたします。
☆教員や教員を目指す大学生向け
▶参加適正人数: 30名程度まで
☆福祉施設
▶参加適正人数: 30名程度まで

公募ワークショップ

①『からだで表現あそび』
☆子どもワークショップ
▶対象年齢: 5歳くらいから小学生
▶参加適正人数: 30名程度まで
☆親子ワークショップ
▶対象年齢: 親子(2歳から大人)

▶参加適正人数: 12組程度まで

②『ダンス・コミュニケーション』

☆一般ワークショップ
▶対象年齢: 中学生以上
▶参加適正人数: 30名程度まで

◎実施条件(共通)

▶アシスタントの有無: 1名 ▶1日の実施可能回数・時間: 2コマ ※1コマ90分 ▶必要機材等: iPod等を接続できる音響プレーヤー、ワイヤレスマイクやピンマイク ▶場所: 体育館が理想ですが、相談しながら決定いたします。

◎実施条件(共通)

▶同行スタッフ・現地スタッフ: 舞台監督1名、照明1名、音響1名、仕込み要員2名 ※1名は同行いたしますが、基本的には現地スタッフとの共同作業を希望いたします。
▶上演環境: (1) 会場の広さ・形状: 6m×6m以上、市民参加作品は劇場特有のスペースを利用 ※場所の条件により柔軟に対応可能 (2) 床: リノリウム、市民参加作品は規定なし (3) 必要機材、舞台セット: 通常の音響と照明設備程度

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品

①『み』
次世代を生きる子どもたちへ
「サバナに生きる動物たちのように、必死にぶっ倒れるまで、命を、人生を全うして生きてほしい」
▶上演時間: 約25分 ▶出演者数: 楠原+2名

②『One day, I woke up...』

朝起きて出勤し、帰宅。就寝。毎日の中で誰もが経験したことのあるシーンを集め、風刺を混ぜながら創作したコラージュ作品
▶上演時間: 約20分 ▶出演者: 楠原+5~7名

市民参加作品

『○○ Wandering』 ※○○には劇場や地域の名称等をヒントにみなさんと考案します。
劇場のホール以外も使用し、観客が地図と自分の勘を頼りに館内外を自由に巡って鑑賞する体験型パフォーマンス。いつでもどこでだれにどのように出くわすかはあなた次第...さまよっているのはいったいどっちなのか?さあ、心のおもむくままにさまよってください...
▶上演時間: 25~40分 ▶出演者数: 楠原+2名
▶クリエーション・出演参加者数: 10~20名

▶上演環境: (1) 会場の広さ・形状: 6m×6m以上、市民参加作品は劇場特有のスペースを利用 ※場所の条件により柔軟に対応可能 (2) 床: リノリウム、市民参加作品は規定なし (3) 必要機材、舞台セット: 通常の音響と照明設備程度

鈴木 ユキオ Yukio SUZUKI

「YUKIO SUZUKI projects」代表/振付家・ダンサー。世界50都市を超える地域で活動を展開し、しなやかに繊細に、且つ空間からはみだすような強靱な身体・ダンスは、多くの観客を魅了している。また、プロのダンサーや、子供達、障害のある方への振付作品の提供、ミュージックビデオやモデル活動、さまざまな方を対象にしたワークショップを各地で実施し、舞踏を基礎にした独自のメソッドを用いて、新しい「ダンス」の可能性を追究している。

所属カンパニー 鈴木ユキオプロジェクト
ホームページ http://www.suzu3.com/
連絡先(担当) 安次嶺菜緒(あしみねなお)
E-mail kingyo.company@gmail.com



Photo:bozzo

活動歴・受賞歴

○活動歴
(2000年) 自身のカンパニーを創立
(2005年) 横浜トリエンナーレ参加
(2009年) トヨタコレオグラフィアワード受賞者公演(金沢21世紀美術館・シアタートラム)
(2013年) お茶の水女子大学・舞踊教育学コースにて非常勤講師を務め、委嘱作品を発表
(2014年) 障害のある人となない人で構成されるダンスカンパニーにて共同芸術監督を務め、作品を発表
(2015年) チェコのダンサーへの振付作品にてチェコツアー実施(TANEC PRAHA主催)/音楽家(山川冬樹・Wayne Horbizなど)との共同作品を発表/ACCグランティとしてニューヨークに5ヶ月滞在

受賞歴

(2003年) STスポット「ラボアワード」受賞
(2004年) 「東京コンペ#1」入選
(2005年) トヨタコレオグラフィアワード2005「オーディエンス賞」受賞
(2007年) 京都芸術センター舞台芸術賞ノミネート
(2008年) トヨタコレオグラフィアワード2008「次代を担う振付家賞(グランプリ)」受賞
(2011年) 「週刊オン★ステージ新聞」新人ベスト1振付家
(2012年) パリ市立劇場「Danse Elargie 2012」にて10組のファイナリストにノミネート

ワークショップ歴

(2005年) 「舞踏から始まる、自分流 身体訓練講座」(対象:一般 主催:セッションハウス)
(2011年) 愛知芸術文化センターWS(対象:経験者・一般)
(2013年) 劇的! ウィンター「ダンスじゃないダンス! ?」(対象:子供 主催:福岡市芸術文化振興財団)
(2014年) ダンス指導者のための教材「ダンスリーフ」作成のための模擬WS(対象:小学生)
(2014年) 障害のある方のためのWS(対象:視覚障害者・身体障害者・知的障害者など)
(2015年) パフォーマンスキッズトーキョー「だからきみのからだ」(三鷹市公会堂)(対象:小学生) *WS後、劇場作品を発表
(2015年) ニューヨークjapan society・WS(対象:子供・一般)

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

①学校でのアウトリーチ

小・中・高校で実施。ゲームや、イメージを持ちながら動くことなど、簡単なルールを使って、楽しみながら、身体を動かし、ダンスになる瞬間をつかみます。「これってダンス! ?」と思いつつも、のびのびと身体を動かす気持ちよさと、これまで感じたことのない身体の中を意識し感じることが出来るプログラム。

②教員へのアウトリーチ

教員を対象に、「ダンス」という固定概念にとらわれず、遊ぶように、自分の身体を感じ、新しい可能性を探るプログラムを共有します。

性を探るプログラムを共有します。

③福祉施設でのアウトリーチ

簡単なイメージを持ちながら、自分の身体を動かすことで、ありのままの自分を受け入れ、これまで経験したことのない自由なダンスの世界を楽しみます。

公募ワークショップ

①一般の方を対象にしたワークショップ

どなたでも気軽に「カラダ」「ダンス」を楽しめるプログラム。カラダの内側を感じること、カラダの外側・空間を意識することを通して、楽しみながら、自分だけのダンスと一緒に探します。

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品

『春の祭典』
ストラヴィンスキー作曲【春の祭典】で踊るデュオ作品。社会情勢やダンスの歴史を感じながら、現代を生々しく生きる命のたくましさを感じさせる作品。魂と身体を揺さぶる圧巻のダンスは、多くの観客を魅了している。

▶上演時間: 約60分 ▶出演者数: 2名
▶同行スタッフ: 照明 ▶現地スタッフ: 舞台監督1名、音響1名、照明1名 ▶上演環境: (1) 会場の広さ・形状: 8m×8m以上あれば望ましいが、応相談

(2)床: 応相談
(3)必要機材、舞台セット: 映像プロジェクター、ファイルボックス
▶その他: ギャラリーなど、あらゆる空間での上演が可能な作品です。

市民参加作品

『オリジナル作品(タイトル未定)』
WSを通して生まれた、オリジナルの動き(ダンス)を丁寧に紡いで、作品につなげましょう。それは、ここで、いま、わたしたちにしかできない、ありのままの「ダンス」になります。
例として、地域の歴史からインスピレーションを受

けた作品や、地域出身のアーティストや文芸作品の世界をダンスのテーマに盛り込んだ作品、鈴木を始めとしてカンパニーダンサーも市民と共に出演する作品を制作している。

▶上演時間: 30~50分 ▶出演者数: 1~4名
▶クリエーションワークショップの参加(出演)人数・回数: 10~25名程度・5~10回程度 ▶同行スタッフ: 演出助手・音響・照明のいずれか ▶現地スタッフ: 舞台監督1名、音響1名、照明1名 ▶上演環境: (1) 会場の広さ・形状: 応相談 (2) 床: リノリウム (3) 必要機材、舞台セット: 応相談

田畑真希 Maki TABATA

タバマ企画主宰。3歳からクラシックバレエを始める。更なる表現を迫るため桐朋学園短期大学演劇科に入学。様々なジャンルの身体表現を学ぶ。滑稽なまでにガムシャラに、ユーモアを散りばめながら丁寧に時間を紡ぐ作風には定評があり、国内外で活動。7カ国18都市にて作品を上演し好評を得る。近年は、インクルーシブダンスWSや作品創作、様々な世代を対象としたWSを展開し、性別、年齢、国籍、障がいの有無などの差異を超えて、誰もが楽しみながら出来る身体表現の促進を目指す。

所属カンパニー タバマ企画
ホームページ tabamaki.com
連絡先(担当) 田畑真希
E-mail tabamakaku@gmail.com
在住地 東京都
出身地 神奈川県川崎市



Photo:松本和幸

Ⅰ 活動歴・受賞歴 Ⅰ

○活動歴
(2007年) タバマ企画結成
(2009年) Melkweg (オランダ) 公演、MASDANZA フェスティバル (スペイン) 参加
(2012年) ダンストリエナーレトーキョー JAPAN FOCUS に参加
(2014年) 南郷アートプロジェクト「DANCE×JAZZ」
(2015年) 東京芸術劇場アーツアカデミー研修生企画「OFF CLASSICS」現代音楽 (中川賢一) とのコラボレーション
(2016年) 南郷アートプロジェクト「映画つろう！3」振付、出演
(2015~16年) 「子どものまち・いしのまき」参加
(2017年) 「舞台の上の美術館II」振付@オーバードホール
(2017年) タバマ企画 10周年公演「コンダクター」@東京芸術劇場シアターイースト
(2019年) 「ハコニワ」@サントミューゼ
(2019年) セントラル愛知交響楽団×半田市「オーケストラで

ンス」振付、出演
(2019年) 「現代音楽×ダンスのTRANCE」(ピアノ・中川賢一、ダンス・田畑真希)@豊中市立文化芸術センター
(2021年) 「或る椅子の、つぶやき」ダンス映像作品短編集 (鳥根県民会館インクルーシブシアタープロジェクト) 振付、演出
(2014年~毎年継続中) 富山市にてWS、市民参加作品公演 (富山市民プラザ主催)
(2017年~毎年継続中) 鳥根県民会館にて見えない、見えづらい方々とのWSやダンス作品制作・・・など

○受賞歴
(2009年) 横浜ダンスコレクションR2009「未来にははたく横浜賞」「MASDANZA賞」
(2009年) MASDANZA (スペイン) コンペティションにて、グループ部門2位
(2010年) トヨタコレオグラフィアワードファイナリスト

Ⅰ ワークショップ歴 Ⅰ

(2010年) E S P L A N A D E (シンガポール) 主催 関東大学連合WS (大学生向け)
(2011年) Theaterhaus Berlin Mitte (ドイツ・ベルリン) 主催WS
(2013年) スクール・オブ・ダンスプロジェクト主催 「ダンス教育ラボ」
(2012年~) 東京文化発信事業「パフォーマンススキズ トーキョー」、特別支援学級などへのWS多数経験。
(2013年~) 日本演出者協会主催「演劇大学」3カ所
(2014年~) 富山市民プラザ主催「富山市民プラザダンス部」子供~大人
(2015年~) 山形県酒田市「S A K A マキダンサーズ」子供~大人
(2016年~) 鳥根県松江市「視覚障がい者の為のWS」視覚障がい者、聴覚障がいの老若男女・・・他、高齢者、幼稚園、中学校、大学、専門学校、児童養護施設など、多数経験。

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

- 学校でのアウトリーチ (90分)
小・中・高校・大学で実施。ゲーム感覚で身体を使って遊びながら他者とのコミュニケーションをはかります。発想を豊かにし自分だけのダンスを創ります。
- 幼稚園、保育園でのアウトリーチ (40~60分)
楽しい音楽や、楽器に合わせて思う存分身体を動かして自由に踊ります。
- 高齢者施設や特別支援学校など福祉施設でのアウトリーチ
無理のない範囲で日々の生活に必要なストレッチや軽い筋トレを取り入れながら楽しい音楽や懐かしい音楽で楽しく踊ります。
- 会社や企業などでのアウトリーチ (90分)

一緒に身体を動かしながら普段と違うコミュニケーションをはかり、普段と一味違う発想や個性を発見しながら楽しくダンスを創ります。
▶アシスタント：1名
▶参加適正人数：30名位まで
▶1日の実施可能回数：2コマ ※1コマ90分
▶必要機材：iPod等を接続できる音響プレーヤー、場所によってはマイク

公募ワークショップ

どのようなWSスタイルも可能です。子どもから大人までどなたでも。年齢や性別、ダンス経験、障がいの有無などに関わらず楽しく身体を使って遊びながら自分だけのダンスを見つけます。対象や人数、開催場所 (野外なども可) など、相談しながら地域の特性に合わせて柔軟に対応い

たします。例えば、

- 「ZOOMでダンス!!」(45分~60分)
外に出るのは面倒臭い...家で楽しく踊りたい! 運動不足な貴方も、最近なんだか楽しいことがないと嘆いている貴方も!! 老若男女関係なく、家にいながらみんなと繋がって楽しく身体を動かします。
 - 「見えない人と見える人のためのダンス」(90分~120分)
視覚障がいがある方と、見える人とのダンスWS。お手引きの仕方から始まり、しっかり信頼関係を築きながら安心安全に楽しく踊る時間です。
- など、今、誰とどんな風に繋がりたいかをホールの方々と探りながらプログラムを作ります。

この事業で可能な公演スタイル

レポートリー作品

●「待つ間が花」
どうせ「待つ」なら賑やかに・・・「待つ」という積極的な行為をパワフルな身体でカラフルに彩る作品。▶上演時間：60分▶出演者数：3名▶現地スタッフ：応相談▶上演環境 (1) 会場の広さ・形状：5間×5間程度 (応相談) (2) 床：リノリウム

●「カーニバル」
劇場を飛び出し、野外や街中、劇場ロビー等に出没し、迫力のある生演奏の音楽と、ユーモアを散りばめたダンスがエネルギーを放ち、情感溢れる時間が空間を満たします。(市民参加も可)▶上演時間：30分▶出演者数：3名 (ダンサー2名、ミュージシャン1名)

市民参加作品

『タイトル未定』新作
市民の方々のクリエーションにより、出演する市民の方々の個性や地域の特性を活かした作品。
▶上演時間：60分程度▶参加人数：20名程度まで (応相談)▶クリエーションWS：6回程度 (応相談)※地域や参加者のご都合を話し合いながら柔軟に対応いたします。

田村一行 Ikko TAMURA

日本大学芸術学部卒。98年大駱駝艦入艦、唐赤兎に師事。以降大駱駝艦全作品に出演。02年『雑踏のリベルタン』を発表。同作品により第34回舞踊批評家協会新人賞受賞。08年、文化庁新進芸術家海外留学制度によりフランスへ留学。22年『舞踏天狗藝術論』を発表。同作品により令和4年度 (第73回) 芸術選奨舞踊部門文部科学大臣新人賞受賞。地域の文化や風土を題材とした作品の創作にも意欲的に挑み、独自の作品を発表し続けている。また、子供から高齢者まで幅広い対象者への舞踊ワークショップ・アウトリーチを各地で展開し、好評を得ている。11年度から22年度まで地域創造「現代ダンス活性化事業」登録アーティストとして活動。

所属カンパニー 大駱駝艦(だいらくだかん)
ホームページ http://www.dairakudakan.com
連絡先(担当) 大駱駝艦・キャメルアーツ株式会社 新船洋子
住所 〒180-0001 東京都武蔵野市吉祥寺北町2-1-18 コスモ吉祥寺北町B1
電話 0422-21-4982
FAX 0422-21-4983
E-mail tempuenshiki@dairakudakan.com
在住地 東京都八王子市
出身地 東京都多摩市



Photo:小林直博 (鶴と亀)

Ⅰ 活動歴・受賞歴 Ⅰ

○活動歴
(2019年) 『叫び哭いて香を唄ふ』(市民参加作品) 兵庫
現代舞踊協会『同じ釜の飯を食う』(一般公募) 東京
三島由紀夫文学館開館20周年記念フォーラム
『ハグクミ申す者 -三島由紀夫に捧ぐ-』山梨
『彼方を語る人』静岡
(2020年) 『リュウグウノツカイ』(市民参加作品) 兵庫
『ノキタノマロウド』兵庫
南郷アートプロジェクト『しまもりさいじき』(ダンス映画) 青森
東アジア文化都市「詩、踊る」「深きより」福岡
『舞踏長洲風土記 ヒメゴトキンギョ』熊本
PKT『何もない空間』(青陵中学校特別支援学級) 東京
(2021年) 『舞踏土を清水風土記 ジョン万流離譚』高知
『舞踏但馬風土記 藤ノ章日樹拾遺譚』(市民参加作品) 兵庫
『舞踏但馬風土記 蒼ノ章異界の末裔』(市民参加作品) 兵庫

『私教版 浪漫歷程』東京
『舞踏 豊橋妖怪百物語』愛知
(2022年) 『宮古仄聞記』岩手
『舞踏 但馬風土記 幽暗ノ章 水に浮いたひょうたん』(市民参加作品) 兵庫
(2022年) 大駱駝艦・天龍典式公式YouTubeチャンネル
『1258秒星に願いを』(配信)
『泉大津風土記 六師樹影譚』(市民参加作品) 大阪
大駱駝艦査中天公演『舞踏 天狗藝術論』東京
『舞踏 酒田風土記 幽玄の論理』(市民参加作品) 山形
(2023年) 『舞踏 但馬風土記 但馬夜話蒐集録』兵庫

○受賞歴
(2003年) 第34回舞踊批評家協会新人賞
(2023年) 令和4年度 (第73回) 芸術選奨舞踊部門文部科学大臣新人賞

Ⅰ ワークショップ歴 (ダン活以外) Ⅰ

(2019年) 文化活動者派遣事業 (豊田市)、豊岡市民プラザ 白百合女子大学 都城市総合文化ホール (保育園等)
(2020年) 都城市総合文化ホール (保育園~Zoom、宮崎県立芸術劇場等) 日本大学芸術学部
(2021年) 明治大学、北九州芸術劇場 (留学生・大学生)
(2022年) 豊岡芸術文化観光専門職大学 北九州YMCA学院×北九州市立大学FIVA×北九州芸術劇場 世田谷パブリックシアターダンス食堂
(2023年) 豊岡芸術文化観光専門職大学 国立台北芸術大学
※(2020年~) 座・高円寺ダンスアワードII アソシエイト・アーティスト

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

難しいことを考えずに力を抜いて空っぽになる。そして「自分で動くのではなく動かされる」。上手・下手という価値観から離れ空っぽになり、感情や周囲のものに身を委ねると、様々な身振り・手振り・動きと出会うことができます。

●学校でのアウトリーチ

頭も体ものびのびしてくる基礎的な体操から始め、様々な型や振りを覚えたり作ったりします。驚き方や笑い方が人それぞれであるように、何かをしようとしなくても既に自分だけの表現や踊りは存在しているのです。表現とはとても自由で身近なものなのだということを体験します。

この事業で可能な公演スタイル

レポートリー作品

『舞踏風土記シリーズ (タイトル未定)』
上演時間・会場など諸条件を考慮・ご相談しながら提案させていただきます。その場所ならではの様々な財産をリサーチし題材といたします。
▶上演時間：60~75分 ▶出演者数：3名 (田村一行+共演者) ▶同行スタッフ：演出助手、舞台監督のいずれか ▶現地スタッフ：舞台監督・音響・照明各1名 ▶上演環境 (1) 会場の広さ・形状：特に

●教員へのアウトリーチ

「表現しないことが表現である」と考え、「がんばらない」「うまくやろうとしない」ということを大切に、自由な発想で身体と向き合います。人間の数だけ存在するそれぞれの個性と出会う方法を探ります。

●福祉施設でのアウトリーチ

心も身体もリラックスした状態を作り、自分を取り巻く世界を感じながら身体を優しく動かしていくことを体験します。

※その他の施設・場所でのアウトリーチにも対応いたします。

希望なし (2) 床：リノリウム希望 ▶その他：出演者は白塗りをします。楽屋等を養生します。

市民参加作品

『タイトル未定』
その場所をコンセプトに創作するオリジナル作品です。現地ワークショップ生や様々な団体との創作が可能です。人間に大きな影響を与える土地の風土や文化をモチーフに、参加者特有の身振り・手振りを

公募ワークショップ

踊りとはどのような時にどのように生まれているのか。そしてどのようなモノにどのように動かされるか。普段と違う発想で、自分や周囲の世界を見つめてみます。思考停止・身振りの採集・鑄態・宙体・各種歩行・緊張と脱力...。大駱駝艦のメソッドは様々なジャンルの芸術・文化・生活に共通し、境界を越えて新しい価値観を見出すきっかけにすることができます。抑圧された意識や踊りになる以前の行為と接することは、無限なる表現世界へと続く新たな一歩となるでしょう。

※様々なワークショップ形態にも対応いたします。

東野祥子 Yoko HIGASHINO

ANTIBODIES Collective振付家・ダンサー。10歳からダンスをはじめ。類稀なる身体性を駆使し、社会的なメッセージを掲げた先鋭的な舞台作品を多く発表。国内外の劇場やフェスティバルでの公演は66都市を超える。'00～'14年「Dance Company BABY-Q」を主宰。その後京都に拠点を移し、'15年には「ANTIBODIES Collective」を結成。多ジャンルなアーティストとともに大掛かりな舞台作品制作やパフォーマンス、インスタレーションなどを全国並びに海外でも多数実践している。またダンサー育成のWSや学校へのアウトリーチなど、地域の活性化に根ざした活動にも定評がある。ソロワークとしてもミュージシャンや映像作家などとコラボレーションを展開する。受賞歴多数。全日本ダンストラック協会芸術監督・キュレーター。

所属カンパニー ANTIBODIES Collective
ホームページ www.antibo.org
連絡先(担当) 東野祥子
住所 〒606-0085 京都市左京区上高野隣好町2-5
電話 075-201-9729
E-mail info@antibo.org
在住地 京都府京都市
出身地 奈良県桜井市



活動歴・受賞歴

○活動歴
(2000年)「Dance Company BABY-Q」を立ち上げる。
(2005～14年) 国内の劇場やオルタナティブスペース、Festival、海外での招聘公演にて総合舞台芸術作品を多数発表する。
(2012年～現在) DANCE TRUCK PROJECTを立ち上げる。
(2015年)「ANTIBODIES Collective」を京都にて立ち上げ、横浜、京都、大分などで作品を発表。
(2016年)「A界限」→東京、「惑星共鳴装置」→東京、京都
「MATAR」→イタリア
(2017年)「残響」→京都、東京
「STABAT MATAR」→オランダ
(2018年)『エントロピーの楽園』→横浜、犬島
(2019年) 瀬戸内国際芸術祭「エントロピーの楽園-第2章-」→犬島
『カセット100/TPAM』→横浜
(2020年)『CropsSurreal』→デンマーク、東京、京都
(2021年)「あらゆる人のための、誰のためでもない世界」
→京都、兵庫、東京

(2022年)「LIMINAL」兵庫、東京など、劇場や野外、島、美術館、工場などにて大掛かりな舞台公演を行っている。

○受賞歴
(2004年) TOYOTAコレオグラフィーアワードにて「ALARM」を発表。「次代を担う振付家」賞を受賞
(2005年) 横浜ダンスコンペティションにて「ZERO HOUR」を発表。群舞部門「未来に羽ばたく横浜」賞を受賞
(2010年) 舞踊批評家協会新人賞
(2022年) 令和4年度文化庁芸術祭「新人賞」受賞

ワークショップ歴

(2002～15年)「BABY-Q DANCE WS」
対象：一般 主催：BABY-Q Danc Lab.
(2006年)「100時間WS&公演」
対象：一般 主催：伊丹市・AI-HALL
(2006年)「キノコ踊り」
対象：高齢者 主催：越後妻有トリエンナーレ

(2006年、2010年～現在)「表現プログラム」
対象：小学生 主催：(財)横浜市文化振興財団
(2008年～現在)「これって何ダンスですか？」
対象：一般 (石川/福岡/島根/長野/兵庫/岐阜などの公共ホール) 公共ホール現代ダンス活性化事業

(2009年より数回)「ASIAS」/パフォーマンススキットークショー
対象：小学生 主催：芸術家と子どもたち

(2011年)「灼熱オドリタイム」WS&公演
対象：子ども 主催：多治見市文化会館ほか多数

(2015年～現在) 東野祥子ダンスワークショップを継続的に行う。
(2016年) イタリアにてパーキンソン病の方々にダンスWS「DanceWell」を美術館で実施。

(2019年) イタリアにてパーキンソン病の方に向けたダンスWS講師の資格取得

(2020年より現在) ダウン症の子供たちと、パディ walkや水玉ダンスFestivalなどでのワークや、自主企画としてイキイキダンスワークショップを定期的に行う。

○活動歴
(2000年)「Dance Company BABY-Q」を立ち上げる。
(2005～14年) 国内の劇場やオルタナティブスペース、Festival、海外での招聘公演にて総合舞台芸術作品を多数発表する。
(2012年～現在) DANCE TRUCK PROJECTを立ち上げる。
(2015年)「ANTIBODIES Collective」を京都にて立ち上げ、横浜、京都、大分などで作品を発表。
(2016年)「A界限」→東京、「惑星共鳴装置」→東京、京都
「MATAR」→イタリア
(2017年)「残響」→京都、東京
「STABAT MATAR」→オランダ
(2018年)『エントロピーの楽園』→横浜、犬島
(2019年) 瀬戸内国際芸術祭「エントロピーの楽園-第2章-」→犬島
『カセット100/TPAM』→横浜
(2020年)『CropsSurreal』→デンマーク、東京、京都
(2021年)「あらゆる人のための、誰のためでもない世界」
→京都、兵庫、東京

(2022年)「LIMINAL」兵庫、東京など、劇場や野外、島、美術館、工場などにて大掛かりな舞台公演を行っている。

○受賞歴
(2004年) TOYOTAコレオグラフィーアワードにて「ALARM」を発表。「次代を担う振付家」賞を受賞
(2005年) 横浜ダンスコンペティションにて「ZERO HOUR」を発表。群舞部門「未来に羽ばたく横浜」賞を受賞
(2010年) 舞踊批評家協会新人賞
(2022年) 令和4年度文化庁芸術祭「新人賞」受賞

(2002～15年)「BABY-Q DANCE WS」
対象：一般 主催：BABY-Q Danc Lab.
(2006年)「100時間WS&公演」
対象：一般 主催：伊丹市・AI-HALL
(2006年)「キノコ踊り」
対象：高齢者 主催：越後妻有トリエンナーレ

(2006年、2010年～現在)「表現プログラム」
対象：小学生 主催：(財)横浜市文化振興財団
(2008年～現在)「これって何ダンスですか？」
対象：一般 (石川/福岡/島根/長野/兵庫/岐阜などの公共ホール) 公共ホール現代ダンス活性化事業

(2009年より数回)「ASIAS」/パフォーマンススキットークショー
対象：小学生 主催：芸術家と子どもたち

(2011年)「灼熱オドリタイム」WS&公演
対象：子ども 主催：多治見市文化会館ほか多数

(2015年～現在) 東野祥子ダンスワークショップを継続的に行う。
(2016年) イタリアにてパーキンソン病の方々にダンスWS「DanceWell」を美術館で実施。

(2019年) イタリアにてパーキンソン病の方に向けたダンスWS講師の資格取得

(2020年より現在) ダウン症の子供たちと、パディ walkや水玉ダンスFestivalなどでのワークや、自主企画としてイキイキダンスワークショップを定期的に行う。

回数：5～25名程度・2時間以上4回程度
▶同行スタッフ：振付アシスタント・映像作家・美術作家そのうちいずれか
▶現地スタッフ：舞台監督1名、照明1名。状況に応じます。

▶上演環境：(1)会場の広さ・形状：会場に応じます。
(2)床：リノリウム(黒もしくはグレー) (3) 必要機材：プロジェクター・音響設備など

▶出演者数：(1) 会場の広さ・形状：会場に応じます。
(2)床：リノリウム(黒もしくはグレー) (3) 必要機材：プロジェクター・音響設備など

▶その他：ホールの中庭やホワイエ、客席なども舞台空間とし、観客が移動して観て回ることも可能です。

マニシア MANIZIA

ダンスアーティスト・ダンスムーブメントセラピスト・ダンサー。長期におけるNYを拠点とした活動後、プロダンサーたちと障がいのある人々とのダンスグループ、ワレワレワークスを結成。難病の子ども、パーキンソン病の方、DV被害者、不登校生、少年院のティーンを対象としたWSや作品のクリエーションなどに挑戦しながら、あらゆる場所にダンスの種を蒔き続けている。医療や福祉、教育におけるダンスのみならず、様々な分野で、ダンスの可能性を追究することにパッションを抱いている。

ホームページ https://www.manizia.com
E-mail wale_waleworks13@yahoo.co.jp
在住地 福岡県福岡市

活動歴・受賞歴

○活動歴
海外での活動
「Origami Dance」NY(2003)、「Origami Dance」ギリシャ(2005)、「WaTER」ルッカ(2009)、「MU」パリ(2013年)、「dancin' OXFORD DANCE FESTIVAL」に招聘(2013年)、「PEOPLE DANCINGウェールズ」に招聘(2014)「The Thinker」シチリア(2015)、「日韓交流「ダ、デン、ダダンスプロジェクト」(2015)、「When I draw my last breath」スペイン(2019年)

コミュニティでの活動
「47memories」福岡市民会館(2013)、「沖縄キジムナーフェスタ「コザの息」(2012)「石のうた」(2013)、「三陸国際芸術祭「時の輪～ Passing through our body」(2014)「光の中へ、うさぎがはねる時～ When Rabbits bounce into the Light」(2016)「ひゅるりひゅらり風は舞う」(2017)、「福岡市民会館にて難病の子どもたち

と共に踊る「コココのダンス」開催開始2016年一度開催継続中、パーキンソン病患者を対象としたダンス2016年開始(公演及びWS継続中)、「九州国際ダンスコンペティションあしながおじさん賞受賞(2017)、「空に溶けゆく言葉のかけら」沖縄市民小劇場あしな〜那覇市ひやみかちマチグラー(2018)、「仙台市民文化事業団主催事業「せんだいダンス」2018年より開催継続中、国際交流基金アジアセンター主催WS(2019年)、「福岡県もち文化センター主催 PEOPLE ART PERFORMANCEコミュニティダンス公演2019年より一度開催継続中、福岡少年院にてWS(2020)「虐待について考える」ダンスアンドディスカッション(2021)、「堺市文化振興財団ダン活Aプロ(2021)

ワークショップ歴

(2005、2006年) 福岡市私立幼稚園連盟主催(教諭対象)
(2000年) ECArTEギリシャ
(2009年) ECArTEロンドン

(2011年) 福岡市立西部療育センター
(2012年) 静岡文化会館主催(母子と父子対象)
(2013年) ECArTEイギリス
(2017年) 福岡女子大学主催(親子対象)
(2018年) 子ども文化コミュニティ主催(障がいの親子対象)、国立夜須高原青少年自然の家主催(視覚障がいの子どもたち対象)、紅葉幼稚園(親子対象)
(2020) マレーシア(子ども対象) ミャンマー(教育者対象) オンラインWS、福岡少年院
(2021年) マレーシア(子ども)と福岡(フリースクール生) オンラインWS、(公財) 堺市文化振興財団主催(多世代対象)
(2022年) 東広島芸術文化ホールくらら主催(不登校生、こども園、小学校、多世代対象)、中等少年院人吉農芸学院

●被災地でのWS
(2011年～2013年) 石巻市、大船渡市、気仙沼市

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

○学校 de DANCEワークショップ
からだをほぐし、他者とのコミュニケーションで身体と心をのびのび解放し、ダンスをはじめていきます。想像力豊かに、からだで絵をかいたり、イメージを形にしたり、見えないボールをキャッチボールをしたり、言葉から動きを見つけてみたり。みんなで一緒にダンスの楽しさ、表現の自由さを見つけていきます。

ワクワクダンスワークショップ

「高齢者」「親子」「教師」「介護士」など、それぞれ

の「わく」内の対象に合ったプログラムを組み、集中的にワークショップを行うことが可能です。ダンスで身体を感じ、それぞれの個性を引き出す創造性豊かなワークショップを実施します。

野外でDADAダンス

室内に閉じこもりがちな現代の生活スタイルから抜け出し、参加者を野外に連れ出し、まずは深呼吸、身体を使って遊びながらダンスをしていきます。原っぱや公園、野外にあるオブジェなどを使い、身体で異空間を創作していきます。

①～⑥などその土地や人柄に応じたワークショップを開催します。

公募ワークショップ

『ダンスって自由でおもしろい!』
ワークショップ初心者の方からダンサーを目指す方まで参加できるWS。からだのリラックスした状態を意識し、ダンスの基礎から応用、即興での動き方、人を動かしたり動かされたり、言葉で動きを見つけたら、自分の感覚が研ぎ澄まされていきます。最後には自分で作った簡単な作品も出来上がります。

回数：5～25名程度・2時間以上4回程度
▶同行スタッフ：振付アシスタント・映像作家・美術作家そのうちいずれか
▶現地スタッフ：舞台監督1名、照明1名。状況に応じます。

▶上演環境：(1) 会場の広さ・形状：会場に応じます。
(2)床：リノリウム(黒もしくはグレー) (3) 必要機材：プロジェクター・音響設備など

▶出演者数：(1) 会場の広さ・形状：会場に応じます。
(2)床：リノリウム(黒もしくはグレー) (3) 必要機材：プロジェクター・音響設備など

▶その他：ホールの中庭やホワイエ、客席なども舞台空間とし、観客が移動して観て回ることも可能です。

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

○親子のワークショップ

ママ、パパ、ファミリーを対象。触れ合いながら遊びや歌をダンスに変化させていき、育児の疲れやマンネリを吹き飛ばすオリジナルダンスを参加者と共に創っていく。絵画やリズム創作を取り入れて総合舞台芸術としてのダンスを体験してもらう。劇場建築全体をアート空間として感じるためのサイトスペシフィックなワークショップも可能である。

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品

○「MU」
○「When I draw my last breath～私が最後の息をする時」
○Initial Cry～産声

「生きること」を作品を通して観客と共に考えます。2013年にパリで、上演後にディスカッションをするPerformance&Discussionを提案しました。作品鑑賞から思い出された感情や経験と向き合い、参加者全員で言語表現してみます。ダンス作品を深く感じてもらう約90分の活動。

▶上演時間：30分
▶出演者数：
○2名(登録アーティスト+共演者1名)
○5名(登録アーティスト+共演者4名)

○幼児、ティーン、多世代のワークショップ

身体能力の違うもの同士が集まり、言葉やドローイングから得るイマジネーションを膨らませて、身体が自由におしゃべりできるグループ間の関係を作っていく、それぞれの表現が発揮できる瞬間や全ての参加者が可能となる動きを発見していきながら、どの人が欠けても成り立たない世界でたったひとつのダンスを創っていく。

○1名(登録アーティスト)
▶現地スタッフ：舞台監督1名、音響1名、照明1名
▶上演環境：
(1)会場の広さ・形状：6m×6m～10m×10m程度(応相談)
(2)リノリウム：黒もしくはグレー
(3)舞台セット：①のみ椅子4脚

市民参加作品

その地域の「特性」や「ニーズ」を活かして参加者との協働制作を目指します。▶上演時間：30～60分▶出演者数：TPOにより1名とアシスタント、もしくは音楽家▶市民参加公演の形態：参加者と新しい作品を創ることやレパートリー作品をリメイクすることも

○実施条件(共通)
▶アシスタント：参加人数によっては必要
▶参加適正人数：10～30名
▶1日の実施可能回数、時間：要望にお応えできません。
▶必要機材：iPodなどを接続できる音響システム
※上記すべてを劇場空間で公開ワークショップにすることも可能

可能。パフォーマンス空間をステージだけでなく劇場の建築を利用しサイトスペシフィック式の公演も可能。
▶参加(出演)人数・回数：10～100名程度。回数の目安は、5～8回程度
▶同行スタッフ：音楽演奏者(応相談)
▶現地スタッフ：照明1～3名、音響1名、舞台監督1名

▶上演環境：
(1) 会場の広さ・形状：5間×5間以上希望(応相談)
(2)リノリウム：あれば黒もしくはグレー
(3)必要機材、舞台セット：会場付常設備など(応相談)

森下真樹

Maki MORISHITA

幼少期に転校先の友達作りで開発された遊びがダンスのルーツ。これまでに10か国30都市以上で作品を上演。現代美術家東芋とのコラボレーション作品『錆からでた実』や、MIKIKO (演出振付家)、森山未來 (俳優・ダンサー)、石川直樹 (写真家)、笠井勲 (舞踏家・振付家) という全く異なるバックグラウンドを持つアーティストが各楽章の振付を担当する自身のソロ「ベートーヴェン交響曲第5番『運命』全楽章を踊る」など、ジャンルを超えた幅広い活動をする。100人100様をモットーに幅広い世代へ向けたワークショップや作品づくりを行う。周囲を一気に巻き込み独特な「間」からくる予測不能、奇想天外ワールドが特徴。森下スタンド主宰。

ホームページ <http://maki-m.net/>

E-mail dance@maki-m.net

在 住 地 東京都

出 身 地 出生地 大分、本籍 熊本、育ち 松山、千葉、現在東京都在住

活動歴・受賞歴

○活動歴
(2016年～2021年)
・現代美術家 東芋とのコラボ作品「映像芝居『錆からでた実』」を発表@東京芸術劇場、全米4都市ツアーへつながる
・市民参加型「オーケストラで踊ろう『運命』」@可見市文化創造センターにて振付を担当。参加者9歳～77歳の感動の舞台が忘れられずソロで全楽章踊ることを決意。テーマは「運命」、ずっと自分で自分を振付してきたが、自分の知らない世界を体験せねばと各楽章に振付を依頼。翌年ソロ公演を初演し、以降様々な形で展開
・満島ひかり (女優) × 玉井夕海 (音楽) × 森下真樹 (ダンス) パフォーマンス@清水寺
・大植真太郎/森下真樹 (ダンス) × 田中馨 (音楽)「どこをどうぶつ」発表@北九州芸術劇場ほか動物園
・“Tokyo Dance”にて招聘作品「東京コンツ」フランス語ver. 上演@ハリ日本文化会館
・さいたまゴールド・アーツ・クラブでのノゾエ征爾演出作品にて平均年齢73歳の約750名を振付

・神奈川県立青少年センタースタジオHIKARIでのこけら落とし公演「てんこもり」上演
・阿波踊り×コンテンポラリーダンスにて振付/演出@あわぎんホール
・伊藤キム×森下真樹「マキム!」発表@東京芸術劇場
・南郷アートプロジェクトを10年に渡り参加し、伝統芸能や郷土芸能や地元の消防団との作品を発表し「DANCE×JAZZ Episode.0」で幕を閉じる

ライフワークとして

★「ベートーヴェン交響曲第5番『運命』全楽章を踊る」
2017年森下スタジオ初演、東京芸術劇場 (日本フィルハーモニー交響楽団と第1楽章のみ)、2018年バイラルホール (ピアノ: 今西泰彦)、2019年岐阜県美術館 (映像作品配信)、2020年城崎国際アートセンター (ピアノ: 碓井俊樹)、岩手県民会館 (全楽章オーケストラ生演奏)
★「ベートーヴェン交響曲第9番全楽章を踊る」
2019年スタジオHIKARI初演、2021年あわぎんホール (全楽

章オーケストラ生演奏)、宮古市文化会館

受賞歴

(2014年) 第8回日本ダンスフォーラム賞受賞

ワークショップ歴

「○○(地名や劇場名)☆デビュタント」
「森下真樹うずうずダンスワークショップ」
「森下真樹とことんダンスワークショップ」
「ことばで踊る、ことばを踊る」などと題しこれまでに30都市以上で開催。東京都文化発信プロジェクト「パフォーマンスキッズ・トーキョー」では子どもたちと作品をつくり、小学校体育館やホールなどで発表。その他、高齢者施設、病院、特別支援学校、児童養護施設、美術館などでもワークショップ経験多数。また、地元オヤジうずうずダンスを結成し、公演へ向けたワークショップも行う。ダン活(支援)ではこれまでに、南相馬市ゆめはっと、キラリ☆ふじみ、松山市民会館、小美玉市小川文化センター、白鷹町文化交流センターあゆーむ、はつかいち文化ホールさくらびあ、浜田市 石史文化ホール、茅野市民館、文化フォーラム春日井、八戸市南郷文化ホールなど10ヶ所実施。

★「○○(地名や劇場名)☆デビュタント」

～舞台デビューしてみよう!～

<対象>子ども～高齢の方 (ダンス経験不問)

<内容・目的>森下の自己紹介ダンス作品「デビュタント」をキッカケに、参加者それぞれの自己紹介ダンス (カラダで名刺をつくる「カラダ名刺」など)、自分にしかできない100人100様のオリジナルダンスに挑戦。※オヤジに特化した「オヤジうずうずダンス」もあり。

★「ベートーヴェン交響曲第9番を踊る」

カンパニー森下スタンドによる群舞作品ですが、3名～上演可能 (5名以上の場合は全楽章可能)

▶上演時間: 全楽章の場合は約75分

▶演出/振付/森下真樹

▶出演: 森下真樹ほか

～ベートーヴェンの音楽をムシャムシャ食べて、血や肉や魂に変える。逆境を乗り越え新天地へ、苦悩を乗り越え喜びへ…。現代 (いま) を生きる力とはどんな世の中から喜びを掴む。さあ、カラダを奮い起たせよ!～

山田うん Un YAMADA

日本を代表するコンテンポラリーダンスカンパニー Co.山田うん (2002年設立) 主宰。カンパニーには国内トップクラスの気鋭ダンサー十数人が所属し、ステージパフォーマンスやミュージックビデオ、また学校や施設でのワークショップや地域密着型活動、子ども向けの演目や芸術性の高いダンス作品など、ニーズに合わせた様々なアウトプットを生み出している。近年は東京五輪2020閉会式をはじめ、ダンサー、振付家としての発想を活かした演出を手掛けることも数多い。

所属カンパニー Co.山田うん

ホームページ <https://www.unyamada-co.com>

活動歴・受賞歴

○活動歴
(2019年)「話のない物語」三都市ツアー (松本～仙台～北上)
(2019年) 欧州最大音楽祭シゲトフェスティバル招聘公演 (ブダペスト)
(2020年)「NIPPON CHA!・CHA!・CHA!」演劇版・ダンス版 演出&振付
(2020年)「コスモス」映像版・舞台版 演出&振付&美術
(2021年) 東京五輪2020閉会式 Director of choreography
(2021年) 国立劇場特別企画「二つの小宇宙」で声明の会と共演
(2021年) 新国立劇場ダンス 子供向け演目「オバケッタ」
(2022年)「春の祭典」山田うんソロダンス×ピアノ連弾 (高橋悠治×青柳いづみこ)
(2022年)「In C」令和4年度 (第77回) 文化庁芸術祭 舞踊部門 関東参加の部 優秀賞

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ・公募ワークショップ共通

未就学児、小学生、中学生、高校生、大学生、親子、障がい者、高齢者、などといったあらゆる人を対象にしたワークショップ、またプロを目指すダンサーやバレエ教室などへのワークショップ、オンラインでもオンラインでも可能です。

○実施条件 (共通)

▶参加者数:10～50名 ▶アシスタント:1～3名

▶必要機材:iPod出力可能な音響機材、広さによってはワイヤレスマイク

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品

①『山田うんソロライブ』

▶上演時間:20-45分

ユーモラスな即興スタイルをメインとした山田うんのソロダンスとトークで構成する和やかな時間。

②『山田うんソロ×音楽家とのセッション』

▶上演時間:20-45分

音楽家とのコラボレーションで作る即興的なダンスと創作のソロダンス。

ワークショップ歴

(2005年) 地域創造「公共ホール現代ダンス活性化事業」登録アーティスト開始
(2009年～現在継続) 東京都東村山福祉園「希望の郷」にてカンパニーWS
(2012年～現在継続) 北上市文化交流センターさくらホールにて月一WS「キッズアート」(講師 山田うん、川合ロン)
(2017年) 文化庁文化交流使として、11カ国23都市でワークショップを行う
・ジョージア国立バレエ団
・IAMAS舞台芸術情報学院 (アルジェリア)
・コロポ芸術大学 (スリランカ)
・ハワイ大学
・タリン大学 (エストニア) など
(2021年) 高校生のためのダンスワークショップ (神奈川県青少年センター)

例①学校でのワークショップ

運動や体育が苦手な人、表現が苦手な人でも楽しめる簡単な動きをまねてもらうことから始めます。少しずつレベルや体力に合わせて色々なスタイルの踊りを体験してもらいます。最後には自由に体を動かす、踊る喜びを通して心身を解放させます。

例②一般市民参加ワークショップ

コロナ禍で運動不足になった人、人との交流が薄れてしまった人、広々と換気のいいところで体を動かします。ノリのいい音楽に合わせて簡単なステッ

プや体操を通して、「楽しい時間」を味わってもらいます。踊る楽しさを通して、ストレス発散と生きる喜びの時間を作ります。

例③ダンサーワークショップ

表現をより追求したい子供や大人を対象にしたワークショップです。参加者一人一人の個性やセンスに合わせてそれぞれに合ったダンススタイルを考え、小さな作品を創作し、発表します。

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品・市民参加作品共通

ソロやデュオ作品にワークショップ参加者とのシーンを織り込んだ公演や、いくつかの作品を劇場ツアー形式で展開させることで空間を活かし、観客とのコミュニケーションが図れるような公演などをウリとする。劇場のあらゆる空間に積極的に関わり、フレキシブルに対応が可能。

★『これって、ダンスなの?!』

これって、ダンスなの?!と題し、森下の代表作ソロ『デビュタント』や「コンツ」やデュオ作品、ワークショップ参加者とのシーンを盛り込み、笑あり、涙あり、全身で体験していただけるようなエンターテインメント的

なダンス公演。子どもからおとなまで楽しめるドラマある一夜を演出。

▶上演時間: 約60分 ▶出演: 森下真樹ほか

★「ベートーヴェン交響曲第5番『運命』を踊る」

～4人の振付家が1人のダンサーの身体を通して描き出す「運命」～

▶上演時間: 約60分 ▶出演: 森下真樹

▶振付: 第1楽章: MIKIKO 第2楽章: 森山未來 第3楽章: 石川直樹 第4楽章: 笠井勲

※上演可能な条件はいくつかありますが、空間によってアレンジ可能な部分もありますので相談しながら進めさせていただければと思います。



Photo:石川直樹



Photo:Hal Kuzuya

山田珠実

Tamami YAMADA

母の死をきっかけに、ダンサーでない人々の身体性に惹きつけられる。2004年、50歳以上の長久手町民に振付したダンス作品「蜜の歳月」を発表。以来、個人面談や取材から起こしたテキストを基に、ドキュメンタリーとも呼べるダンス作品を創作することを得意とする。主な作品に、「表現クラブがやがや」の知的障がいを持つメンバーの「家族」「仕事」「性」に取材した「みっつのうたでドントカ」など。2011年からはヨガの経験と解剖学への興味から、中高年者を対象にヨガ教室を開講。ダンスの枠に留まらず、身体そのものが穿む謎についての探求を熱心に行う。愛知淑徳大学、名古屋学芸大学非常勤講師。

連絡先(担当) 山田珠実
住 所 〒612-8113 京都府京都市伏見区向島中島町22-29
E-mail yamadatamami3@gmail.com
在 住 地 京都府京都市
出 身 地 愛知県名古屋



Photo: 草本利枝

活動歴

〈1993～97年〉欧州でダンサーとして活動。
〈2001年〉SPAC振付コンクールファイナリスト。
〈2003年〉「蜜の歳月」で市民参加によるダンス作品の創作を開始。
〈2004～07年〉京都、札幌、福岡、山口、ワシントンD.C.でリズムラーマン・ダンスエクステンジをアシスト。通訳を兼ねる。市民参加作品の振付手法を学ぶ。
〈2005～10年〉バレエ団の委託によりバレロ、G線上のアリア等を振付、グラナダハラ（メキシコ）等で公演。
〈2008～11年〉「可見市多文化共生プロジェクト」4年にわたり外国籍の出演者の日常に取材し、振付け。
〈2008～〉表現クラブがやがやと「みっつのうたでドントカ」を発表。以降、ワークショップ活動を継続し、年に1度程度のペースでライブパフォーマンスを行う。

〈2010～16年〉静岡県で市民参加による「バラ色の人生」を発表以降、3作品を提供。活動から生まれた「駿府町Happy舞踊団」に継続して作品を振付け。
〈2011～〉世田谷パブリックシアター「地域の物語」ワークショップの進行役。舞台での発表公演までの構成等を行う。
〈2017～〉大学の授業の一環として、「愛知淑徳大学ジェンダーダイバシティー表現演習」発表公演を他の教員2名と共に構成、演出。ダン活支援アーティストとしては、多治見市文化会館（2013年）、高知市文化プラザかるぼと（2018年）において、市民参加によるダンス作品を制作し、発表。

ワークショップ歴

〈2004～09年〉学習発表会等の作品制作のためのワークショップ

ブ（名古屋、瀬戸市、東京都の小学校）
〈2005年～〉「カラダワークショップ」シリーズ（世田谷パブリックシアター）「大人のための身体表現講座」等（多治見市文化会館）
〈2006年～〉知的障害者とそうでない人のための身体で遊ぶワークショップ、親子のための「リズムとからだで遊ぼう」ワークショップ（練馬区光が丘区民センターで年5回程度を継続中）
〈2006年～〉大学の授業として、パフォーマンスアーツについて指導（愛知淑徳大学、名古屋大学、名古屋学芸大学）
〈2007年～〉「ダンスと思ひ出語り」ワークショップ
〈2011年～〉世田谷パブリックシアター「地域の物語」ワークショップの進行
〈2016年～2020年〉追手門学園高校表現コミュニケーションコースの高校生と共に行う、介護付き老人ホームでのワークショップ

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

①小学校・中学校・高校でのアウトリーチ

前半は身体を使うにあたってのちょっとしたコツ、日常に活かせる解剖学を楽しく伝え、後半は即興によってダンスを作って見せます。

②教員、施設職員、等へのアウトリーチ

自身の身体のケアについて幾つかの実践を伝えます。その上でコミュニケーションにまつわるゲームをいくつか行い、他者の身体と関わりかたについて一緒に考えます。

③高齢者施設でのアウトリーチ

それぞれの身体の出来る範囲で、可動できる関節

すべてにアプローチを試みながら、音楽に身体をのせる喜びを強調したワークを行います。

▶参加適正人数：15～20名程度 ▶適正時間：学校の授業の場合は2コマ、高齢者施設では45～50分 ▶アシスタントの有無：参加者が10名を超える場合は1名必要

公募ワークショップ

①「身体についての基礎の基礎」

身体というものを捉え直すためのワークショップ。無駄な力みなく動く為のちょっとしたコツ、知らないともったいない解剖学を分かりやすく伝えます。

②「踊って、作って、よくよく見てみる」

日常会話から即興したり、簡単なダンスの振付をつくりたい。即興を積み重ねる内容を掘り下げる、あるいは、振付からグループクリエーションを行う、のどちらかに展開します。

▶対象：対象によって①②の内容をアレンジ可能 ▶参加適正人数：25名まで ▶適正時間：60～120分 ▶アシスタントの有無：1名

③実施条件（共通）

▶1日の実施可能回数・時間：計180分以内 ▶必要機材等：iPod等を接続できる音響プレーヤー、状況によりピンマイク ▶場所：会議室から体育館まで対応可能

この事業で可能な公演スタイル

レポートリー作品

『人体について』

身体の骨格や内臓の動きについての映像、レクチャーを取り混ぜながら進行するダンス作品
▶上演時間：55分 ▶出演者数：3～4名（登録アーティスト+共演者） ▶同行スタッフ：映像オペレーター（相談可能） ▶現地スタッフ：音響1名、舞台監督1名、照明1名 ▶上演環境：(1)会場の広さ・形状：9m×8m以上 (2)床：リノリウム・木・カーペット・畳など相談 (3)必要機材、舞台セッ

ト：プロジェクター、自立する小型スクリーン、ピアノ（会場の広さ等により相談）

市民参加作品

『人体について（市民参加バージョン）』

身体の骨格や内臓の動きについての映像、レクチャーを取り混ぜながら進行するダンス作品
▶上演時間：55分 ▶出演者数：3～4名（登録アーティスト+アシスタント兼共演者） ▶クリエーション参加者数・回数：最大15名、2時間×3～7

回程度（本番と前日のリハーサルは除く） ▶同行スタッフ：映像オペレーター（相談可能） ▶現地スタッフ：照明仕込み1名、音響1名、舞台監督1名 ▶上演環境：(1)会場の広さ・形状：10m×9m以上 (2)床：リノリウム・木・カーペット・畳など相談 (3)必要機材、舞台セット：プロジェクター、自立する小型スクリーン、ピアノ（会場の広さ等により相談） ▶その他：リハーサル時間の長さによって市民参加によるパートのボリュームは調節可能

赤丸急上昇

Akamaru kyu-jyo-syo

（赤松美智代+丸山陽子）

「笑いは力」そう信じる二人が醸し出す、全力大笑い空間。楽しさは永遠の癒し、感動が子どもを育てる、感動が大人を自由にする、赤丸急上昇のダンスの世界は、お面の不思議なダンス、その先にほろりと涙の感動体験。これまでに国内外30都市以上で作品を上演、毎回常に新しい演出やプログラムを行い、人と関わるパフォーマンスを実施、さらに、笑ってほくれる赤丸体操も展開中。愛媛大学非常勤講師。

所属カンパニー 赤丸急上昇
ホームページ https://akamaru-matsuyama.jimdofree.com/
連絡先(担当) 赤松美智代
E-mail michimichi@moga-jp.com
在 住 地 愛媛県松山市（赤松、丸山）
出 身 地 愛媛県宇和島市（赤松）、愛媛県大洲市（丸山）

活動歴

〈2005年〉「赤丸急上昇」結成
JCDN「踊りに行くぜ!!」で全国6都市にて公演。
〈2007年〉JCDN「踊りに行くぜ!! 2007アジア巡回プロジェクト」(Indonesia/Solo・Jakarta)
〈2008年〉在広州日本国総領事館、Guangdong Modern Dance Company、国際交流基金主催「踊りに行くぜ!! in 中国」(中国/北京・広州)
〈2009年〉明治安田生命社会貢献プログラム『みんなのダンスパフォーマンスFUKUJUBUKRO』車いすダンサーに振付・出演
〈2011年〉DANSPLACE PROJECT (アメリカ/NY)
〈2015年〉別府現代芸術フェスティバル「混浴温泉世界」・札幌コンカリーニョセレクション・神戸ダンスボックス「コンテンポラリーダンス@西日本版」

〈2016年〉三陸国際芸術祭出演・沖縄ダンスプロジェクト TAMATE箱公演「Cin Cin」振付
〈2017年〉愛顔つなぐえひめ国体・えひめ大会国体総合開会式典演技(出演人数2000人)の演技振付・振付指導 青森県八戸市「酔っ払いに愛を/オンリーユアスター」出演
〈2019年〉三陸国際芸術祭(岩手県大船渡市)出演 愛媛県文化振興財団芸術文化事業「赤丸急上昇のダンスの世界」(愛媛県西予市)
〈2021年〉愛媛県松山市宝蔵寺にて、新作「廻」制作開始
〈2022年〉三陸国際芸術祭(A.I.R.)

●ダン活実施箇所：山形県酒田市・千葉県野田市・沖縄県那覇市・茨城県ひたちなか市・高知県土佐清水市・埼玉県入間市

ワークショップ歴

松山を軸に全国各地の教育機関へのワークショップ（幼稚園・小中高校・大学・教員対象）、海外ではIndonesia/Jakartaにて大学生、劇団員対象ワークショップ、また明治安田生命社会貢献プログラム/エイブルアートオンステージ参加事業・車いすダンス作品振付ワークショップや、美術館でのワークショップ、2020年～(公財)愛媛県文化振興財団事業「小中学生のためのダンスワークショップ」、2022年文化庁(NPO法人)JCDNコーディネイト)令和4年度文化芸術による子供育成総合事業・コミュニケーション能力向上事業等々、様々な地域で「今生きている」を実感できるワークショップを心がけている。

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

①小中高校生へのアウトリーチ「カラダでわっはっは!」

学校の状況や年代、課題に合わせてプログラムは変幻自在。まずは、思いっきり無我夢中で遊び、いつの間にかそれが踊りになる。笑える事がキーワード、感動して泣いたら最高。

②教員へのアウトリーチ

『燃えよ!あっぱれ先生応援団』学校の先生向けアウトリーチ。ダンスが面白い!創作する事が面白い!と思える、想像を創造に変える時間を提案します。先生自身に楽しんでもらい、それがやがて先生の行う授業に反映してもらえたら幸せ♡

③福祉施設でのアウトリーチ

『色とりどりのおまつりダンス』ミラクルダンス現る!その人にしかできないダンスが、生まれる愛おしい瞬間。

公募ワークショップ

①『笑いは力だプロジェクト』

ワークショップ中、笑いが絶えず時間があっという間に過ぎた/初めて会った人たちののに、終わったらめっちゃめっちゃ仲良くなってた/知らない間に感動して涙が出ていた・・・ワークショップを受けた人からいただいた感想。笑いの力で蘇る、人の気持ちが蘇る。笑えるウォーミングアップで大笑いしな

がら身体を動かし、心を開き、最後には渾身のダンスを踊る場所に変えていきます。

②『お面ワークショップ』

仮面効果を使って、自分の本能を引き出して遊ぼう!という試み...仮面をかぶると、理性的カバーがゆるみ、違う誰かになれる。でも本当はその違う誰かは、本能的な自分。お面をつけて様々な遊び、お面が教えてくれるあなたのダンス。

▶参加適正人数：20～40名程度 ▶アシスタントの有無：無 ▶1日の実施可能回数・時間：2コマ※1コマ90分 ▶必要機材等：音響機器 ▶場所：どこでも大丈夫

この事業で可能な公演スタイル

レポートリー作品

①『お面を使ったダンス作品』

これらのダンスは、どこか懐かしい、お面のオカンと、オトンのダンス。

『日々是好日』ふってもってでも日々是好日。笑いあり涙ありあなたの心にとけてゆく。▶上演時間25分 ▶出演者数:2名(登録アーティスト2名)

『太陽と月』The principles of Yin (陰) and Yang (陽)。▶上演時間:50分 ▶出演者数:2名～4名(登録アーティスト2名+共演者2名)

②『Rise vs Fall』

人生山あり谷ありRise and Fall ▶上演時間:25分 ▶

出演者数:2名(登録アーティスト2名)

③『廻～meguru～』

雌鹿と牡鹿の白い鹿頭をつけた作品。はじめたのはいつなのか?くるくるとくるくと繰り返される命の営み 古より授かりしもの 身体から身体へ ▶上演時間:30分 ▶出演者数:2名(登録アーティスト2名) ▶上演環境:必要機材:プロジェクター

市民参加作品

①『市民参加作品』

明治から続く小学校、最後の在学学生12人に振りつけた「太陽と月と奇跡の子どもたち」(土佐清水ダン活)、70代以上の大人の為のダンス作品「人生ココ

カラダ」他、赤丸急上昇によって市民参加作品は、そこに生きている人から生まれるダンス。振付を渡すのではなく、人から振付を引き出す。その人が存在するから生まれてくるダンス、そうやって作品を創ります。「出会うこと」それが全ての始まりです。

②『1年3組vs1年5組によるRise vs Fall(仮)』

ペンを100本使って、赤vs丸で踊る赤丸急上昇の作品「Rise vs Fall」をクラス対抗作品にアレンジ。この作品は、面白くて子どもたちが無我夢中になり燃えます! ▶上演時間:15～60分 ▶出演者数(出演する市民は除く):登録アーティスト2名 ▶クリエーション・出演参加者数:何人でも大丈夫 ▶上演環境:ホールの状況に合わせて作ります。

笠井瑞丈 × 上村なおか Mitsutake KASAI + Naoka UEMURA

《笠井瑞丈 × 上村なおか》

笠井瑞丈 × 上村なおかのプロジェクトは一貫して、人と人とのダンスによる交流・交感を目的としている。'01年に初共演をした後、'02年にグループを設立。公演活動だけでなく様々な場所で様々な世代を対象に積極的にワークショップを行い、現代における人間の多様な個性・身体に触れ続けている。人との出会いに触発される作品づくりをモットーとしている。

《笠井 瑞丈》

笠井 靨に舞踏を、山崎広太にダンスを師事。'98年より自作のソロダンスを開始。様々なスタイルのダンスのエッセンスを取り入れながら独自の世界観を持つ作品を発表している。近年はソロだけでなく作品振付や客演でも注目を集めている。平成20年度文化庁新進芸術家海外留学研修員として、'09年ニューヨークで1年間研修。'16年テロ・サリネン・カンパニーにゲスト出演。'17年ソロ「花粉革命」を踊る。

《上村 なおか》

幼少よりバレエを学ぶ。木佐貫邦子にダンスを、笠井靨にダンスとオイリュトミーを師事。'95年から自作ソロダンスを開始。身体の発見と冒険をキーワードに劇場以外の場所での公演や他ジャンルのアーティストとのコラボレーション、ワークショップも数多く行う。'02年度文化庁新進芸術家国内研修制度研修員。桜美林大学芸術文化学群、パリアフリーの街なかダンスクラスなどで講師を務める。



Photo: 蓮井幹生

連絡先(担当) 上村なおか

ホームページ <https://kasaiuemura.wixsite.com/kasaiuemura>

E-mail kasai_ueamura@yahoo.co.jp

在 住 地 東京都分寺市

出 身 地 東京都分寺市(笠井) 石川県金沢市(上村)

Ⅰ活動歴・受賞歴Ⅰ

- 活動歴
- 〈2001年11月〉デュオ作品を発表開始
- 〈2013年2月〉高橋悠治演奏によるデュオダンス「海とクジラ」(横浜赤レンガ倉庫1号館3階ホール/横浜)
- 〈2014年12月〉「R+P」(アサヒ・アートスクエア/東京)
- 〈2015年1月〉「廢墟の世界」(セッションハウス/東京)
- 〈2016年3月〉上村ソロ「solo」(セッションハウス/東京)
- 〈2017年1月〉グループ作品「雪の囃」(セッションハウス/東京)
- 〈2018年3月〉グループ作品「奇跡の星」(d-倉庫/東京)

- 〈2018年10月〉デュオ作品「2×3」(いずみホール/東京)
- 〈2022年12月〉「死と英雄」(セッションハウス/東京)
- 〈2023年2月〉「転がる石には昔は生えぬ」(ギャラリー Roll/東京)

○受賞歴

- 〈2004年4月〉第36回舞踊批評家協会新人賞(上村)
- 〈2010年2月〉横浜ソロ×デュオ・コンペティション審査員特別賞(笠井)
- 〈2017年3月〉日本ダンスフォーラム賞(笠井)

Ⅰワークショップ歴Ⅰ

- 1) 幼稚園や保育園、小学校、中学校、高校でのアウトリーチ(担当教師とのコラボレーションや発表を行うものもあり)
- 2) 特別支援学校、特別支援学級、障がい者施設でのワークショップ
- 3) ダンスや演劇を専門的に目指す人のためのワークショップ
- 4) 普段あまりダンスと縁のない人・身体を動かす機会がない人のためのワークショップ
- 5) 親子で参加できるワークショップ
- 6) 地域の場や人の特性と身体を結びつけたワークショップ
- 7) オンラインでのワークショップ(大人、親子)

◎実施条件

- ▶参加適正人数：5～40名
- ▶アシスタントの有無：有
- ▶1日の実施可能回数・時間：1日2回 ※1回につき1～3時間
- ▶必要機材等：音響機材
- ▶場所：会議室や体育館など。屋内・屋外いずれも可

市民参加作品

応募者によってその都度新作を作ります。その場・その時にしかない出会いを基に、それぞれのカラダがダンスになっていく体験を作品化します。

- ▶作品名：その時毎に新しく決定
- ▶上演時間：40分～60分
- ▶出演者数(出演する市民は除く)：2名(登録アーティスト)
- ▶クリエイション・出演参加者数：その時の状況に応じる
- ▶同行スタッフ・現地スタッフ：演出助手のみ同行、他は現地スタッフ可
- ▶上演環境：①会場の広さ・形状：規定なし ②床、リノリウムの有無・色：規定なし③必要機材、舞台セット：規定なし

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ・公募ワークショップ共通

私たちのワークショップでは、ひとりひとりがひとつずつ持っている「自分のカラダ」を再発見することを目指します。その「カラダ」は動きだけにとどまらず、微細な身体感覚に耳をすますことで、認識されていくでしょ

う。個を深めること、他者と関わること、その二つを同じように大切にします。自分のカラダ、他者のカラダ、両方に出会うことでカラダの可能性を探ります。対象は、幼児から大人まで、障がいやダンス経験の有無に関わらず全ての方。

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品

- 『廢墟の世界』
- ▶上演時間：約1時間
- ▶出演者：2名(登録アーティスト)
- ▶同行スタッフ：なし
- ▶現地スタッフ：照明1名、音響1名
- ▶上演環境：①会場の広さ：あらゆる環境に対応 ②床：あらゆる環境に対応 ③必要機材：箱馬12個

●『死と英雄』

- ▶上演時間：約40分
- ▶出演者：2名(登録アーティスト)
- ▶同行スタッフ：現地スタッフで対応可能
- ▶上演環境：あらゆる環境に対応

●『転がる石には昔は生えぬ』

- ▶上演時間：約1時間
- ▶出演者：2名(登録アーティスト)
- ▶同行スタッフ：現地スタッフで対応可能
- ▶上演環境：あらゆる環境に対応

●『2×3』3人の振付家による3つのデュオ

- 『事実上の夫婦喧嘩(仮)』川村美紀子振付、上演時間30分
- 「かませ犬」近藤良平振付、上演時間30分
- 「イマハムカシ」笠井靨振付、上演時間30分
- ▶出演者：2名(登録アーティスト)
- ▶同行スタッフ：現地スタッフで対応可能
- ▶上演環境：あらゆる環境に対応
- ▶3作品同時上演、1作品のみ上演、双方に対応。

勝部ちこ + 鹿島聖子

(CONTACT・インプロビゼーション・グループ CIco)

Chico KATSUBE+Shoko KASHIMA

(Contact Improvisation Group CIco)



Photo:大龍洋一

勝部ちこ・鹿島聖子はお茶の水女子大学大学院で舞踊教育学を修め、NYでダンスを研修。2000年、CONTACT・インプロビゼーション(以下CI)を多様なアプローチで普及させようという主旨でCIco(シーあいしーおー)を設立。「ふれあう事から始まるダンス」として、CIの広く深い可能性を追求し、これまでに国内・海外各地でのワークショップや公演、国際フェスティバルの開催等を行ってきている。各地の保育園、小学校、大学、公共ホールでのWSや公演、企業の採用試験面接・研修、乳幼児対象のパフォーマンスなど、「コミュニケーション」「身体」「社会」をキーワードにダンスの多様性・可能性を追求する日々。2012年、東京から鹿児島に本拠を移し、「芸術と社会」「身体と自然」の関係を見直し、独自の芸術活動を展開中。

所属カンパニー CONTACT・インプロビゼーショングループCIco

ホームページ <http://www.ci-jp.2-d.jp> <http://i-dancejapan.net>

電 話 090-3910-6716 (カッペ)

E-mail chicokatsube@icloud.com (勝部) shokokashima@mac.com (鹿島) ci@ci-jp.com (グループ)

在 住 地 鹿児島県伊佐市

出 身 地 大阪府大阪市(勝部) 千葉県船橋市(鹿島)

Ⅰ活動歴Ⅰ

- 〈2000年5月〉CONTACT・インプロビゼーショングループCIco設立
- 〈2005年10月〉ユニット結成、イスラエル・CIフェスティバルに参加(イスラエル)
- 〈2005～07年〉地域創造ダンス活性化事業(名取市文化会館、倉敷市芸文館、会津若松市風雅堂)
- 〈2007年8月〉名取市文化会館10周年記念「なっさい」演出、出演(名取市文化会館)
- 〈2008～10年〉Contact Improvisation Festival Japan主催(東京、金沢、神戸)
- 〈2011年1～3月〉ダン活支援事業(兵庫県和田山ジュビターホール)
- 〈2012年5月〉NHKドラマ「はつ恋」タイトルロールに出演/監修
- 〈2013年～〉国際CONTACT・インプロビゼーションダンスフェス

ティバルi-Dance Japan主催運営(鹿児島)

- 〈2013～14年〉地域創造ダンス活性化事業(近江八幡市文化会館、釧路市文化会館)
- 〈2014年5月〉TEDxKagoshimaにスピーカーとして登壇
- 〈2001～03、07～09、13年度〉セゾン文化財団助成の助成を受けて活動
- 〈2021年11月〉鹿児島県ユニークベニュー活用促進事業 霧島アートの森にてパフォーマンスなどを総合プロデュース
- 〈2022年9月〉ワークショップ参加者たちと「新たな日常の幕が開く～即興ダンスのたねあかし公演」を実施(鹿児島県伊佐市)

Ⅰワークショップ歴Ⅰ

- 〈2007年〉「盲学校deアート」(群馬県立盲学校 盲学校生徒、群馬大学教育学部)
- 〈2008～11年〉子どものための文化体験プログラム(豊島区内

可能なワークショップ等のスタイル

CONTACT・インプロビゼーション(CI)をベースに、心と身体を柔らかく自由にコミュニケーション/クリエイティブにするワークショップです。

アウトリーチ

『からだはおもちゃばこ』
道具を使わず友達と身体で遊ぶ(幼児、小学生、親子対象)

公募ワークショップ

●『ダンス・インプロビゼーション』
おしゃべりな身体を準備したら、言葉を使わずに他者とコミュニケーション(=ダンス!)。そこ

には、大脳からではなく、身体が捉える感覚から心の繋がりを発見し、氣の交感で隅々まで生きる自分を見つけるでしょう。CIは、発想の転換、概念の転換。身体とところから、社会や生き方を捉え、未来に向けて大切な事を他者との交流を基に考えていきます。そのマジックを磨いて行きましょ。

●『パフォーマンス・インプロビゼーション』

即興パフォーマンスはどのように作られるのか、の理論、哲学、実践。一人一人がその瞬間の演出/振付/実演/鑑賞を兼ねること、「100%の主張と100%の協調」を追求すること、等を学んで

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品

- 『Phase 47』
- 構成のある即興の作品。～【生命の可動域】を表現するとすれば、そのことは「即興」という表現方法が一番適しているのかもしれないと感じさせられた。その瞬間、生命の可動域を・・・「なんとなく見ました」ではなく、「まざまざと見せられた」気がしたからだ。～観客ノートより
- ▶上演時間：45分
- ▶出演者数：3名(登録のダンサー2名+ピアニスト) ※ワークショップ参加者の出演なし
- ▶必要機材：ピアノ

市民参加作品

- 『WAVE』
- ワークショップ参加者と一緒に作っていく即興の作品。構成、演出を施すが、振付けは各自が動きを見出ししていく。
- ▶上演時間：20分
- ▶出演者数：2名(登録ダンサー)

いきます。

◎実施条件(共通)

- ▶アシスタントの有無：無し
- ▶参加適正人数：20～30名程度
- ▶1日の実施可能回数・時間：2コマ ※1コマ120分
- ▶必要機材：CD プレーヤー、iPhone等の出力ミニプラグ
- ▶対象：どんな方でもOK。ご希望、事業目的に併せてともに検討し対応します。
- ▶その他：柔らかな木の床、またはリノリウムの床が理想。寒すぎない空間。

※ワークショップ参加者の出演有り(5～15名)

◎実施条件(共通)

- ▶同行スタッフ：その他(下記、現地スタッフが手薄な箇所を補いたい。) ▶現地スタッフ：舞台監督1名、音響1名、照明1名、その他(写真、映像)各1名
- ▶上演環境：①会場の広さ・形状：規定はなくフレキシブルに対応可能。劇場外の空間でも魅力的に捉えて考える ②床、リノリウムの有無・色：どちらでも可能 ③必要機材、舞台セット：なし ▶その他：照明、音響のスタッフは、即興に興味があり、ともに作品を作り上げてくれる姿勢の方がのぞましい。

坂本公成 + 森裕子 Kosei SAKAMOTO + Yuko MORI (Monochrome Circus)

京都を拠点に活動を続けるダンスカンパニー Monochrome Circusを率いる二人。「身体をめぐる／身体との対話」をテーマに国内外で活動を展開。代表作にgrafとのコラボレーション『TROPE』や、『HAIGAFURU ~ Ash is falling』などがある。また『掌編ダンス集』と銘打つ大小様々の作品群をレパートリーとしている。その他、コミュニティダンス、サイトスペシフィックな作品など、幅広く手がける。コンタクト・インプロヴィゼーションや身体に関するワークショップを、ダンサーはもちろん、大人から子ども、教育や福祉に関わる幅広い人々を対象に数多く行っている。

所属カンパニー Monochrome Circus
ホームページ <http://www.monochromeircus.com/>
連絡先(担当) 森裕子
住所 〒603-8312 京都市北区紫野中柏野町22番20 紫野スタジオ内
一般社団法人ダンスアンドエンヴァイロメント



Photo: 藤川裕子

活動歴・受賞歴

○活動歴
〈2008～09年〉『坂本公成掌編ダンス集 国内ツアー』@アトリエ劇研(京都)、@本行寺(岡山)、@別府市中央公民館、@茅野市民館(長野)
〈2008～10年〉『Monster Project』@アトリエ劇研(京都)、@CNDC(Angers)、@パリ日本文化会館(Paris)
〈2010年〉『オーケストラで踊ろう!!』@可見市文化創造センター、@大垣市民会館
〈2011～16年〉『TROPE』@VOICE GALLERY(京都)、@可見市文化創造センター、@P3artandenvironment(東京)
〈2015～21年〉『HAIGAFURU/Ash is falling』@京都芸術センター、@横浜赤レンガ倉庫
〈2017年〉『T/IT:不寛容について』@京都芸術センター
〈2019年〉『FLOOD』@京都芸術センター
〈2022年〉『京都自肅生活日記Don't worry!!!』、『TSUBUTE』@THEATRE E9 KYOTO

受賞歴

〈1998年〉芸術祭典・京 造形部門「公募・京を創る」入選
〈2000年〉「京都市若手芸術家奨励制度」奨励者に選出される(助成金300万円)
〈2001年〉横浜ダンスコレクション Solo* Duoコンペティション ファイナリスト
静岡振付コンクールファイナリスト
〈2002年〉アジア・カルチュラル・カウンシル(ACC)の助成を受けてNY研修
〈2008年〉京都市芸術新人賞受賞

ワークショップ歴

〈2000～22年〉京都国際ダンスワークショップフェスティバルにてコンタクト・インプロヴィゼーション、キッズ&アダルト、ピギナー・クラスなどを指導 主催:Dance &

Environment+京都芸術センター

〈2006年〉「トヨタ・子どもとアーティストの出会いin愛知 @瀬戸市立掛川小学校」全校生徒(19名)とパフォーマンスを創作 主催:子どもとアーティストの出会い
〈2007～15年〉Contact Improvisation Meeting in Japan(CIMJ)にてコンタクトのベーシック・クラス、創作クラスを担当 主催:Dance & Environment
〈2009年〉『混浴温泉世界-ダンサーを探せ!!』地元の人と商店街でダンスを展開。主催:別府プロジェクト
『オーケストラで踊ろう!!』@可見市・大垣市の6歳から80歳までの市民150名がオーケストラの生演奏で踊るという企画の演出・振付 主催:可見・大垣オーケストラで踊ろう事業実行委員会
〈2023年〉芸術文化観光専門職大学にコンタクト・インプロのWS。
その他、大学、役者向けのWS、子供向けのWSなど多数経験有り。

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ・公募ワークショップ 共通

○ふれあうことから
他者と触れ合う中で生まれる動きを通じて、身体のセンセーション、相互の身体をリスペクトすること、いかにコミュニケーションをとっていくかということに焦点をあてていきます。

○子どもととなワークショップ

コンタクト・インプロヴィゼーションを生かしながら、子どもととなの身体の違いを相互にリスペクトしながら、ともに身体を動かしたダンスを経験する楽しいワークショップです。

○実施条件(共通)

▶参加人数: ①30名以内、②20名以内 ▶1日の実施可能回数・時間:2コマ程度 ※1コマ120分
▶必要機材:音響設備(CDプレーヤー、スピーカー)
▶対象:どなたでも

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品

○『きざはし』(デュオ)
150本のナイフ、テーブルの上と下の男女。意図しうか意図しない人が2名存在するだけで互いに傷つけ合っている。▶上演時間:25分▶出演者数:2人(登録アーティスト)

○『lost』(ソロ)

LED照明を使ったインスタレーションの作品。7m×7mのオープンスペースならばどこでも上演できるようになっている。▶上演時間:25分▶出演者数:1名(登録アーティスト(森))▶同行スタッフ:照明1名 ※照明機材持ち込み。

○『Endless』(デュオ)

3.11以降の価値観の変動とゆらぎを、ダンスを通じて見つめなおす坂本+森デュエット作品。▶上演時間:20分▶出演者数:2名(登録アーティスト)▶音楽:山中透(元dumb Type)

○『TSUBUTE』(デュオ)

詩人の和合亮一氏の『詩の礫』を題材にした二人の渾身の最新作品。▶上演時間:25分▶出演者数:2名(登録アーティスト)

○『京都自肅生活日記 Don't Worry!!!』(デュオ)

2020年春の緊急事態宣言に伴って要請された外出自粛生活の2ヶ月あまりを、身体と日記調の語りで綴ったドキュメンタリーダンス作品。
▶上演時間:28分▶出演者数:2名(登録アーティスト)

市民参加作品

○『夏の庭』(デュオ)

雷の音、ヒグラシの鳴き声。夏という季節はなぜかはかなく、切なく感じられる。▶上演時間:18分

▶出演者数:2名(登録アーティスト)+10～15名

○『それから六千五百年地球は眠っているだろう』

三好達治のテキストを元に、震災の記憶と核の問題を扱った市民参加型作品。▶上演時間:35分▶出演者:2名(登録アーティスト(森)+共演者)+8名(ワークショップ参加者)

○実施条件(共通)

プロジェクト展開地域の実情を考慮し組み合わせで展開したい。▶上演環境:(1)会場の広さ・形状:7m×7m以上希望(2)床:リノリウムがあった方が望ましいが、なくても対応可(3)必要機材、舞台セット:通常の照明・音響機材

セレノグラフィカ

Selenographica
(隅地茉歩+阿比留修一)

Selenography(月面地理学)+icaで(月究学派)の意。

関西を拠点に国内外、屋内外を問わず幅広く活動を展開する結成26年のダンスカンパニー。緻密な身体操作から繰り出されるその不思議で愉快的なダンスは、多くの世代に受け入れられている。隅地茉歩は「踊るぬいぐるみ」、阿比留修一は「かかとの無い男」とあだ名され、公演やワークショップを含め、北海道から沖縄まで全国各地へ遠征の日々を送る。また、600を超える教育機関へのアウトリーチも行い、幼稚園や小学校では「まほさん、あびちゃん」として人気。

所属カンパニー セレノグラフィカ
ホームページ <http://www.selenographica.net>
連絡先(担当) 阿比留 修一(技術面は岩村原太)
E-mail info@selenographica.net



Photo: 平野愛

活動歴・受賞歴

○活動歴
【主な上演歴】
〈1997年〉カンパニー結成『無伴奏の月』上演(京都市)
〈2006年〉TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2005受賞者公演(東京都)
〈2006～08年〉『それをする』/『樹下の双魚』欧州、豪州、韓国ツアー(リヨン、パリ、ロンドン、パース、釜山)
〈2015年〉『ひびきあう～音と身体で感じるみずかみかすよの世界』(北九州市)
〈2017年〉結成20周年記念作品『とこしえに』発表(上田市)
〈2019年〉『ダンス×音楽 実験的音楽空間～REFINE～音も身体も』(北九州市)
〈2021年〉結成24周年記念作品『無言歌～カラダとウタウ～』発表(北九州市)

【継続中のプロジェクト】

〈2014年～〉『レインボードロップスプロジェクト』(北九州市)
〈2015年～〉『夜のことはプロジェクト』(京都市、伊丹市)
〈2020年～〉セレノグラフィカ「語る」ダンスプロジェクト
身体のことは～振付家の視点から(全国各地)
【ダン活、ダン活支援歴】
ダン活のべ12か所(奈良市、山県市、富田林市、坂井市、上川郡鷹栖町、笛吹市、名寄市、西宮市、鶴岡市、徳島市)
ダン活支援のべ14か所(坂井市、上川郡鷹栖町、茅野市、山県市、北広島市、春日井市、舞鶴市、東松山市、近江八幡市、清水市、西宮市)

○受賞歴

〈1996年〉阿比留修一 平成8年度大阪府芸術劇場奨励新人に認定。
〈2005年〉隅地茉歩 TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2005 「次代を担う振付家賞」(グランプリ)受賞。

【ワークショップ歴】

○大阪府舞鶴市 若オープンカレッジ・ダンスコース講師(2006～11年)
○(一財)地域創造ステーションラボ講師(宇都宮市/2012年、札幌市/2015年、上田市/2016年、高知市/2017年、横浜市/2018年、大津市/2018年、いわき市/2019年、大分市/2022年、川崎市/2023年)
○パフォーマンスキッズ・トーキョー(東京都/2012年～継続中)
○劇場塾講師(北九州市/2013、2014、2016、2019年)
○ようこそアーティスト文化芸術とくへつ授業(京都市/2007年～継続中)
○キタQアーティストふれあいプログラム(北九州市/2012年～継続中)
○文化芸術による子供育成総合事業～コミュニケーション能力向上事業(全国各地/2012年～継続中)
○こちかぜキッズダンス(京都市/2014年～継続中)
○しぶみかきダンス(京都市/2016年～継続中)
○障害者による文化芸術活動推進事業(東京都、さいたま市/2019年～継続中)

可能なワークショップ等のスタイル

アウトリーチ

○幼稚園、保育所で
最初にセレノグラフィカのダンスを見てもらい、続いて3種のダンス遊びを体験、最後には皆で仲良く汗をかき、愉快地踊るプログラムです。

○小学校(特別支援学級を含む)、中学校で
こちらも始めにセレノグラフィカのダンスを見てもらってからスタート。ダンスに関心のある子も無い子も、ダンスが得意な子も苦手な子も、一緒に身体を動かして、その子ならではの楽しさを発見できるプログラムです。
○教員対象で
ダンスの授業やクラス運営にも応用の効く様々なボディワークを実践し、質疑応答の時間も設けて、先生たちのダンスに対する率直な声に応えていくプログラムです。

○福祉施設、高齢者施設で

まずは短くセレノグラフィカのダンスを披露し、その後ゆっくり目に負担の少ないメニューを選んで進行します。参加者のコンディションに繊細に対応し、踊ることの楽しさに触れていただくプログラムです。

▶参加適性人数:20～40名程度(相談可)▶1日の実施可能回数・時間:1コマ90分として2コマ▶必要機材:Bluetoothスピーカー、ワイヤレスマイク等

公募ワークショップ

○ほぐしてみようワークショップ

少し丁寧にストレッチの時間を取り、参加者が自分の身体の癖に気づいていく中で、身体感覚をじっくりと高めていけるワークショップです。

この事業で可能な公演スタイル

レパートリー作品

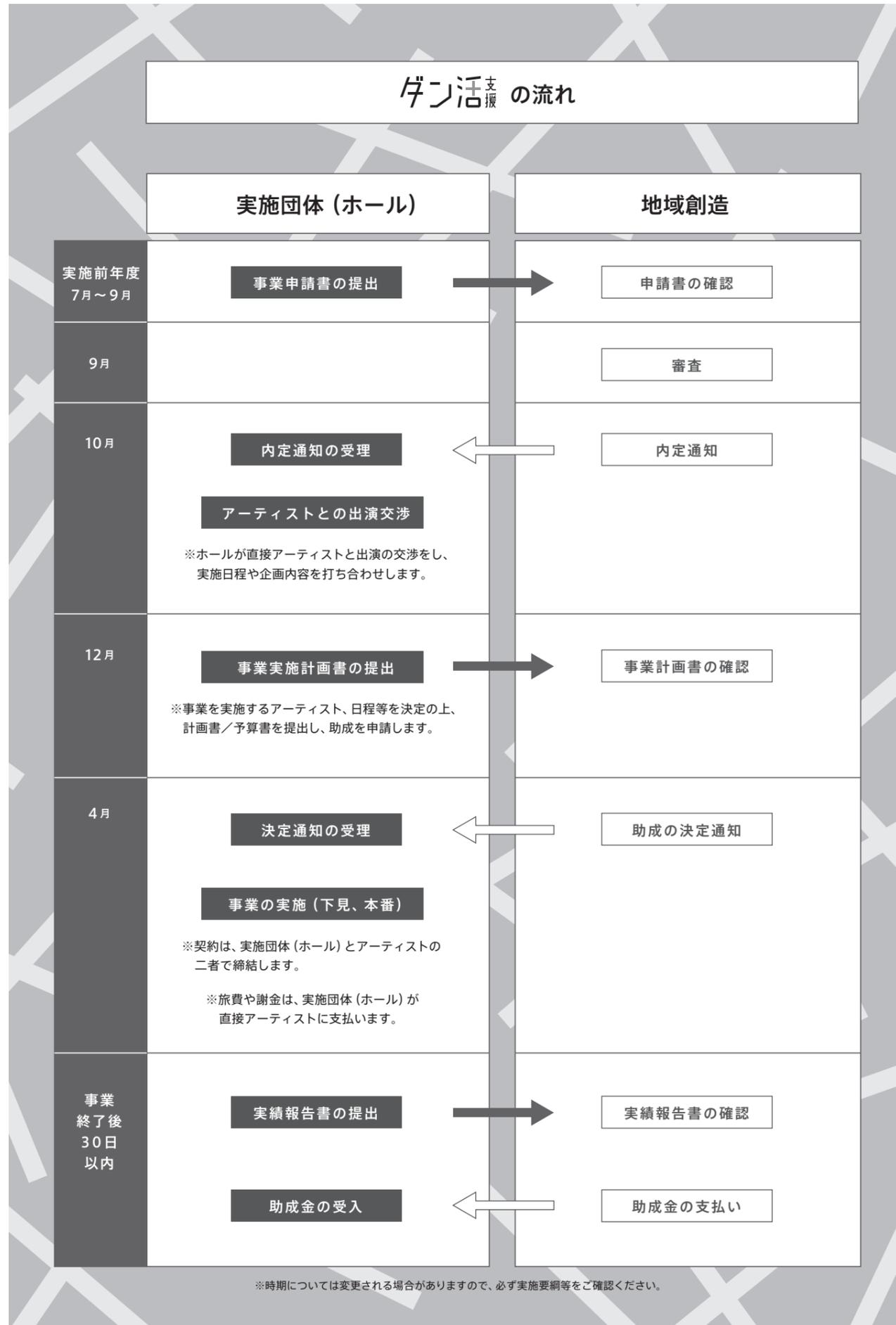
○『無言歌～カラダとウタウ～』
結成24周年に創作した記念作品。北九州芸術劇場小劇場で初演し、その後上田と上演を続けているセレノグラフィカの最新レパートリー。
今を感じさせるいくつかの小道具と二面舞台。二人の身体の動きがまるで複数の旋律のように響き合う、セレノグラフィカの身体表現のひとつの完成形。
▶上演時間:80分

○『とこしえに』

結成20周年の節目に創作した記念作品。サントミュージゼ(長野県上田市交流文化芸術センター)で初演し、その後神戸、長崎と上演を続けているセレノグラフィカのレパートリー。男と女の身体が一つずつという、制約があるようで実は無限の可能性を孕んでいることそのものを踊る渾身のデュエット。
▶上演時間:70分
※上記すべて使用する会場、床の状態、使用機材、スタッフ等については要相談。

市民参加作品

ご参加の方々の世代や男女比、志向性などに応じて構成や演出を考え、その地域の特色ある身体性が豊かに反映される創作を行っています。これに伴い、作品タイトルもその都度オリジナルのものを付けています。(例:「遠い放課後」「ワタシたちの新しいハイジマリ」「おやつくらいおいしいダンスの話」など)また、市民参加公演の形態は基本的にホールとの話し合いでベストの形を選択しています。参加(出演)人数・回数、上演環境などは応相談。その他、現地の演奏家や美術家などとのコラボレーションも可能です。



ダンス活 公共ホール現代ダンス活性化事業
ダンス活^{支援} 公共ホール現代ダンス活性化支援事業
令和6(2024)年度 登録アーティストプロフィール

発行：一般財団法人地域創造
〒107-0052 東京都港区赤坂2-9-11 オリックス赤坂2丁目ビル9階
Tel.03-5573-4075、4067 Fax.03-5573-4060
発行日：令和5(2023)年6月

Art Direction & Design : FLATROOM (www.flatroom.jp)